

【調査票Ⅱ-2】 【9 開隆堂】 (中学校 美術)

調査の共通事項の内容と凡例	*題材以外の内容	④資料等の点数・数量	⑤学習指導要領上の領域	⑥頁数
	①題材名	[活] : 制作・活動風景 [文] : 文化財等	★ : A表現(1)(3) B鑑賞(1)	
	②内容の概略	[生] : 生徒作品 [ヒ] : 図やヒント	■ : A表現(2)(3) B鑑賞(1)	
	③主な材料・用具等	[作] : 作家作品	◆ : A表現(3) ● : B鑑賞(1)	
<b>2・3年</b>				
<p>1 ①他人と違っていること, 他人と同じであること ②美術を通して学ぶ大切なことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幻の華 ③ミクストメディア ④[活]1[作]1 ⑤● ⑥8頁</li> <li>・富士 ③絹本着色, 木版, 油彩等 ④[作]8 ⑤● ⑥4頁</li> </ul> <p>*目次 題材名とページ番号に加えて内容・領域内容を色分けで提示し, 題材ページとの関連を持たせ一目で題材の配列がわかるようになっている。</p> <p>2 ①美術はいつも生活や暮らしの中に ②美術と職業との関わりを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③木工作品等 ④[活]18 ⑤● ⑥2頁</li> </ul> <p>3 ①わたしの「みち」 ②「みちに」思いを込めて描く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を選ぼう ③絹本着色, 水彩等 ④[活]4[生]2[作]2 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・構図を考えよう ③水彩, 木版等 ④[活]1[生]3[作]4[ヒ]4 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・光や色彩を工夫しよう, 私の「みち」 ③水彩, 油彩 ④[生]6 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>4 ①劇的な瞬間を描く ②「最後の晩餐」を鑑賞する ③テンペラ, フレスコ ④[活]1[ヒ]1 ⑤● ⑥2頁</p> <p>5 ①ルネサンスの美術 ②人間再発見と科学の時代を考える ③油彩, テンペラ, フレスコ等 ④[活]1[作]10[ヒ]2 ⑤● ⑥2頁</p> <p>6 ①原寸ギャラリー モナ・リザ ②「モナ・リザ」を鑑賞する ③油彩 ④[作]1[ヒ]1 ⑤● ⑥2頁</p> <p>7 ①自分と向き合う ②自分を見つめ, 表す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の姿を見つめてみよう, 表情やポーズを工夫しよう ③水彩, 油彩, 鉛筆等 ④[生]5[作]4[ヒ]3 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・自分の内面を見つめてみよう ③水彩, 油彩, パス等 ④[生]7[作]2[ヒ]2 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>8 ①空想からの表現 ②心の世界を描く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空想を広げよう ③油彩, 水彩 ④[生]3[作]2 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・物語をつくりながら, 材料や技法を工夫しよう ③水彩, 紙粘土等 ④[生]7[作]1[ヒ]1 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>9 ①版画の世界 ②刷り取られた美しさを考え表す ③木版, ドライポイント, シルクスクリーン等 ④[生]5[作]4[ヒ]5 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>10 ①形や色彩からのメッセージ ②抽象表現を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形を単純化したり, 強調したりして ③油彩, 水彩, パス等 ④[生]2[作]4[ヒ]1 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・感じたままに, スチレン版画で抽象表現を楽しもう ③油彩, 水彩, モノタイプ等 ④[活]2[生]6[作]1[ヒ]4 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>11 ①絵巻物の世界 ②絵巻物をあじわい, マンガで表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物の見方 ③紙本着色 ④[活]1[ヒ]6[文]6 ⑤★ ⑥4頁</li> <li>・絵巻物で表そう, マンガで表現しよう, アニメーションで表そう ③水彩, 色鉛筆等 ④[活]2[生]6[作]4 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>12 ①モノトーンの美しさ ②水墨画をあじわい, 表現する ③紙本墨画 ④[生]3[作]3[ヒ]4 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>13 ①原寸ギャラリー 桜図 ②「桜図」をあじわう ③紙本金地着色 ④[作]2[ヒ]1 ⑤● ⑥2頁</p> <p>14 ①伝統の美に学ぶ ②琳派の造形の美しさをあじわい, 和の造形感覚を生かした表現をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琳派の造形 ③木製漆塗, 紙本金地着色 ④[作]7[ヒ]3 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・掛け軸のよさを生かして, 扇子に描こう, 屏風をつくらう ③絹本着色, 水彩等 ④[活]1[生]6[作]1[ヒ]6 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>15 ①ゴッホと日本 ②ゴッホの表現を考える ③油彩, 七宝 ④[作]9 ⑤● ⑥2頁</p> <p>16 ①環境と響き合う形 ②建築空間について鑑賞し, 環境や空間を考えた立体表現をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活環境から発想しよう, 材料が生み出す形のおもしろさから発想しよう ③ステンレススチール, 板, 針金等 ④[活]1[生]5[作]2[ヒ]2 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・形を研ぎすませてみよう, 広がる立体表現 ③白大理石, 紙粘土, 石等 ④[活]2[生]4[作]3[ヒ]4 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul> <p>17 ①人の形に込めたもの ②人間を彫刻として表すとともに周囲の空間を立体表現する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体を見つめる ③ブロンズ, 縄, 紙粘土等 ④[活]3[生]3[作]2[ヒ]5 ⑤★ ⑥2頁</li> <li>・空間をとらえる, 出来事や情景で表す ③紙粘土, 針金, 板等 ④[活]1[生]6[作]1[ヒ]1 ⑤★ ⑥2頁</li> </ul>	<p>18 ①折りの造形 ②仏教美術のよさや美しさを鑑賞する ③脱活乾漆造, 木造等 ④[作]2[ヒ]4[文]6 ⑤● ⑥2頁</p> <p>19 ①デザインする心 ②暮らしや気持ちを豊かにするデザインを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もったのしく, もっとやさしく, もっとわかりやすく ③紙等 ④[作]2[ヒ]4 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・マークで自分を表そう, ピクトグラムをつくらう, オリジナル和味柄をデザインしよう ③ポスターカラー, 色画用紙等 ④[活]1[生]10[ヒ]10 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・伝統の美に学ぼう, 地域にデザインを生かさう ③紙粘土, ポスターカラー等 ④[活]2[生]8[ヒ]4 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>20 ①デザインで伝える ②コミュニケーションが広がるデザインについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインのプロセス ③アクリル等 ④[活]1[生]1[作]1[ヒ]4 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・形や色彩で伝える, ログタイプやマークで伝える ③ポスターカラー, 水彩, 色鉛筆等 ④[活]1[生]10[作]3 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・ポスターで伝える ③水彩, ポスターカラー, 色鉛筆等 ④[生]6[作]6 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・絵本で伝える, いろいろな表現方法で ③水彩, ポスターカラー, 色鉛筆等 ④[生]9[作]1[ヒ]1 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>21 ①つながるデザイン ②やさしさのある工芸デザインを考える ③木, 工作用紙, 針金等 ④[活]1[生]7[作]1[ヒ]5 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>22 ①環境をデザインする ②建築空間デザイン, 心豊かになる空間を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションをつくる空間, 学校をデザインしよう ③スチール, 色鉛筆, ベニヤ板等 ④[生]5[作]2[ヒ]5 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・居心地の良い場所, やさしさのあふれる環境づくり ③紙粘土, 針金等 ④[生]6[作]1[ヒ]5 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>23 ①光と明かり ②光と明かり, 映像で美しい空間を演出する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明かりをつくらう ③竹ひご, 和紙, 針金等 ④[生]7[作]1[ヒ]3 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・光で空間を演出する ③プラスティック, プロジェクションマッピング等 ④[活]2[生]4[作]2[ヒ]2 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>24 ①木でつくる工芸 ②生活に生きる工芸品の機能と美しさについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③瓶, 杉, 桂等 ④[活]1[生]4[作]1[ヒ]7 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>25 ①人がつくる, 技を極める ②技と心を伝える日本の伝統工芸を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根付ストラップをつくらう ③陶器, 樹脂粘土等 ④[生]4[作]2[ヒ]6 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・沈金に挑戦してみよう, 手拭いをつくってみよう ③木綿等 ④[活]1[生]5[作]1[ヒ]11 ⑤■ ⑥2頁</li> <li>・伝統工芸を知ろう ③漆器, 切子等 ④[活]2[ヒ]12 ⑤■ ⑥2頁</li> </ul> <p>26 ①生きることと美術 ②美術が社会に果たす役割について考える ③陶器, アクリル, 写真作品等 ④[活]2[作]3 ⑤● ⑥3頁</p> <p>27 ①ゲルニカ ②「ゲルニカ」を鑑賞し, 美術を通して学ぶことについて考える ③油彩, 鉛筆, 写真作品等 ④[作]8 ⑤● ⑥4頁</p> <p>28 ①人の表現から見る美術の歴史 ②顔の表現から美術の歴史を学ぶ ③彫刻, 絵画等 ④[作]26[文]18 ⑤● ⑥3頁</p> <p>29 ①色彩ホームページ ②色彩についての学習を深める ③茶室, 小袖等 ④[作]1[ヒ]46[文]4 ⑤◆ ⑥2頁</p> <p>※表紙, 裏表紙 表紙には岡本太郎の「明日への神話」が駅構内に展示されている風景写真が使われ, 美術と社会のつながりについて示唆している。裏表紙では, 「明日への神話(全図)」や制作風景, 「太陽の塔」を掲載し, 平和と美術という観点から作者のメッセージを考えさせる構成となっている。</p>			

[調査票Ⅱ-2] 【38 光村】(中学校 美術)

調査の共通事項の内容と凡例	* 題材以外の内容	④ 資料等の点数・数量	⑤ 学習指導要領上の領域	⑥ 頁数
① 題材名 ② 内容の概略 ③ 主な材料・用具等	[活] : 制作・活動風景 [生] : 生徒作品 [作] : 作家作品	[文] : 文化財等 [ヒ] : 図やヒント	★ : A 表現(1)(3) B 鑑賞(1) ■ : A 表現(2)(3) B 鑑賞(1) ◆ : A 表現(3) ● : B 鑑賞(1)	
2・3年				
<p>1 ① 感じたことを話し合おう ② 詩人谷川俊太郎の「うつくしい」の文章とともに阿修羅像を鑑賞。仏像に込められた思いを感じとり、話し合うことによって自分の見方を深める ③ 顔漆像 ④ [文]4 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>* 目次 題材名とページ番号に合わせて領域ごと色分けて提示し、題材との関連を持たせ、一目で題材の配列がわかるようになっている ⑥ 1頁</p> <p>2 ① 朝起きてから夜眠るまでの美術 ② 日常にあふれる美術に気づき、生活を豊かにする身近な美術を発見する ③ 時計、机、バレーボール等 ④ [生]6[作]5[ヒ]15[文]1 ⑤ ● ⑥ 3頁</p> <p>3 ① 空想の世界を旅する ② 空想の世界を絵や立体で表す ③ 油彩、水彩等 ④ [活]9[生]3[作]8 ⑤ ★ ⑥ 4頁</p> <p>4 ① あれ？どうなっているの ② ユーモアや錯覚を生かした表現に挑戦する ③ 写真、木、油彩、木版等 ④ [生]3[作]9 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>5 ① 見方を変えて ② 普段とは違う視点で見つめることによって、気づかなかった世界をさまざまな形で表す ③ 水彩、木版等 ④ [活]1[生]4[作]3[ヒ]4 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>6 ① 情景、気持ちを重ねて ② 心に残る情景を材料や用具を生かして表す ③ 水彩、水墨、ブロンズ他 ④ [活]1[生]3[作]3[ヒ]4 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>7 ① 墨の世界を体感しよう ② 時代を超えた墨の表現を参考に、自分だけの世界を広げる ③ 色紙、墨汁 ④ [生]3[作]3[ヒ]6 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>8 ① 想像の生物をつくる ② 身の回りのものや言葉から発想し、見たことのない生物をつくり出す ③ 大理石、鉄、陶器、石等 ④ [生]4[作]3[ヒ]2 [文]6 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>9 ① 浮世絵から学ぶ 江戸の職人技 ② 浮世絵から木版画のよさを学び、木版画の彫りや摺りの特徴を生かして表現する ③ 木版 ④ [生]1[作]1[ヒ]17 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>10 ① 【原寸大で鑑賞しよう】灰色のフェルト帽の自画像 ② ゴッホの作品を、筆の跡や色の組み合わせにも注目し、作者の思いや願いまで想像しながら鑑賞する ③ 油彩 ④ [活]1[作]2[ヒ]3 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>11 ① 自画像、今を生きるあなたへ ② アンジェラ・アキの詞「手紙〜拜啓十五の君へ〜」とともにさまざまな自画像作品を参考に自分をテーマにふさわしい表現方法で表す ③ 油彩、鉛筆、パステル等 ④ [生]7[作]6[ヒ]5 ⑤ ★ ⑥ 6頁</p> <p>12 ① 躍動感を捉えて ② 動きの瞬間に注目し工夫して表現する ③ 加工粘土、針金、油彩他 ④ [生]5[作]3[ヒ]3 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>13 ① 形と色の挑戦 ② 音楽や言葉、感情などから発想し、目に見えないものを形や色で表す ③ 油彩、パステル、アクリル、水彩等 ④ [活]1[生]7[作]3 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>14 ① 環境とともに生きる彫刻 ② 環境と響き合う作品のよさに触れ、置く場所や形、材料を考え工夫して表す ③ 錫影石、銅材等 ④ [活]1[生]2[作]6[ヒ]3 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>15 ① 絵や立体が動き出す ② 思いに合った方法で、動きを表す表現に挑戦する ③ 紙、粘土等 ④ [活]2[生]3 [作]8[ヒ]2 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>16 ① 光と影で遊ぶ ② 光や影の特性を生かした表現を楽しむ ③ フィルム、スタンドグラス、感光紙等 ④ [活]4[生]6[作]3[ヒ]1 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>17 ① 【特別展示室】ゲルニカ、明日への願い ② 谷川俊太郎の詩「生きる」とともに作品を鑑賞する ③ 油彩 ④ [活]1[作]1 ⑤ ● ⑥ 6頁</p> <p>18 ① ともに作る喜び ② 思いを込め、友達とともに作品の完成に向かって取り組もう ③ 布、キャンバス、アクリル等 ④ [活]6[生]3[作]2 ⑤ ★ ⑥ 2頁</p> <p>19 ① 【原寸大で鑑賞しよう】鳥獣花木図屏風 ② 描かれた動物や植物の造形にも注目しながら、面白さを感じ取る ③ 六曲一双屏風 ④ [生]1[作]3[ヒ]2 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>20 ① メッセージを伝えるポスター ② 伝えたい内容にふさわしいデザインを考えてポスターに表す ③ ポスター等 ④ [活]8[生]5[作]20[ヒ]3 ⑤ ■ ⑥ 4頁</p> <p>21 ① 情報を整理して伝える ② 身近な場所からヒントを探し、情報を伝えるデザインを考える ③ 紙、アクリル等 ④ [活]1[生]5[作]1[ヒ]5 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>22 ① みんなのためのデザイン ② さまざまな立場の人の要望にあったデザインを考え、作品に表す ③ 樹脂、ステンレス、紙粘土等 ④ [生]6[作]3[ヒ]9 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p>	<p>23 ① 暮らしの中のキャラクター ② 親しみやすいキャラクターを考える ③ 紙粘土、アクリル等 ④ [生]4[作]9[ヒ]3 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>24 ① 心をともしあかり ② あかりの効果を考え、形や材料を生かして心をともしあかりをつくる ③ 和紙、針金、ガラス等 ④ [生]2[作]5 [ヒ]5 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>25 ① 北と南の風土から ② 風土に培われた地域文化に目を向け、特色を感じ取る ③ アイヌ民族衣装、八重山上布の反物、紅型等 ④ [文]3[ヒ]5 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>26 ① 季節感のある暮らしを楽しむ ② 工芸品の季節感や自然美を感じ、季節感のある装飾を考える ③ 蟹甲、和菓子、樹脂、紙粘土等 ④ [活]7[生]5[作]1[ヒ]5 [文]8 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>27 ① 包みの工夫、パッケージデザイン ② 用途にあったパッケージデザインを考える ③ 紙、フィルム等 ④ [活]1[生]5[作]1[ヒ]8 [文]1 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>28 ① 暮らしやすい町づくり ② 人に優しい町づくりや、自然と人間の生活との調和を考えたデザインを考える ③ 発砲スチロール、粘土等 ④ [生]2[作]3[ヒ]5[文]1 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>29 ① 夢を形にするデザイン ② 人々の夢を叶え、問題を解決するデザインを考える ③ 色鉛筆、紙等 ④ [活]2[生]2[作]4[ヒ]6 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>30 ① 手づくりにはめる思い ② 目的に応じた工夫を考え、手作りすることを楽しむ ③ 金属板、糊、錫等 ④ [活]2[生]9[作]1[ヒ]3 [文]3 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>31 ① 【原寸大で鑑賞しよう】平螺鈿背円鏡 ② 作品を通して、装飾の工夫や美しさを感じ取る ③ 螺鈿工芸品 ④ [ヒ]4 [文]3 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>32 ① 【発想のためのスケッチブック】コスチュームアーティスト ひびのこづえ ② 作家のノートやスケッチを見て、発想を深めていくうえでの参考に ③ 作家のアイデアノート等 ④ [活]1[生]2[作]4[ヒ]2 ⑤ ■ ⑥ 2頁</p> <p>33 ① 映像メディアを活用する ② 映像機器の基本的な扱い方を知る ③ カメラ、タブレット端末等 ④ [活]2[生]1[作]3[ヒ]23 ⑤ ◆ ⑥ 2項</p> <p>34 ① 金属や石でつくる ② 材料の鑑賞を楽しみながら、発想したことを形にする ③ 針金、石等 ④ [生]1[文]1[ヒ]31 ⑤ ◆ ⑥ 2頁</p> <p>35 ① 色と光の特徴を知ろう ② 生活を豊かにする光と色の効果に目を向ける ③ 顔料等 ④ [活]1[作]4[ヒ]27[文]2 ⑤ ★ ■ ⑥ 4頁</p> <p>36 ① 形と材料の特徴を知ろう ② 形や材料のさまざまな表情に注目し、制作に生かす ③ 金属、ガラス、布等 ④ [活]1[生]4[作]15[ヒ]39[文]3 ⑤ ★ ■ ⑥ 4頁</p> <p>37 ① トピックス美術史 ② 各時代を代表する作品を通し、美術の流れを知ることにより理解を深める ③ 仏像、油彩画、木版画等 ④ [活]1[作]17 [ヒ]3[文]12 ⑤ ● ⑥ 6頁</p> <p>38 ① 美術史年表 ② 日本・アジア・世界の文明とともに変遷してきた美術を、年表をもとに見ることで理解を深める ③ 仏像、油彩画、建築、立体作品等 ④ [作]35[文]22 ⑤ ● ⑥ 3頁</p> <p>39 ① 絵巻物を楽しむ ② 鳥獣人物戯画を通して絵巻物について知り、絵巻物の世界を楽しむ ③ 絵巻物、漫画 ④ [活]1[生]1[作]3[文]6[ヒ]5 ⑤ ● ⑥ 3頁</p> <p>40 ① 中学校美術、最後の時間に ② 詩人谷川俊太郎の「うつくしい」の文章とともにワイエスの「1946年の冬」を鑑賞。作品が問いかけていることを感じとり、さまざまな視点から味わう ③ テンペラ ④ [作]1 ⑤ ● ⑥ 2頁</p> <p>* 表紙・裏表紙 ルネ・マグリットの「ピレネーの城」が取り上げられており、写真的に描かれた空想の世界が興味を引き立てる。また、バーコードを一部本文から引用した作品でアレンジし、教科書の中から探させるというところを取り入れている。</p>			

【調査票Ⅱ-2】 【116 日文】 (中学校 美術)

調査の共通事項の内容と凡例	*題材以外の内容	④資料等の点数・数量	⑤学習指導要領上の領域	⑥頁数
	①題材名	[活]:制作・活動風景 [文]:文化財等	★:A表現(1)(3) B鑑賞(1)	
	②内容の概略	[生]:生徒作品 [ヒ]:図やヒント	■:A表現(2)(3) B鑑賞(1)	
	③主な材料・用具等	[作]:作家作品	◆:A表現(3) ●:B鑑賞(1)	
<b>2・3年 上</b>		<b>2・3年 下</b>		
<p>1 ①学びを深めよう ②手と目をつかってイメージを広げ深める ③ミクストメディア、油彩 ④[活]3[作]3 ⑤● ⑥2頁</p> <p>*目次 題材名・教科書の見方 ④[活]3[生]3[作]1 ⑥1頁</p> <p>2 ①表現の可能性を求めて ②材料や方法から、表現の可能性を追求する ③洗濯ばさみ、ファスナー、身辺材料、木 ④[作]5 ⑤● ⑥2頁</p> <p>3 ①新鮮な視点でとらえよう ②風景をいろいろ見る見方で表す ③アクリル、写真、多版多色木版、油彩 ④[生]4[作]4[ヒ]2 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>4 ①しぐさで語る動物たち ②生命を感じる動きやしぐさを立体で表す ③新聞紙、和紙、加工粘土、銅、ステンレス、木 ④[活]4[生]6[作]2 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>5 ①響き合う言葉と絵 ②言葉と絵を組み合わせる気持ちを表す ③写真、コンピュータ、ソフトグラウンドエッチング、グワッシュ、水彩、墨 ④[活]2[生]3[作]2 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>6 ①瞬間の美しさを形に ②心を引きつける瞬間を彫刻で表す ③加工粘土、針金、紙、板、糸、銅、ブロンズ ④[活]1[生]5[作]2[ヒ]1 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>7 ①心でとらえたイメージ ②印象や感情を形や色で表す ③油彩、発泡スチロール、加工粘土、色鉛筆、アクリル、ステンボード、水彩 ④[生]5[作]3 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>8 ①名画の魅力に迫る ②「最後の晩餐」に学ぶ ③テンペラ ④[活]1[作]1[ヒ]5 ⑤● ⑥2頁</p> <p>9 ①光が生むリアルとドラマ ②光と陰影の効果をとらえて考える ③油彩 ④[作]2 ⑤● ⑥2頁</p> <p>10 ①墨が生み出す豊かな世界 ②様々な墨の表現を学び、表す ③紙本墨画、墨 ④[活]3[生]4[作]3 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>11 ①東へ、西へ… ②人と文化をつなぐ美術から理解を深める ③紙本金地着色、油彩、多版多色木版、木板摺、テンペラ、カラーリトグラフ、絹本着色 ④[作]14[ヒ]3 ⑤● ⑥8頁</p> <p>12 ①漫画表現の豊かさ ②動き、時間、気持ち、物語を漫画で表現する ③漫画、紙本墨画、紙本着色、木版 ④[作]17 ⑤● ⑥2頁</p> <p>13 ①日本の美意識 ②自然の形体や材料を生かして表現する ③和菓子、陶土、漆、木、刺繍、染色、糸、布、色鉛筆 ④[活]3[生]6[作]4[文]1[ヒ]19 ⑤■ ⑥4頁</p> <p>14 ①情報をわかりやすく伝えよう ②ピクトグラムの特徴を生かして表現する ③アクリル、鉛筆、色鉛筆、水彩 ④[活]1[生]8[作]7[ヒ]3 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>15 ①豊かなイメージで伝えよう ②ポスターやブックカバーのデザインをする ③トレーシングペーパー、紙、和紙、ペン、ラミネート、アクリル ④[生]8[作]5 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>16 ①やさしさのデザイン ②使う人の気持ちを考える ③ステンレス、ペット樹脂、プラスチック、合成ゴム、ABS樹脂、ファインセラミック、加工粘土、針金、ニス、鉛筆等 ④[生]5[作]3[ヒ]11 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>17 ①座ることから考える ②使う人や場面に合わせてデザインする ③エラストメリックポリアステル、アルミニウム、木、ウレタンフォーム、ストレッチファブリック、合成皮革 ④[作]5[ヒ]3 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>18 ①手づくりを味わう喜び ②材料の特性を生かしてつくる ③枝、木、竹ひご、ワックス、革、銅、真鍮、錫、藍型染め、布、オヒョウの樹皮、紙、紗 ④[活]1[生]14[ヒ]9 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>19 ①まちを彩るパブリックアート ③ステンレススチール、グラフィカルシート、カットニングシート、コンクリート、ブロンズ、繊維強化プラスチック、流木、藁、竹、合板、針金等 ④[生]1[作]10 ⑤● ⑥2頁</p> <p>20 ①日本美術の展開と世界の交流 ④[作]25[文]12 ⑤● ⑥3頁</p> <p>21 ①現代に受けつがれる浮世絵版画 ④[ヒ]16 ⑤◆ ⑥1頁分</p> <p>22 ①水墨画の技法 ④[ヒ]9 ⑤◆ ⑥1/2頁</p> <p>23 ①粘土でつくる ④[生]1[ヒ]5 ⑤◆ ⑥1/2頁</p> <p>24 ①木でつくる ④[ヒ]7 ⑤◆ ⑥1/2頁</p> <p>25 ①金属でつくる ④[ヒ]10 ⑤◆ ⑥1/2頁</p> <p>26 ①色について理解を深めよう ④[生]1[ヒ]18 ⑤◆ ⑥2頁</p> <p>※表紙、裏表紙 表紙には、上村松篁の「孔雀」の右側をトリミングして掲載しており、作者が生態をじっくり観察したことによって描くことができたことを示している。裏表紙では、「孔雀」(全図)を掲載し、その解説を記している「学びの深まり」というテーマにつなげている。</p>	<p>1 ①美を探し求めて ②心を豊かにする美を探す ③陶土、紅型 ④[活]4[作]1 ⑤● ⑥3頁</p> <p>*目次 題材名・教科書の見方 ④[活]3[生]3[作]1 ⑥1頁</p> <p>2 ①夢をかたちにデザイン ②独創的なデザインから工夫や発想の仕方を考える ③銅、木、籐等 ④[活]2[作]2[ヒ]5 ⑤● ⑥2頁</p> <p>3 ①私との対話 ②自分の姿を見つめて表現する ③鉛筆、油彩、ワックス、アクリル、水彩 ④[活]2[生]11[作]9 ⑤★ ⑥4頁</p> <p>4 ①空想の世界への誘い ②自分の思いや空想の世界をイメージし表現する ③リトグラフ、アクリル、グワッシュ等 ④[生]3[作]3[ヒ]3 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>5 ①一瞬の光をとらえて ②刻々と光によって変化する風景をとらえて表現する ③油彩、紙本彩色、写真等 ④[生]4[作]5 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>6 ①問題意識を形に ②美術を通して社会の問題をとらえる ③ペットボトル、油彩、鎖、木等 ④[活]1[生]4[作]3 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>7 ①ここでシャッターを切った理由 ②どんな意図でどのようなカメラの特長を生かしているか鑑賞する ③写真 ④[作]3 ⑤● ⑥2頁</p> <p>8 ①イメージを形で表現しよう ②抽象彫刻が持つ魅力を感じながら表す ③石、白大理石、ブロンズ、鉛筆、石こう、加工粘土、鋳造、錫合金、木 ④[生]6[作]3⑤★⑥2頁</p> <p>9 ①共同制作の魅力 ②学び合う楽しさと共に見通しをもって制作する ③発泡スチロール、木、針金、紙ひも、アクリル、写真、コンピュータ ④[活]5[生]5 ⑤★ ⑥2頁</p> <p>10 ①刻まれた折り ②仏像のよさや美しさを感じ取り話し合う ③木、漆箔 ④[文]6 ⑤● ⑥6頁</p> <p>11 ①「ゲルニカ」は語る ②時代や社会と美術との関わりを知りながら鑑賞する ③油彩、クレヨン、写真等 ④[活]1[作]4[ヒ]2 ⑤● ⑥2頁</p> <p>12 ①魅力が伝わるパッケージ ②形体や装飾を工夫して表現する ③プラスチック、加工粘土、など ④[活]4[生]13[作]2[ヒ]1 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>13 ①光と影の空間演出 ②陰影や照明の効果を生かして表す ③ステンレス板、竹枝、和紙、木、色鉛筆等 ④[活]2[生]7[ヒ]1 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>14 ①自分たちの生活の場を飾ろう ②空間のイメージを変える演出をする ③アクリル、ワックス、鉛筆、色鉛筆、ペン、麦わら、糸、和紙、紙ひも ④[活]3[生]4[作]1[ヒ]5 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>15 ①生活を彩る染めの味わい ②美しい色と模様をさせるものをつくる ③絹、紅花、布、染料 ④[活]10[生]4[作]3 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>16 ①暮らしを心地よくするインテリア ②使う人や場所の雰囲気を考えてつくる ③木、スチール、加工粘土、砂、コルク、ビーズ等 ④[生]4[作]4[ヒ]1 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>17 ①自然を愛でる空間 ②自然とのつながりから生まれた造形を鑑賞する ④[ヒ]13 ⑤● ⑥2頁</p> <p>18 ①デザインと環境 ②社会や自然と関わるデザインをする ③段ボール、紙、ステンボード、アクリル板、枝、紙、色鉛筆等 ④[生]4[作]2[ヒ]5 ⑤■ ⑥2頁</p> <p>19 ①デザインで変える現在と未来 ②地域の未来と人々の夢から考えるデザインを鑑賞する ③ポリエチレン、鉄等 ④[作]5[ヒ]5 ⑤● ⑥2頁</p> <p>20 ①日本の世界文化遺産 ④[活]4[文]15 ⑥1頁分</p> <p>21 ①受け継ぎつくる人の姿 ④[活]20[ヒ]20 ⑥1頁分</p> <p>22 ①アートを体験する場に出かけよう ③木、金属、端材、布、流木、FRP、発泡スチロール、木の葉、泥絵の具、流木、鉄、シナベニヤ、アクリル ④[活]4[生]1[作]8[ヒ]8 ⑥3頁</p> <p>23 ①写真撮影の第一歩 ④[ヒ]7 ⑤◆ ⑥1/3頁</p> <p>24 ①コンピュータ・グラフィックスの表現 ④[ヒ]5 ⑤◆ ⑥1/3頁</p> <p>25 ①アニメーションの表現 ④[生]1[ヒ]1 ⑤◆ ⑥1/3頁</p> <p>26 ①石を掘る ④[生]1[ヒ]17 ⑤◆ ⑥2/3頁</p> <p>27 ①織る ④[生]1[ヒ]4 ⑤◆ ⑥1/3頁</p> <p>28 ①仏像の種類 ④[ヒ]5 ⑥1/2頁</p> <p>29 ①現代の建築 ④[作]2[ヒ]14 ⑥2頁</p> <p>※あなたへ～中学校美術からの巣立ち～ 詩と写真 ④[作]1</p> <p>※表紙、裏表紙 表紙には、東日本震災の復興支援の一助として企画制作されたアニッシュ・カプアと磯崎新の「アーク・ノヴァ」(可動式コンサートホール)の内部写真を掲載し、裏表紙では、「アーク・ノヴァ」(俯瞰図)も合わせて掲載し、社会における美術の働きについて示唆している。</p>			

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

保健体育

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	保体 725
4 大日本	保体 726
50 大修館	保体 727
224 学 研	保体 728



# 保健体育

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査教科用図書

2 東書 4 大日本 50 大修館 224 学研

### 2 調査研究の観点

- (1) 健康・安全、体育に関する基礎的・基本的な内容が適切に配列され、これらを活用して課題を解決する学習内容が適切に取り上げられているか。
- (2) 内容の程度が、生徒の発達段階や生活経験、興味・関心に応じているか。
- (3) 内容が系統的に構成され、その分量や提示の仕方・扱い方が適切であるか。
- (4) 地域や学校の実態に応じた学習ができるような配慮がされているか。
- (5) 語句の理解が容易で、写真、図表などの資料が工夫され、活用されやすいものであるか。

### 3 調査研究の基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公平な立場で調査研究を行った。
- (2) 調査研究資料の作成に当たっては、調査員の主観に陥らないように、調査研究の観点を焦点化した項目に沿って調査研究を行い、各教科用図書の記述に即して簡潔かつ具体的に記述した。
- (3) 学習指導要領で示された内容に準じて、各教科用図書の特徴が対照できるように配慮した。

## II 調査研究資料の見方について

1 調査研究資料は、調査票Ⅰには概要、調査票Ⅱには単元配列・資料調査内容を、各教科用図書において学年別・分野別にまとめている。

2 全体をとらえるため、概要を最初に示し、各教科用図書の全体的な特徴が比較できるように、調査結果の観点に基づいた調査研究結果を示した。

3 調査票Ⅰ（概要）の調査研究項目は、調査研究の観点(1)～(5)についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究（数値データ）

①頁 ②割合 ③写真／イラスト ④グラフ・表 ⑤図 ⑥コラム

（②割合は、総頁数に対する割合、③～⑥は、箇所数）

(2) 基礎的・基本的な内容を活用した学習内容の取扱いについて





- ① 課題をつかむ導入の工夫
- ② 各単元における課題の配列や工夫
- ③ 実生活に生かした学習課題と系統的な内容の取扱い
- ④ 話合いや説明、調査などの発表方法の工夫

（体育分野では、(2)を「学習の効果を高めるための配慮・工夫と思われる内容について」とする。）

(3) 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

(4) 発展的な内容の取扱いについて

(5) 実習、実験の取扱いについて（保健分野のみ）

4 調査票Ⅱ－1は、第1学年及び第2学年の保健、調査票Ⅱ－2は、第3学年の保健及び体育理論について資料調査を行った。また、各教科用図書の調査内容については、比較検討しやすいように、左欄に単元名を、右欄には資料内容（図（挿絵）；、グラフ・表；、写真；、数字は掲載数を示し、年度が分かるものは表記した。また、実習する学習内容については、実習名の左欄にを示した。

【調査票Ⅰ】 【2 東書】 (中学校 保健体育)

概 要

＜保健分野＞

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
心身の機能の発達と心の健康	28	23%	9	29	14	29	9
健康と環境	18	15%	12	15	18	16	4
傷害の防止	30	25%	31	39	10	30	5
健康な生活と病気の予防	46	37%	26	51	33	38	12

2 基礎的・基本的な内容を活用した学習内容の取扱いについて

(1) 課題をつかみ導入の工夫

- 「今日の学習」として、本時で学びたいことが何か、具体的に示されているので、ポイントを教師と生徒が共有しやすくなっている。
- イラストや「やってみよう」の欄で、生徒が学習内容に関心を持ちやすい標記になっている。
- 各項目に「キーワード」が示されており、本時の学習でポイントとなる語句を意識して学習できるように工夫されている。

(2) 各単元における課題の配列や工夫

- 「やってみよう」の導入から「考えてみよう」までの流れが全ての章で統一されており、表などの資料も配置されている。
- 学習内容を整理しやすくするために、章末に「確認の問題」や「活用の問題」があり、振り返りがしやすい構成になっている。

(3) 実生活に生かした学習課題と系統的な内容の取扱い

- 「章の扉」には、小学校や高等学校で学習する内容があり、各校種でのつながりが把握できるようにしている。
- 実体験に基づいたコラムや資料、図が豊富に掲載されており、実生活の様々な場面に置き換えて考えられるように工夫されている。

(4) 話し合いや説明、調査などの発表方法の工夫

- 「考えてみよう」では、各単元で学習した内容を活用したり、応用したりするロールプレイングが紹介されている。
- 「生かさそう」では、教室などにおいて実践ができるような具体事例が紹介され、話し合いが行いやすくなっている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- 巻頭において、教科書の使い方や保健体育の学習方法が説明されている。
- 本文中にある「リンク」「他教科」マークでも学習のポイントが分かりやすく示されている。
- 本文欄外に学習内容に関連したクイズが掲載されており、自主的・自発的な学習へのアプローチとなっている。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 章末資料で写真や著名人のインタビュー、様々な具体的な資料を用いて発展的な内容について紹介がされている。

◆ 主な題材名

- ・胎児を育てる母体の神秘（胎盤とへその緒） ・地球温暖化による健康への影響 ・さまざまな自然災害の危険と安全な避難
- ・がんについてもっと知ろう ・免疫と予防接種 ・新型インフルエンザ

5 実習、実験の取扱いについて

内 容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資	内 容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資
心肺蘇生法	3	10	4	4	1	固定の仕方	1	0	3	0	0
包帯法	1	0	8	6	0	照度の測定	1	1	1	1	0
直接圧迫止血法	1	0	3	1	0						

- 熱中症の予防方法から応急手当、病院搬送までの流れや留意点について図示し、フローチャートを用いて適切に手順を説明している。
- AEDの取扱い方について、写真を用いて説明している。

※ 発展的な実習

- ・119番通報の方法について、表でまとめられており、その際の注意点も説明されている。
- ・「D」マークが表示されている内容については、デジタルコンテンツで発展的な実習が効果的に学べることを示されている。

＜体育分野＞

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
運動やスポーツの多様性	11	31%	20	17	1	6	2
運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	14	38%	6	35	6	8	1
文化としてのスポーツの意義	11	31%	20	5	3	1	3

2 学習の効果を高めるための配慮・工夫と思われる内容について

- 「今日の学習」として、本時で学びたいことが何かを具体的に示されているので、ポイントを教師と生徒が共有しやすい。
- 身近な題材を用いた「読み物」（コラム）の内容が充実しており、生徒の興味や関心を引き付ける内容となっている。
- 各項目に「キーワード」が示されており、本時の学習でポイントとなる語句を意識して学習できるように工夫されている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- 「やってみよう」や章末資料にある問いを生徒自身がチェックすることで、進んで学習できるように工夫されている。
- 「リンク」によって「スポーツの力」などの口絵の内容と関連付けて学習することができ、意欲喚起につながる記載が見られる。
- 本文欄外に学習内容に関連したクイズが掲載されており、自主的・自発的な学習へのアプローチともなっている。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 章末資料に著名人の写真を掲載しており、発展的な学習内容に関心を持ちやすくしている。

◆ 主な題材名

- ・運動やスポーツの学び方（体育理論を実技に生かす方法） ・運動やスポーツを安全に行うため練習の計画の立て方
- ・スポーツも脳が行う ・RICE（ICER） ・野外スポーツを安全に行う ・オリンピック、パラリンピック

[調査票Ⅰ] 【4 大日本】 (中学校 保健体育)

概 要

≪保健分野≫

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
心身の機能の発達と心の健康	24	23%	6	1	17	28	5
健康と環境	16	16%	11	6	6	23	8
傷害の防止	24	23%	15	16	14	25	4
健康な生活と病気の予防	39	38%	23	16	17	55	20

2 基礎的・基本的な内容を活用した学習内容の取扱いについて

(1) 課題をつかむ導入の工夫

○単元の初めに課題と学習の流れを図式化し、見通しを持って学習課題をつかませるような工夫がされている。

(2) 各單元における課題の配列や工夫

○本文の内容を補う多くの図表や写真を資料として活用している。

○既存の知識や経験から考察を進め、キーワードを提示することでより深い思考や表現が定着するように工夫されている。

(3) 実生活に生かした学習課題と系統的な内容の取扱い

○実生活において、活用するための具体的な課題を示すことで習得した基礎的・基本的な知識を定着させるように工夫されている。

○日常生活につながるような課題を提示し、実践力が向上するための話し合いや調べ学習、実習などを取り入れている。

○図や表・グラフなど吹き出しを用いた解説があり、「ミニ知識」や「トピックス」で実感を伴う理解が得られるように工夫されている。

(4) 話し合いや説明、調査などの発表方法の工夫

○学習を活かした質問を提示して、個人の考えをまとめ、発表につなげていくよう工夫されている。

○章末に学習のまとめとして、重要な言葉や学習の要点を整理している。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

○「今日の学習課題」から、学習前の発問「考えよう」を経て、「本文・資料」で得た知識を活用する「学習を活かして」で考えを深め、実践力につなげるような流れや進め方に統一している。

4 発展的な内容の取扱いについて

○学習から更に一歩進んで知識が深められるように、保健編の最後に章末資料として発展的な学習内容を掲載している。

○各単元の学習内容を実践力向上につなげていくために、身近な題材を用いて課題を投げかけるなど、内容がよく伝わるような工夫がされている。

◆ 主な題材名

・脳と神経 ・自分らしさを発揮する ・体温の調整 ・循環型社会の実現に向けて ・地球規模の環境問題(地球温暖化)  
 ・熱中症への対応と予防 ・クオリティ・オブ・ライフ(QOL)

5 実習、実験の取扱いについて

内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資	内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資
心肺蘇生法	4	5	4	4	2	固定の仕方	1	0	2	2	1
包帯法	1	0	3	2	1	照度の測定	1	1	1	3	0
直接圧迫止血法	2	0	4	3	1						

○傷害が発生したときに行う応急手当の流れや心肺蘇生法の手順がイラストや写真、「ミニ知識」で細かく説明されている。

○外傷の応急手当として、症状に合わせた対応をイラスト入りで説明している。

※ 発展的な実習

・照度計を写真で紹介し、教室や施設の明るさを基準と比較しながら表にまとめられるよう説明をしている。

・AEDについて写真を用いて説明している。

・カットバンやネット包帯の活用方法をイラスト入りで説明している。

≪体育分野≫

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
運動やスポーツの多様性	16	40%	34	27	1	9	0
運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	14	35%	18	26	4	9	7
文化としてのスポーツの意義	10	25%	42	4	3	10	3

2 学習の効果を高めるための配慮・工夫と思われる内容について

○単元の初めに課題と学習の流れを図式化し、見通しを持って学習課題をつかませるよう工夫されている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

○写真やイラストを多く用い、「ミニ知識」や「トピックス」でより実感を伴う理解が得られるような工夫がされている。

○学習を生かした質問を提示して、個人の考えを班の話し合いで練り上げて、発表につなげていくよう工夫されている。

4 発展的な内容の取扱いについて

○オリンピックやパラリンピックを多くの写真やコラムで紹介し、中学生の興味や関心を高める工夫がされている。

○多くの資料や読み物を掲載し、自己の健康づくりの実践計画が立てられるように工夫されている。

◆ 主な題材名

・筋肉の性質と運動能力 ・筋肉には余力がある ・マイトレーニングをつくろう！ ・語りつがれるオリンピックエピソード  
 ・人類はどこまで速く走ることができるのだろうか



【調査票Ⅰ】 【50 大修館】 (中学校 保健体育)

概 要

〈保健分野〉

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
心身の機能の発達と心の健康	26	22%	14	27	10	25	10
健康と環境	18	16%	20	18	6	14	7
けがの防止	24	21%	32	28	6	14	15
健康な生活と病気の予防	48	41%	47	42	33	32	19

2 基礎的・基本的な内容を活用した学習内容の取扱いについて

(1) 課題をつかむ導入の工夫

- 各項目の初めに「クエスチョン」を設定し、質問内容を具現化できるようなイラストや写真を用いて、授業への動機付けをしている。
- 各項目のテーマを代表する重要語句が「キーワード」に示されており、目標が明確になっている。

(2) 各単元における課題の配列や工夫

- 各単元の初めに、その単元の学習内容に関連する問いが設けられており、単元全体の見通しを立てられるようになっている。
- 「学んだことを振り返ってみよう」に既習内容を確認できるチェック欄があり、学習内容の定着が図られるような工夫がされている。
- 学習指導要領の内容に即した配列になっており、基礎的・基本的事項が確実に学べるよう工夫されている。

(3) 実生活に生かした学習課題と系統的な内容の取扱い

- 「学びを生かそう」では、生徒自身が既習の学習内容を普段の生活でどのように生かせるかをまとめさせる欄を設けている。
- コラムや事例では、「光化学大気汚染」や「緊急地震速報の活用」など、今日的課題を反映し実生活に生かせる内容となっている。
- 図や表が分かりやすく、科学的根拠を明確に示した資料が充実しており、生徒が納得して学習を進められるような構成になっている。

(4) 話し合いや説明、調査などの発表方法の工夫

- ディスカッションやブレインストーミングなど思考力・判断力・表現力を深めるための手だてを説明するページが設定されている。
- 「チャレンジ」では、既習事項を実生活に生かせるような課題が設けられており、話し合い活動が進められるように工夫されている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- イラストや写真を多数掲載して、吹き出しの解説をつけるなど、生徒の興味や関心を高めるような工夫をしている。
- 「チャレンジ」では「自分と家族のための防災計画を立てよう」など既習の知識を生かし、自ら思考する場面が設定されている。
- 「クエスチョン→キーワード→トライ」と学習の流れが分かりやすく構成されており、学習後には「URL」を使ってその項目に関連したことを自分で調べられるよう工夫されている。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 発展的な学習内容については「発展」マークを付け、見やすく提示している。
- コラムの「食物アレルギー」やチャレンジの「自分の標準体重を知って正しく判断しよう」など、身近な健康課題を掲載している。

◆ 主な題材名

- ・健康相談コーナー ・熱中症の応急手当 ・地球温暖化、放射線と健康 ・AEDの使い方を練習してみよう
- ・危険予測 ・わが家の二酸化炭素排出量を調べてみよう ・ネットワーク利用犯罪から身を守る

5 実習、実験の取扱いについて

内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資	内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資
心肺蘇生法	4	1	2	7	2	固定の仕方	1	1	2	0	2
包帯法	1	1	0	0	1	照度の測定	0	0	0	0	0
直接圧迫止血法	1	0	1	0	1						

- 写真やイラストを豊富に使っており、生徒が実習する際に細かい動作や注意点などが分かりやすくまとめられている。

※ 発展的な実習

- ・AEDの使い方を練習してみよう

〈体育分野〉

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
運動やスポーツの魅力と学び方	10	26%	18	6	0	6	3
運動やスポーツの効果と安全	18	47%	10	12	3	7	4
文化としてのスポーツ	10	26%	28	0	2	1	6

2 学習の効果を高めるための配慮・工夫と思われる内容について

- 多くのイラストや写真を用いて、重要語句を分かりやすく説明し、生徒の学ぶ意欲を高める工夫がされている。
- 「コラム」や「事例」では、東京マラソンや運動会など身近な話題を掲載し、生涯にわたり運動に親しめるような工夫がされている。
- 本文の横に分かりやすく補足説明が設けられており、学習をより深めることができるよう配慮されている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- 「体づくり運動における体力を高める運動の例」「課外活動における危険を予測しよう」など具体例を挙げての説明があり、生徒が学習後すぐに実生活で活用できるように配慮されている。
- テニスの錦織選手やなでしこジャパンなど生徒にとって身近な人や物を写真などで示すことで、学習への動機付けをしている。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 「体力を高める運動の計画を立てよう」「ソーシャルスキルを高めよう」において、運動やスポーツの意義や効果などについて、既習の知識をもとに生徒の実態に即した内容で手順や方法を紹介している。

◆ 主な題材名

- ・効果的な学び方を考えよう ・体力を高める運動の計画を立てよう ・ソーシャルスキルを高めよう

【調査票Ⅰ】 【224 学研】 (中学校 保健体育)

概 要

《保健分野》

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
心身の機能の発達と心の健康	26	21%	8	21	14	26	6
健康と環境	22	18%	20	21	11	22	6
傷害の防止	28	23%	26	45	11	30	4
健康な生活と病気の予防	46	38%	48	40	25	39	10

2 基礎的・基本的な内容を活用した学習内容の取扱いについて

(1) 課題をつかむ導入の工夫

- 各項目に「学習の目標」が明示されているので、本時に身に付ける学習内容が確認でき、授業に見通しを持って取り組むことができる。
- 経験や今ある知識を生かして取り組む「ウォームアップ」から、単元の中心的な課題に関わりながら、生徒に「考える」「調べる」「チェックする」「振り返る」「表現する」などの機会を与え、学習課題への気付き、課題をつかませるような工夫がされている。

(2) 各単元における課題の配列や工夫

- 「ウォームアップ」→「エクササイズ」→「活用しよう」(「実習」)など、多くの単元で考えたり、振り返ったりする課題の配列がなされ、基礎的・基本的な知識の活用を図る工夫や課題解決的な学習が組み込まれている。
- 教科書の構成と学習の流れが明確で、「1時間の主な流れ」や「学習方法」、分かりやすい「マーク」は授業を進めるのに有効である。

(3) 実生活に生かした学習課題と系統的な内容の取扱い

- 現代的な健康課題を豊富な参考資料を掲載しながら、中学生の生活と関連付けて構成している。
- 日本の偉人の功績や名言、我が国の伝統や文化を掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができるような工夫がされている。
- 生命尊重や他者の尊重など、学習指導要領に示された道徳の内容について、保健体育の学習全体を通して関連を図ろうとしている。

(4) 話し合いや説明、調査など発表方法の工夫

- ディスカッションやブレインストーミングを用いながら、グループで意見を交わして課題解決の方法を学習したり、発想を出し合ったり、教え合い学び合う活動や言語活動の充実を図るための学習場面で工夫がされている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- インターネットやスマートホンなどのコミュニティサイトによる被害や犯罪防止といった、現代的で身近に生じる問題を扱っている。
- 学習内容に関連した様々な分野の職業や資格を掲載し、キャリア教育にもつなげられるような工夫がされている。
- 参考になるウェブサイトへのガイドや学習内容に関連した読み物資料(コラムなど)が充実している。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 各章の初めに「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」を示すことで、校種間の学習内容の関連が図れるよう工夫されている。
- 「章のまとめ」は、「基礎の完成」や「活用の問題」など基礎基本の習得と活用が系統的になっており、意欲喚起の配慮がされている。
- 現代的な健康課題を中心として「コラム」や発展的な学習「もっと広げる深める」「探求しよう!」「資料」のページを設定することで、学習内容に関係が深い、中学生の興味・関心を高めるような課題を扱っている。

◆ 主な題材名

- ・人類と地球の未来のために ・自然災害 ・自然災害から身を守るために ・がん ・たばこ、酒、薬物に手を出さないために

5 実習、実験の取扱いについて

内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資	内容	頁	写真	イラスト	図	コラム・資
心肺蘇生法	4	12	6	4	2	固定の仕方	1	0	2	0	0
包帯法	2	0	3	0	0	照度の測定	1	2	0	0	0
直接圧迫止血法	1	0	1	0	0						

- 実習などの体験的な学習を扱うことで、学習内容の定着や知識の活用を図る工夫がされている。
- 実習の発展や実習をサポートするコラムや資料などによって、生徒の興味や関心が高められる構成になっている。

※ 発展的な実習

- ・自分の気持ちを上手に伝える(コミュニケーション) ・誘いを断る ・AEDを用いた手当 など

《体育分野》

1 概括的な調査研究

	頁	割合	写真	イラスト	グラフ・表	図	コラム
運動やスポーツの多様性	14	39%	21	14	0	5	2
運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	12	33%	16	9	2	9	5
文化としてのスポーツの意義	10	28%	21	4	1	3	6

2 学習の効果を高めるための配慮・工夫と思われる内容について

- 「情報サプリ」では、生徒の興味や関心を高めるようなミニ知識が書かれており、学習内容+αの意欲喚起につながっている。
- 各章末に課題に取り組むための「探求しようよ!」を設け、中学生が興味や関心を高められるような工夫がされている。

3 自主的・自発的な学習への配慮・工夫について

- 身近なスポーツや運動例を、状況に応じて使い分け、イラストや写真、図を用いて示し、生徒の理解を助ける工夫がされている。
- 資料や「コラム」で中学生の事例を掲載し、身近な問題として実感するための工夫がされている。

4 発展的な内容の取扱いについて

- 各章の初めに「高校で学習すること」を示すことで、校種間の学習内容の関連が図れるよう工夫されている。
- 「コラム」では、スポーツや運動、口絵では「世界で活躍する人たち」、資料では「オリンピック」など発展的な内容のページを設定しており、中学生の興味・関心を高めるような工夫がされている。

◆ 主な題材名

- ・スポーツを支える活動 ・メンタルトレーニング ・体力の必要性 ・けがの応急手当と再発防止 ・ユニバーサルスポーツ

[調査票Ⅱ-1] 【2 東書】 (中学校 保健体育)

第1学年 保健	心身の機能の発達と心の健康	第2学年 保健	健康と環境・傷害の防止
1 体の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の器官の例 図</li> <li>各器官の発育 表</li> <li>年齢と骨量の変化(模式図) 表</li> <li>健康な背骨と骨量が少なく骨密度が低くなった背骨 写</li> </ul>	1 環境への適応能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温への適応能力 図</li> <li>6~9月の真夏日数と熱中症死亡者数(東京都) 表</li> <li>日なたに置いた自動車の車内温度の変化の例 表</li> </ul>
2 呼吸器・循環器の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>手首で調べる方法 写</li> <li>呼吸の仕組み 図</li> <li>年齢による肺活量の変化(2007) 表</li> <li>年齢による呼吸数の変化(2007) 表</li> <li>血液循環の仕組み 図</li> <li>運動習慣と心拍数 表</li> </ul>	2 活動に適する環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>気温が10℃のときの風速と体感温度の関係 表</li> <li>気温、湿度と暑さの感じ方 表</li> <li>学校内の場所による照度基準 図</li> <li>実 照度の測定</li> </ul>
3 生殖機能の成熟	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢による心拍数の変化(2007) 表</li> <li>男女のからだのちがいがい(やってみよう) 図</li> <li>内分泌腺 図</li> <li>生殖機能の成熟に関わるホルモンのはたらき 図</li> <li>精通が起こった時期(2011) 表</li> <li>男子の生殖器 図</li> <li>女子の生殖器 図</li> <li>精子 写</li> <li>初経が起こった時期(2011) 表</li> <li>ホルモンの変化と月経の経過 図表</li> <li>受精と妊娠 図写</li> </ul>	3 室内の空気の衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素の濃度と人体への影響 表</li> <li>換気の回数と二酸化炭素濃度の変化 表</li> <li>一酸化炭素濃度の人体への影響 表</li> <li>一酸化炭素の発生源の例 図</li> </ul>
4 異性の尊重と性情報への対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の性情報の入手方法(2011) 表</li> <li>インターネットのウェブサイトに関係した事件の被害者のうち、小学生・中学生・高校生の数(2013) 表</li> </ul>	4 飲料水の衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の水分の出入り 図</li> <li>体内での水分のはたらき 図</li> <li>浄水場の役割 図写</li> <li>日本の水道の普及率と、病原体に汚染された水による感染症患者数の変化 表</li> </ul>
5 知的機能と情意機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>大脳の発達と神経細胞の変化 図</li> <li>知っている言葉の増加 表</li> <li>脳のつくりと働き 図</li> <li>感情の発達 図</li> </ul>	5 生活に伴う廃棄物の衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭から回収されたごみの種類と量の例 表</li> <li>家庭から出されるごみの処理(2012) 図</li> <li>ごみの総排出量の推移 表</li> <li>最終処分場の残余容量の変化と残余年数 表</li> <li>資源化されたごみの総量とリサイクル率 表</li> <li>下水道の整備と水質の変化(東京都多摩川)(平成25年版) 表</li> <li>生活排水の処理(全国) 図</li> <li>水を汚さない工夫の例 図</li> <li>環境汚染が健康に与える影響 図</li> </ul>
6 社会性の発達と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会性の例 図</li> <li>思春期の心の自立 図</li> </ul>	1 傷害の発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡原因(2012) 表</li> <li>中学校でのけが発生時間帯別(2012) 表</li> <li>傷害の人的要因と環境要因 図</li> </ul>
7 心と体の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体が影響し合う仕組み 図</li> </ul>	2 交通事故の発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>13~15歳の交通事故(2012) 表</li> <li>交通事故の発生要因 図</li> <li>自転車の特性 図</li> <li>自転車の速度と停止距離の目安 表</li> <li>自転車の死角・自動車の内輪差 図写</li> </ul>
8 欲求と欲求不満	<ul style="list-style-type: none"> <li>三つの欲求 図</li> <li>欲求の分析と実現 図</li> <li>自分の欲求にきづくために 図</li> </ul>	3 交通事故の危険予測と回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全や快適性を重視した交通環境整備の例 写</li> </ul>
9 ストレスへの対処と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまなストレスの原因の例 図</li> <li>中学生の不安や悩み 表</li> <li>適度なストレスの良い影響の例 図</li> <li>ストレスが健康に与える悪い影響の例 図</li> <li>ストレスをためすぎないためには 図</li> <li>ストレスへの対処方法の例 図</li> <li>自分の気持ちを上手に伝える手順 図</li> </ul>	4 犯罪被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪被害の場所別発生件数(2012) 表</li> <li>犯罪を防ぐための3要素 図</li> <li>人の行動などに潜む危険 図</li> <li>子ども見守りボランティア 写</li> </ul>
		5 自然災害による危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震の一次災害 写</li> <li>地震の二次災害 写</li> </ul>
		6 自然災害による傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震が発生したときの行動 図</li> <li>防災情報の入手 図</li> <li>気象庁の緊急地震速報 図写</li> </ul>
		7 共に生きる(発展)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害後の時間の経過と、心の状態の変化 図</li> <li>避難所で食事をつくる中学生 写</li> <li>被災地に寄せられた支援 写</li> <li>地域の避難訓練 写</li> </ul>
		8 応急手当の意義と心肺蘇生	<ul style="list-style-type: none"> <li>傷病者が発生した場合の行動 図</li> <li>時間経過と救命の可能性 表</li> <li>実 心肺蘇生法の手順</li> <li>実 心肺蘇生の方法(胸骨圧迫)</li> <li>実 119番通報の方法 図写</li> <li>実 心肺蘇生の方法(気道の確保、人工呼吸)</li> <li>実 AED(自動体外式除細動器)</li> <li>実 熱中症の予防と応急手当</li> </ul>
		9 けがの応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>実 包帯法</li> <li>実 直接圧迫止血法</li> </ul>

[調査票Ⅱ-1] 【4 大日本】 (中学校 保健体育)

第1学年 保健	心身の機能の発達と心の健康	第2学年 保健	健康と環境・傷害の防止
1 体の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身長発育のようすと男女差 (表)</li> <li>・発育急進期の個人差 (表)</li> <li>・年齢による体型の変化 (表)</li> <li>・各器官の発育・発達のかた (表)</li> </ul>	1 環境への適応能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ寒さと体の変化 (表)</li> <li>・気温の変化が健康にあたる影響 (表)</li> <li>・熱中症の月別発生傾向(1975~2012) (表)</li> <li>・熱中症の予防 (表)</li> <li>・熱中症指標計 (表)</li> </ul>
2 呼吸器官・循環器官の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺活量の年齢による変化(2007) (表)</li> <li>・呼吸数の年齢による変化(2007) (表)</li> <li>・呼吸器官のしくみとガス交換 (表)</li> <li>・心拍数の年齢による変化(2007) (表)</li> <li>・心臓の重さの年齢による変化 (表)</li> <li>・循環器官のしくみ (表)</li> <li>・中学生の生活のしかたと新体力テストの合計点(2013) (表)</li> </ul>	2 快適な気温・湿度・気流と明るさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の快適な条件 (表)</li> <li>・気温とマラソンの記録の関係 (表)</li> <li>・照度計 (表)</li> <li>・直射日光が当たる部分と当たらない部分の照度差 (表)</li> <li>・明るさの基準 (表)</li> </ul>
3 生命を生み出す体への成熟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な内分泌腺の位置 (表)</li> <li>・ホルモンのはたらき (表)</li> <li>・生殖器官の発達 (表)</li> <li>・精通・初経が起こった時期(2013) (表)</li> <li>・性ホルモン量の年齢による変化 (表)</li> <li>・生命の誕生 (表)</li> <li>・射精のしくみ (表)</li> <li>・月経の経過 (表)</li> <li>・排卵から着床まで (表)</li> </ul>	3 空気の汚れと換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の呼気と吸気の成分 (表)</li> <li>・空気中の二酸化炭素の濃度と体への影響 (表)</li> <li>・空気中の一酸化炭素の濃度と体への影響 (表)</li> <li>・一酸化炭素の発生源 (表)</li> <li>・血液中での一酸化炭素中毒の起こり方 (表)</li> <li>・一酸化炭素中毒事故を伝える記事 (表)</li> <li>・換気回数と教室の二酸化炭素濃度(中学校) (表)</li> <li>・検知管による気体の濃度の測定 (表)</li> </ul>
4 思春期の心の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の心の変化 (表)</li> <li>・性について知りたいこと(2013) (表)</li> <li>・性情報の入手経路(2008) (表)</li> <li>・責任ある行動 (表)</li> </ul>	4 水の役割と飲料水の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での水の使用例(2006) (表)</li> <li>・1日の体内の水分の出入り (表)</li> <li>・水の使用量の変化(2013) (表)</li> <li>・水道法による水質基準 (表)</li> <li>・上水道のしくみ (表)</li> </ul>
5 考える心・感動する心の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳の発育・発達 (表)</li> <li>・大脳のはたらき (表)</li> <li>・知的機能の発達(ようす) (表)</li> <li>・感情の発達(ようす) (表)</li> </ul>	5 生活にともなう廃棄物の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洗化人口の推移 (表)</li> <li>・生活雑排水やし尿処理の流れ(2013) (表)</li> <li>・一人1日あたりのごみの量(2013) (表)</li> <li>・ごみの処理(2013/14) (表)</li> </ul>
6 人とのかかわりと自分らしさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性の発達 (表)</li> <li>・反抗と自立 (表)</li> <li>・自分自身についてどう思っているか(2009) (表)</li> </ul>	6 環境問題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の浄化活動 (表)</li> <li>・環境汚染物質とその影響の例 (表)</li> </ul>
7 欲求への対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の欲求の段階と発達 (表)</li> <li>・欲求への対処 (表)</li> </ul>	1 傷害の発生要因と防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のけがの実態(2013) (表)</li> <li>・傷害発生の人的要因と環境要因の例 (表)</li> <li>・人的要因への対策例 (表)</li> <li>・環境要因への対策例 (表)</li> </ul>
8 ストレスへの対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のストレスの例 (表)</li> <li>・ストレスへの対処 (表)</li> </ul>	2 交通事故の要因と傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の負傷者の状態別割合(2013) (表)</li> <li>・10~14歳の死亡原因(事故)(H24) (表)</li> <li>・交通事故の主な要因と対策例 (表)</li> <li>・自転車の特性 (表)</li> <li>・自動車の速度と停止距離 (表)</li> <li>・自動車の内輪差 (表)</li> <li>・自動車の死角 (表)</li> </ul>
9 心と体のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心と行動の関係の例 (表)</li> <li>・心と体のつながり (表)</li> <li>・神経のはたらきと体の状態 (表)</li> <li>・心の健康な人 (表)</li> <li>・心と体の調和 (表)</li> </ul>	資料●交通事故などの実態と安全な交通社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行中の交通事故の原因(13~15歳)(2013) (表)</li> <li>・自転車乗用中の交通事故の原因(13~15歳)(2013) (表)</li> <li>・中学生の時間帯別死傷者数(2013) (表)</li> <li>・中学生の道路形状別死傷者数(歩行中)(2013) (表)</li> <li>・自転車乗用中と歩行中の交通事故件数(2013) (表)</li> <li>・自転車に関連した交通事故の移り変わり (表)</li> <li>・重傷事故被害者の心の変化(2004) (表)</li> <li>・交通事故体験の作文 (表)</li> <li>・だれもが安全に行動できる交通社会 (表)</li> <li>・自転車の通行規制 (表)</li> </ul>
章末資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来なりたい自分の姿 (表)</li> <li>・将来つきたい職業 (表)</li> </ul>	3 犯罪被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の犯罪被害の発生場所 (表)</li> <li>・犯罪発生の人的要因とその対策 (表)</li> <li>・犯罪発生(環境)要因とその対策 (表)</li> </ul>
		4 自然災害による傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害の例 (表)</li> <li>・ハザードマップ (表)</li> <li>・地震が発生したときの行動 (表)</li> <li>・大地震後の心の変化 (表)</li> </ul>
		5 応急手当の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時における時間経過と死亡率の関係 (表)</li> <li>・応急手当の順序 (表)</li> <li>・119番通報(救急車の呼び方) (表)</li> </ul>
		6 心肺蘇生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反応の確認から心肺蘇生のしかた (表)</li> </ul>
		7 出血があるときの応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出血があるときの外傷の応急手当 (表)</li> <li>・直接圧迫止血法 (表)</li> <li>・保護ガーゼの効果 (表)</li> <li>・いろいろな包帯の使い方 (表)</li> <li>・包帯の巻き方 (表)</li> </ul>
		8 外傷の応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打撲く傷、脱きゅう、ねんざ、骨折 (表)</li> <li>・外傷の応急手当 (表)</li> </ul>

[調査票Ⅱ-1] 【50 大修館】 (中学校 保健体育)

第1学年 保健	心身の機能の発達と心の健康	第2学年 保健	健康と環境・けがの防止
1 体の発育・発達	・年齢による身長の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・器官別にみた発育のしかた <input checked="" type="checkbox"/>	1 環境の変化への体の適応	・気温変化への体温調節のしくみ <input checked="" type="checkbox"/> ・高地住民と低地住民の赤血球数とヘモグロビン量の違い <input checked="" type="checkbox"/> ・注意が必要な状況 <input checked="" type="checkbox"/> ・月別にみた学校における熱中症死亡事故(1975～2010年)の累計 <input checked="" type="checkbox"/> ・運動をする場合の熱中症対策 <input checked="" type="checkbox"/>
2 呼吸器・循環器の発育・発達	・呼吸器官とガス交換の働き <input checked="" type="checkbox"/> ・年齢による呼吸数の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・年齢による肺活量の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・循環器と血液循環の働き <input checked="" type="checkbox"/> ・年齢による心拍数の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・運動習慣のある人とない人の心拍数の比較 <input checked="" type="checkbox"/>	2 快適で能率のよい環境	・学習する場合の気温・湿度・気流の至適範囲 <input checked="" type="checkbox"/> ・気温と学習効率の関係 <input checked="" type="checkbox"/> ・明るさの基準 <input checked="" type="checkbox"/>
3 生殖にかかわる働きの成熟	・ホルモンの働きと男女の体の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・男子生殖器・女子生殖器 <input checked="" type="checkbox"/> ・月経のしくみ・排卵・受精・着床 <input checked="" type="checkbox"/> ・初経経験率(2012), 精通経験率(2012) <input checked="" type="checkbox"/>	3 衛生的な飲料水の供給	・水分の摂取と排泄のバランス <input checked="" type="checkbox"/> ・衛生的な水道水が飲めるしくみ <input checked="" type="checkbox"/>
4 性への関心と行動	・初めて性的なことに関心をもったことがある年齢(2012) <input checked="" type="checkbox"/> ・中学生が性について知りたいこと(2012) <input checked="" type="checkbox"/> ・性情報の入手先(複数回答, 2008) <input checked="" type="checkbox"/>	4 空気の汚染と換気	・呼気と吸気の成分の違い <input checked="" type="checkbox"/> ・適切な換気のしかた <input checked="" type="checkbox"/> ・一酸化炭素の発生源と中毒の例 <input checked="" type="checkbox"/>
5 心の発達と社会性	・脳の神経細胞の変化 <input checked="" type="checkbox"/> ・知的機能の発達をうながす例 <input checked="" type="checkbox"/> ・感情の発達 <input checked="" type="checkbox"/> ・情意機能の発達をうながす例 <input checked="" type="checkbox"/> ・社会性の発達をうながす例 <input checked="" type="checkbox"/>	5 し尿とごみの処理	・下水道普及率とチフス死亡率の推移(ドイツ・ベルリン) <input checked="" type="checkbox"/> ・バキュームカー <input checked="" type="checkbox"/> ・し尿の衛生的処理, 可燃ごみの衛生的処理 <input checked="" type="checkbox"/>
6 自己形成	・自分のことが気になる <input checked="" type="checkbox"/> ・さまざまな自分 <input checked="" type="checkbox"/>	6 私たちの生活と環境問題	・熊本水俣病・四日市ぜんそく <input checked="" type="checkbox"/> ・水質汚濁(左:アオコ, 右:赤潮) <input checked="" type="checkbox"/> ・温暖化の影響(左:1990年, 右:1995年) <input checked="" type="checkbox"/> ・ライトダウンキャンペーンに参加した東京駅 <input checked="" type="checkbox"/> ・節水を呼びかけるポスター <input checked="" type="checkbox"/> ・私たちにできること <input checked="" type="checkbox"/>
7 欲求と欲求不満	・欲求の種類と年齢 <input checked="" type="checkbox"/> ・欲求不満のときにみられる行動や心の働きの例 <input checked="" type="checkbox"/>	1 けがの原因と防止	・10～14歳の事故による死因順位(2012) <input checked="" type="checkbox"/> ・中学校の生活におけるけがの場面(2012) <input checked="" type="checkbox"/> ・人的要因と環境要因の例 <input checked="" type="checkbox"/>
8 心と体のかかわり	・心と体のかかわりの例 <input checked="" type="checkbox"/> ・心の緊張が体に影響するときの神経やホルモンの働き <input checked="" type="checkbox"/>	2 交通事故によるけがの防止	・13～15歳における交通事故の状態別にみた死傷者数(2013) <input checked="" type="checkbox"/> ・自転車事故につながる危険な行動 <input checked="" type="checkbox"/> ・自転車の特性・交通事故の背景にある人的要因・環境要因・車両要因 <input checked="" type="checkbox"/> ・自転車の特性 <input checked="" type="checkbox"/> ・安全な交通環境 <input checked="" type="checkbox"/>
9 ストレス対処と心の健康	・ストレスとその原因 ・ストレス対処のさまざまな方法 <input checked="" type="checkbox"/> ・心の健康とその高まり <input checked="" type="checkbox"/>	3 犯罪被害の防止	・中学生が犯罪被害にあった場所(2012) <input checked="" type="checkbox"/> ・まちの中の防犯の取り組み <input checked="" type="checkbox"/>
		4 自然災害への備えと避難	・阪神淡路大震災(1995)での建物の倒壊 <input checked="" type="checkbox"/> ・東日本大震災(2011)での津波 <input checked="" type="checkbox"/> ・新潟県中越地震(2004)での土砂崩れ <input checked="" type="checkbox"/> ・阪神淡路大震災(1995)での火災 <input checked="" type="checkbox"/> ・屋外での地震被害の例・広域避難場所の標識 ・家具に関する地震対策・備蓄物資の例 <input checked="" type="checkbox"/>
		5 応急手当の基本	・命にかかわる事態が起きてからの時間と死亡率の関係 <input checked="" type="checkbox"/> ・倒れている人を見つけたときに, まずしなければならないこと <input checked="" type="checkbox"/>
		6 けがの応急手当	・出血の応急処置 <input checked="" type="checkbox"/> 実 出血を止める練習をしよう 実 包帯を巻く練習をしよう ・RICE法 <input checked="" type="checkbox"/> 実 患部を固定する練習をしよう
		7 心肺蘇生法	・心肺蘇生法 <input checked="" type="checkbox"/> 実 胸骨圧迫の練習をしよう 実 気道確保を練習してみよう 実 人工呼吸を練習してみよう 実 AEDの使い方を練習してみよう

[調査票Ⅱ-1] 【224 学研】 (中学校 保健体育)

第1学年 保健	心身の機能の発達と心の健康	第2学年 保健	健康と環境・傷害の防止
1 体の発育・発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>身長や体重の発育の仕方 (表)</li> <li>体の各器官 (図)</li> <li>各器官の発育の仕方 (図表)</li> <li>思春期の生活で気を付けたいこと (図)</li> </ul>	1 環境の変化と適応能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑いときと寒いときの体 (表)</li> <li>高地への適応の例 (表)</li> <li>熱中症の起こり方 (図)</li> <li>体温の限界 (図)</li> </ul>
2 呼吸器・循環器の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸器の仕組みとガス交換 (図)</li> <li>呼吸数の年齢による変化 (表)</li> <li>肺活量の年齢による変化 (表)</li> <li>心臓と血液の流れ (図)</li> <li>脈拍数の年齢による変化 (表)</li> <li>持久力を高めるための運動の仕方の例 (図)</li> </ul>	2 活動に適した環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>暑さ・寒さの感じ方の条件 (図)</li> <li>望ましい気温などの範囲(教室) (図)</li> <li>明るさの基準(学校の室内) (表)</li> </ul>
3 生殖機能の成熟	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の変化が起こる仕組み (図)</li> <li>初めて月経が起こった年齢(2011) (表)</li> <li>初めて射精が起こった年齢(2011) (表)</li> <li>女子の生殖器と排卵・月経の仕組み (図)</li> <li>男子の生殖器と射精の仕組み (図)</li> <li>排卵・受精・着床 (図)</li> </ul>	3 室内の空気の条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>二酸化炭素濃度と体への影響 (表)</li> <li>一酸化炭素の発生源の例 (図)</li> <li>一酸化炭素濃度と体への影響 (表)</li> </ul>
4 性はどう向き合うか	<ul style="list-style-type: none"> <li>性的なことに関心を持った経験(2011) (表)</li> <li>コミュニティーサイトによる被害(18歳未満) (表)</li> <li>インターネットを通じた被害にあわないために (表)</li> </ul>	4 水の役割と飲料水の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内での水の役割 (図)</li> <li>体の中の水分の出入り (図)</li> <li>家庭での水の使用の例 (表)</li> <li>安全な水が供給されるまで (図)</li> <li>水質検査の様子 (写)</li> <li>水環境の汚染 (写)</li> </ul>
5 心の発達(1) 知的機能と情意機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>大脳の働きと神経細胞の絡み合い (図)</li> <li>知的機能の発達の仕方 (表)</li> <li>感情の発達(分化) (表)</li> <li>情意機能を発達させる経験の例 (図)</li> </ul>	5 生活排水の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水処理場で処理された水 (写)</li> <li>下水道の普及率 (表)</li> </ul>
6 心の発達(2) 社会性の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会性の例 (図)</li> <li>自分の気持ちを上手に伝える (図)</li> </ul>	6 ごみの処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの量(一人一日当たり) (表)</li> <li>ごみの行方(処理)(2012年度) (図)</li> <li>3R (図)</li> <li>循環型社会の姿 (図)</li> </ul>
7 自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を見つめる自分 (図)</li> <li>自分自身について(中学生) (表)</li> </ul>	7 環境の汚染と保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚染物質と健康への影響 (図表)</li> <li>光化学オキシダント注意報の発令 (表)</li> </ul>
8 欲求不満やストレスへの対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体の関わり (図)</li> <li>心の問題が原因で起こる好ましくない反応 (表)</li> <li>欲求の種類 (表)</li> <li>欲求不満が起こったときに見られる行動 (図)</li> <li>ストレスへとは (図)</li> <li>ストレスへの対処の仕方の例 (図)</li> </ul>	1 傷害の原因と防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>死亡の原因(2012) (表)</li> <li>中学校での傷害・疾病(2012) (表)</li> <li>傷害の要因 (図)</li> </ul>
		2 交通事故の現状と原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故負傷者の状態別割合(2012) (表)</li> <li>自転車事故の原因(上位7種, 2012) (表)</li> <li>自転車と歩行者, 自転車同士の事故 (表)</li> <li>交通事故の要因の例 (図)</li> <li>自動車の特性 (図表)</li> <li>自転車の特性 (図表)</li> </ul>
		3 交通事故の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険予測ポイント (図)</li> <li>交通環境の整備の例 (写)</li> <li>安全装備の使用 (図写)</li> </ul>
		4 犯罪被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪被害発生件数(2012) (表)</li> <li>犯罪が起こりやすい場所や場面 (図)</li> <li>犯罪防止のためのつながり (図)</li> </ul>
		5 自然災害に備えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害の例 (写)</li> <li>緊急地震速報 (図写)</li> <li>自然災害発生時の行動 (図)</li> </ul>
		6 応急手当の意義と基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急手当の開始時間と救命の可能性の関係 (表)</li> <li>応急手当の一般的な流れ (図)</li> <li>移動が必要な場所の例 (図)</li> <li>通報の仕方 (図)</li> <li><b>突</b> 心肺蘇生法 傷病者に意識がない場合の手当</li> </ul>
		7 きずの手当	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>突</b> 直接圧迫止血法</li> <li><b>突</b> 包帯法 巻き包帯&lt;腕&gt;</li> <li><b>突</b> 包帯法 三角巾&lt;足を包む&gt;</li> <li><b>突</b> 包帯法 ネット包帯</li> <li><b>突</b> 固定法 前腕の骨折の場合</li> <li><b>突</b> 固定法 足首の捻挫の場合</li> <li>骨折・脱臼・捻挫とその手当 (図)</li> </ul>

【調査票Ⅱ-2】 【2 東書】 (中学校 保健体育)

第3学年 保健	健康な生活と疾病の予防	第1学年 体育理論	運動やスポーツの多様性
1 健康の成り立ちと病気の発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体の要因と環境の要因 ㊦</li> <li>日本人の平均寿命の変化 ㊦</li> <li>日本人の死因の推移 ㊦</li> </ul>	1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツの多様な楽しさ ㊦</li> <li>テニスの変化 ㊦</li> </ul>
2 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食を食べていない人の割合 ㊦</li> <li>1日の血糖値の変化 ㊦</li> <li>1日のエネルギー必要量 ㊦</li> <li>体に必要な主な栄養素 ㊦</li> </ul>	2 運動やスポーツへの多様な関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツに関わる人々 ㊦</li> </ul>
3 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の効果 ㊦</li> <li>1日の運動, スポーツ実施時間と持久力との関係(14歳) ㊦</li> <li>健康づくりの運動量の目安 ㊦</li> <li>太ももの断面 ㊦</li> </ul>	3 運動やスポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球における技術・戦術・作戦の例 ㊦</li> <li>試合中にデータ分析をするスタッフ ㊦</li> </ul>
4 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>疲労の現れ方 ㊦</li> <li>コンピュータの使用と疲労 ㊦</li> <li>心身の疲労を回復させる方法の例 ㊦</li> </ul>	第2学年 体育理論	運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全
5 生活習慣病の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の死亡原因の内訳(2012) ㊦</li> <li>生活習慣病になる過程 ㊦</li> <li>危険因子ごとの国内の推定死者数(2007) ㊦</li> <li>肥満と痩せの割合(2012) ㊦</li> <li>適正体重の求め方の例 ㊦</li> <li>生活習慣病を予防する調和のとれた生活 ㊦</li> <li>社会の取り組みの例 ㊦</li> </ul>	1 運動やスポーツが心身に及ぼす効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツを行うための体力3要素の年間発達量の変化 ㊦</li> <li>体はエネルギー変換器 ㊦</li> <li>脂肪の蓄積 ㊦</li> </ul>
6 喫煙の害と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>たばこの主な有害物質 ㊦</li> <li>副流煙に含まれる有害物質の量 ㊦</li> <li>喫煙による血管の収縮 ㊦</li> <li>非喫煙者の肺と喫煙者の肺 ㊦</li> <li>非喫煙者と比べた喫煙者のがん死亡率比(1988) ㊦</li> <li>喫煙開始年齢と死亡率 ㊦</li> <li>たばこの消費本数と肺がん死亡率 ㊦</li> </ul>	2 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>FIFA 女子ワールドカップドイツ 2011 で優勝と同時にフェアプレイ賞を受賞した日本代表女子チーム ㊦</li> <li>練習中に教え合う・試合中に励まし合う ㊦</li> </ul>
7 飲酒の害と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルコール血中濃度と酔いの状態 ㊦</li> <li>体内に入ったアルコールの分解 ㊦</li> <li>大量飲酒による脳の委縮 ㊦</li> <li>飲酒開始年齢とアルコール依存症 ㊦</li> </ul>	3 運動やスポーツの安全な行い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動中に発生したけがの部位(2011) ㊦</li> <li>練習計画の立て方 ㊦</li> <li>スポーツ活動中の水分補給と体温の関係 ㊦</li> <li>運動やスポーツによってけがをした人の割合(2011) ㊦</li> <li>クーリングダウンの効果 ㊦</li> </ul>
8 薬物乱用の害と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな乱用薬物 ㊦</li> <li>薬物乱用による精神の障がい ㊦</li> <li>薬物乱用の悪循環 ㊦</li> </ul>	第3学年 体育理論	文化としてのスポーツの意義
9 薬物乱用の社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物常用者による犯罪(2012) ㊦</li> <li>覚醒剤の社会への影響 ㊦</li> </ul>	1 現代生活におけるスポーツの文化的意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動・スポーツを行ってよかった理由(2011) ㊦</li> <li>スポーツの真価 ㊦</li> <li>スポーツ基本法の前文(一部) ㊦</li> </ul>
10 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙, 飲酒, 薬物乱用のきっかけ ㊦</li> <li>中学生の喫煙動機(2005) ㊦</li> <li>映画の喫煙シーンの目撃回数と, 喫煙を試したことがある人の割合(2001) ㊦</li> </ul>	2 国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大会における交流 ㊦</li> <li>オリンピック ㊦</li> <li>夏季オリンピックのテレビ放送国・地域数 ㊦</li> <li>スポーツの魅力とメディアの発達 ㊦</li> </ul>
11 感染症の原因とその広がり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>病原体の感染と発病 ㊦</li> <li>感染症の例 ㊦</li> <li>感染経路 ㊦</li> <li>ヒトシジマカの生息域の変化 ㊦</li> </ul>	3 人々を結び付けるスポーツの文化的なはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国都道府県対抗女子駅伝のチーム編成 ㊦</li> <li>障害の有無をこえたスポーツ ㊦</li> <li>クロスカントリー座位 ㊦</li> <li>スポーツシューズ職人の三村仁司さん ㊦</li> </ul>
12 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染性胃腸炎の感染を防ぐための消毒 ㊦</li> <li>セキエチケット ㊦</li> <li>1918年のスペイン風邪流行における死者数 ㊦</li> </ul>		
13 性感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>おもな性感染症 ㊦</li> <li>性感染症報告数(2011) ㊦</li> </ul>		
14 エイズの予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIV感染の影響とエイズの発症 ㊦</li> <li>HIVに感染したCD4リンパ球 ㊦</li> <li>HIV感染者とエイズ患者の報告数 ㊦</li> </ul>		
15 保健・医療機関の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな医療機関 ㊦</li> <li>保健センターと保健所の役割の例 ㊦</li> </ul>		
16 医薬品の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品の使用量と作用 ㊦</li> <li>医薬品のいろいろな形状 ㊦</li> <li>食前・食後・食間の薬の飲み方 ㊦</li> <li>お薬手帳 ㊦</li> </ul>		
17 個人の健康を守る社会の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査, 特定保健指導 ㊦</li> <li>私たちの健康を支える取り組み ㊦</li> <li>地域住民の健康を保持増進するための取り組み ㊦</li> </ul>		

[調査票Ⅱ-2] 【4 大日本】 (中学校 保健体育)

第3学年 保健	健康な生活と疾病の予防	第1学年 体育理論	運動やスポーツの多様性
1 健康の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養生の意味と健康の考え方 ㊟</li> <li>・社会生活・自然環境の変化と現代の健康問題 ㊟</li> <li>・主体の要因と環境の要因 ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 運動やスポーツの必要性と楽しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツを行う理由 ㊟</li> <li>・豊かなスポーツライフ ㊟</li> <li>・運動やスポーツの変化 ㊟㊵</li> <li>・スポーツ基本法(前文要約)(2011) ㊟</li> </ul>
2 食生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に必要なエネルギー(2015) ㊵</li> <li>・10分あたりに消費されるエネルギー ㊟</li> <li>・主な食品のエネルギー ㊟</li> <li>・栄養素の不足・とり過ぎによる障害の例 ㊟</li> <li>・バランスのよい食事 ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 運動やスポーツへの多様なかかわり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン大会への多様なかかわり方(2014) ㊵</li> </ul>
3 運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が体にあたる影響 ㊟</li> <li>・健康づくりのための運動量の目安(2013) ㊟</li> <li>・体力テストの記録の比較(2013) ㊵</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 運動やスポーツの学び方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の例 ㊟</li> <li>・ダンスと表現のしかた ㊟㊵</li> <li>・目標の決定と学び方 ㊟</li> <li>・作戦・戦術とその学び方 ㊟㊵</li> </ul>
4 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労の現れ方 ㊟</li> <li>・コンピュータなどの使用による健康への影響 ㊟</li> <li>・疲労回復のための上手な休養 ㊟</li> <li>・成長ホルモンと睡眠 ㊵</li> </ul>	第2学年 体育理論	運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全
5 生活習慣の変化と生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂取エネルギー比率の移り変わり ㊵</li> <li>・死亡の原因(平成24年) ㊵</li> <li>・心臓病と脳卒中が起こるしくみ ㊟</li> <li>・生活習慣とのかかわりが深いその他の病気 ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 運動やスポーツが体にあたる効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力 ㊟</li> <li>・骨密度の増加減少と骨粗鬆症 ㊵㊵</li> <li>・筋肉の比較 ㊟㊵</li> <li>・体力3要素の年間発達量の変化 ㊵</li> <li>・腹部の断面画像 ㊟㊵</li> </ul>
6 生活習慣病の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7つの健康習慣 ㊟</li> <li>・標準体重と肥満度(2010) ㊟</li> <li>・健康診断による生活習慣病の早期発見 ㊟</li> <li>・がんを防ぐための新12か条</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 運動やスポーツが心にあたる効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツが心にあたる効果 ㊟</li> <li>・よりよい人間関係を築く ㊟</li> <li>・日常生活で活かされる社会性 ㊟</li> </ul>
7 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこ吸ったときの急性影響 ㊟</li> <li>・喫煙による脳の血流量の変化 ㊵</li> <li>・たばこの煙の主成分 ㊵</li> <li>・喫煙開始年齢と肺がん死亡率の比 ㊵</li> <li>・喫煙率の変化(2012) ㊵</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 安全な運動やスポーツの行い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツ中の危険な行動 ㊟</li> <li>・安全な運動やスポーツの行い方 ㊟</li> <li>・運動やスポーツ中に発生した傷害や事故への応急手当 ㊟</li> <li>・野外活動にひそむ危険性 ㊵</li> </ul>
8 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒による体への影響 ㊟</li> <li>・健康な肝臓と病変した肝臓 ㊵</li> <li>・アルコールの血中濃度と体への影響 ㊟㊵</li> <li>・急性アルコール中毒による年齢別搬送者数(2012) ㊵</li> <li>・飲酒開始年齢とアルコール依存症の人の割合 ㊵</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>草末資料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ声が最大筋力にあたる影響 ㊵</li> </ul>
9 薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンナーの脳への影響 ㊵</li> <li>・薬物とその乱用による心身への影響 ㊵㊵</li> <li>・薬物乱用の悪循環 ㊟</li> <li>・なぜ薬物乱用はいけないのか ㊟</li> </ul>	第3学年 体育理論	文化としてのスポーツの意義
10 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙のきっかけ(平成23年) ㊵</li> <li>・自分自身によるきっかけ ㊟</li> <li>・周りの環境からのきっかけ ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 現代生活におけるスポーツの文化的意義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツを行う理由(年齢別)(2013) ㊵</li> <li>・体育およびスポーツに関する国際憲章(要約)(1978) ㊟</li> <li>・スポーツ基本計画(日本2012年) ㊟</li> <li>・定期的な運動やスポーツの実施率の移り変わり(20歳以上)(2012) ㊵</li> </ul>
11 感染症の原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザの患者数(2013) ㊵</li> <li>・インフルエンザウイルスの生存率と環境条件 ㊵</li> <li>・感染症の例 ㊵㊵</li> <li>・インフルエンザの流行を報道する新聞記事 ㊵</li> <li>・感染症に関する条件 ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的なスポーツ大会の例 ㊵</li> <li>・国際親善と世界平和 ㊵</li> <li>・オリンピックの理念・オリビズム ㊟</li> </ul>
12 感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症を予防するための三原則 ㊟</li> <li>・いろいろな予防接種 ㊟</li> <li>・外部の病原体から体を守るしくみ ㊟㊵</li> <li>・侵入してきた病原体などの異物から体を守るしくみ ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 人々を結びつけるスポーツの文化的なほたらき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々を結びつけるスポーツ ㊵</li> <li>・世界に広がるスポーツ ㊵</li> <li>・つながりのなかのスポーツ ㊵</li> </ul>
13 性感染症とその予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラミジア ㊵</li> <li>・性器クラミジア感染症の年齢層別発生数(2013) ㊵</li> <li>・主な性感染症 ㊵</li> <li>・性的接触の連鎖 ㊟</li> <li>・日本のH I V感染者の年齢構成(2013) ㊵</li> <li>・世界のH I V患者の状況 ㊟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技男子 100m 記録の移り変わり ㊵</li> </ul>
14 エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパ球がH I Vに侵されると ㊵</li> <li>・エイズの潜伏期 ㊟</li> <li>・日本人のエイズ患者、H I V感染者報告数(2013) ㊵</li> <li>・H I V感染経路 ㊟</li> <li>・血液からの感染を予防するための基本的な習慣 ㊟</li> <li>・H I V感染者の感染経路(2013) ㊵</li> </ul>		
15 地域での保健・医療の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所・保健センターの主な役割 ㊟</li> <li>・医療機関の種類とその利用のしかた ㊟</li> </ul>		
16 医薬品の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の効き方と飲み方 ㊟</li> <li>・いろいろな薬と薬のゆくえ ㊟</li> <li>・医薬品を購入する際の注意点 ㊟</li> <li>・市販薬の取扱説明書 ㊟㊵</li> </ul>		
17 個人の健康を守る社会の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の保健活動 ㊟</li> <li>・地域保健のしくみ ㊟</li> <li>・わたしたちの健康を支える取り組み ㊟</li> <li>・世代と地域をつなぐ公衆衛生活動 ㊵</li> </ul>		
発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温と運動実施の目安 ㊵</li> </ul>		



〔調査票Ⅱ-2〕 【50 大修館】 (中学校 保健体育)

第3学年 保健	健康な生活と疾病の予防	第1学年 体育理論	運動やスポーツの魅力と学び方
1 健康を左右するもの	・主体、環境と健康との関係 図 ・健康や病気にかかわる主体要因と環境要因 図	1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	・運動やスポーツの楽しさや喜び 図⑤
2 運動と健康	・年齢による骨の密度の変化 表 ・健康な骨(上)と骨粗しょう症になった骨(下) ⑤ ・運動量と死亡率の関係 表 ・運動の健康への効果 図 ・身体活動で消費するエネルギー(12~14歳の人が10分間おこなった場合) 表 ・スポーツだけがをしたり、スポーツ障がいになったりしたことがある中学生の割合 表	2 運動やスポーツへのかかわり方 3 運動やスポーツの学び方	・東京マラソンへの多様なかかわり方 図⑤ ・職業としてのスポーツへのかかわり ⑤ ・バスケットボールの技術(例:レイアップシュート) 図⑤ ・柔道の計画的な学び方 図 ・跳び箱運動(台上前転)の練習の例 図 ・簡易ゲームを利用したバレーボールの練習の例 図 ・集団の動きの例 ⑤
3 食事と健康	・栄養素とその働き 図 ・食事がかわるおまな健康問題 図 ・必要なエネルギーの量と食事の留意点 表 ・朝食と体温の関係 表 ・健康的な食事をとるためのポイント 表 ・食品のエネルギー量 表⑤	第2学年 体育理論	運動やスポーツの効果と安全
4 休養・睡眠と健康	・疲労のあらわれとしてみられる心身の状態 図 ・睡眠のリズムと成長ホルモンの分泌 表	1 運動やスポーツの体への効果	・運動やスポーツによる体の変化の例 図⑤ ・心臓が送り出す血液量 図⑤ ・体の動きの調整 図⑤ ・体力要素と体力を高める運動の例 図⑤
5 生活習慣病とその予防	・生活習慣病の起こり方 図 ・さまざまな生活習慣病〔がん ⑤、心臓病・脳卒中 図、糖尿病 図、歯周病 図〕 ・がんの原因とその影響の割合 表 ・動脈硬化の進行 図 ・胃がんの進行度別にみた5年後の生存率 表	2 運動やスポーツの心への効果	・達成感と自信の獲得や意欲の向上 図 ・スポーツでのコミュニケーション ⑤ ・雰囲気をよくする工夫 ⑤
6 喫煙と健康	・喫煙による健康への悪影響 図表⑤ ・夫の喫煙が妻の健康におよぼす影響 表 ・両親の喫煙が乳幼児の突然死におよぼす影 表 ・喫煙開始年齢と肺がん死亡率 表 ・喫煙の習慣化 図	3 運動やスポーツの安全なおこない方	・体調、服装、施設・用具のチェック 図 ・ウォームアップの効果 表 ・運動中の水分補給と体温 表 ・仲間の安全への配慮 図
7 飲酒と健康	・アルコールの量と心身への影響 図表 ・飲酒による健康への悪影響 図 ・飲酒開始年齢と依存症の関係 表 ・各国の酒に対する広告規制 表	第3学年 体育理論	文化としてのスポーツ
8 薬物乱用と健康	・乱用されるさまざまな薬物 図⑤ ・薬物乱用による悪影響・幻覚・妄想の例 図 ・薬物乱用のきっかけ(有機溶剤の場合、複数回答、2010) 図 ・生徒にとっての学校の楽しさと有機溶剤乱用の関係 表	1 生活を豊かにするスポーツ	・スポーツの実施状況とスポーツを実践する人びと 表⑤ ・学校施設の開放 ⑤ ・地域スポーツクラブが開催するスポーツ教室 ⑤
9 感染症と病原体	・さまざまな病原体 ⑤ ・さまざまな感染症 表 ・さまざまな感染経路 図	2 国際的スポーツ大会の役割	・オリンピック休戦を願う壁 ⑤ ・大型スクリーンで観戦する人びと ⑤ ・神への感謝の儀式が描かれたつぼ ⑤ ・第1回大会の参加国 表⑤
10 感染症の予防	・免疫のしくみ 図 ・感染症の予防対策 図 ・一度減少した感染症が再び増える理由 図 ・新たにあらわれた感染症 表	3 人びとを結ぶスポーツ	・スポーツを通じた国際交流 ⑤ ・男女混合で楽しむ仲間とのバレーボール ⑤ ・障がい者といっしょに楽しむ車いすバスケットボールの講習会 ⑤ ・世代間交流グラウンド・ゴルフ大会 ⑤ ・未知の記録への挑戦 ⑤
11 性感染症の予防	・性器クラミジア感染者感染者の年齢別割合(2010) 表 ・おもな性感染症 表 ・性的接触のつながり ・繰り返される感染 図		
12 エイズの予防	・HIV ⑤ ・日本のHIV感染者とエイズ患者(新たに報告された数、2012) 表 ・世界のHIV感染者数(推計2012) 図 ・感染経路と防ぎ方 表		
13 医薬品の正しい使い方	・薬の量と効果 表 ・説明書の例・薬のさまざまな形 図 ・錠剤の構造と効果の例(断面図) 図 ・薬の副作用としてみられる症状の例 図 ・お薬手帳 ⑤		
14 医療・保健機関とその利用	・保健所と保健センターの役割 図⑤		
15 個人の健康を守る社会の取り組み	・健康を守る社会的取り組み ⑤ ・地域の保健活動 ⑤ ・さまざまな国際保健活動 ⑤		

[調査票Ⅱ-2] 【224 学研】 (中学校 保健体育)

第3学年 保健	健康な生活と疾病の予防	第1学年 体育理論	スポーツの多様性
1 健康の成り立ち	・日本の死因の推移(2010) 表 ・主体の要因と環境の要因 図	1 スポーツの始まりと発展	・楽しさや必要性から見たスポーツ 図 ・日本の「スポーツ基本法」(前文) 図 ・日本におけるスポーツの捉え方 ⑤
2 運動と健康	・運動の効果 図・中学生の運動習慣 表 ・中学生・高校生の運動指針 表 ・体力・運動能力の発達 表	2 スポーツへの多様な関わり方	・スポーツの行い方の例 図 ・スポーツの見方の例 ⑤ ・スポーツの支え方の例 ⑤ ・スポーツについて調べる ⑤
3 食生活と健康	・一日のエネルギー摂取量の目安 表 ・食品のエネルギー量 図 ・運動で消費されるエネルギー量 図 ・栄養素の不足やとりすぎによる障害の例 表 ・朝食をとらないと… 表 ・中学生の時期の食生活で気を付けたいこと 図	3 スポーツの学び方	・スポーツの学び方の例 図 ・コンピュータなどの情報機器の例 ⑤ ・技術の学び方の例(バレーボールのトスの場合) 図 ・戦術・作戦の例(バスケットボールの場合) 図 ・戦術, 表現の仕方と学び方の例 図
4 休養・睡眠と健康	・疲労の自覚症状の例 表		
5 生活習慣病とその予防	・日本人の死因(2012) 表 ・生活習慣病の進行, 循環器の病気の起こり方 図 ・生活習慣病とがんの関係, 生活習慣病の予防 図 ・主ながんによる死亡の部位別割合(2012) 表 ・がん検診の受診率を向上させる取り組みの例 図 ・食物アレルギーの症状がある人 表 ・アレルギー物質(アレルゲン) 図 ・アレルギーで起こる症状の例 図 ・食品のアレルギー物質に関する表示の例 ⑤	第2学年 体育理論	スポーツの効果と安全
6 喫煙と健康	・たばこの煙の中の主な有害物質 表 ・喫煙したときに現れる症状 図 ・非喫煙者と比べた喫煙者のがん死亡率 図 ・喫煙期間と肺がんの危険性 表 ・主流煙と副流煙 表 ・夫の喫煙と妻の肺がんの危険性 表	1 スポーツが体と心に及ぼす効果	・加齢と体力の推移 表 ・達成感・自信・意欲 図
7 飲酒と健康	・飲酒の心身への影響 図表 ・長期にわたる多量の飲酒の害 ⑤	2 スポーツと社会性	・スポーツのルールとマナー 図 ・フェアプレイ7か条 図
8 薬物乱用と健康	・さまざまな薬物 ⑤・薬物依存の形成 図 ・幻覚や妄想の例 図 ・薬物乱用の社会への悪影響の例 図	3 スポーツの安全な行い方	・スポーツ活動の条件 表 ・スポーツ活動の日記の例 図⑤ ・安全への配慮 表 ・野外スポーツのための自然に関する知識 図
9 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	・未成年者の喫煙について 表 ・「脱法ドラッグ」が非常に危険な薬物であることを知っているか 表 ・喫煙・飲酒・薬物乱用を始めるときの心理状態 図 ・喫煙・飲酒・薬物乱用の開始に影響する社会的環境(飲酒の例) 図	第3学年 体育理論	文化としてのスポーツ
くもっと広げる深める) たばこ・酒・薬物に手を出さないために	・たばこや酒の警告表示 ⑤ ・未成年者の喫煙・飲酒への対策 ⑤ ・たばこや酒の宣伝・広告の例 図 ・誘われるときの言葉と断り方の例 表 誘いを断る	1 スポーツの文化的意義	・スポーツを行った理由(2013) 表 ・日本の「スポーツ基本法」(前文) 図 ・スポーツ推進計画の例 ⑤
10 感染症とその予防	・感染と発病 図・感染症の例とその特徴 表 ・新型インフルエンザウイルスのでき方 図 ・感染症の予防・免疫の仕組み 図	2 国際的なスポーツ大会とその役割	・オリンピックの根本原則 図 ・多くの人が集うオリンピック 表 ・国際的なスポーツ大会での交流や活動の例 図
11 性感染症とその予防/エイズ	・主な性感染症 表 ・性器クラミジア感染症の発生数(2012) 表 ・性的接触のつながり 図 ・H I V感染者, エイズ患者の年間報告数(日本) 表 ・H I V感染者の年齢層別内訳(2012) 表 ・H I V感染者の感染経路別内訳(2012) 表	3 人々を結び付けるスポーツ	・さまざまな違いを超えて行われるスポーツ ⑤
12 保健・医療機関の利用	・保健所と保健センター 図 ・保健所の活動の例・保健センターの活動の例 ⑤ ・さまざまな医療機関と利用の仕方 図		
13 医薬品の有効利用	・医薬品の形状 図 ・医薬品の使い方 図表・お薬手帳 ⑤		
14 共に健康に生きる社会	・健康増進法に基づいた活動の例 ⑤ ・中学生のボランティア活動 ⑤ ・世界の人々の健康を守るために ⑤		



令和2年度使用

## 中学校教科用図書採択参考資料

### 技術・家庭

#### 技術分野

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	技術 724
6 教 図	技術 725
9 開隆堂	技術 726

#### 家庭分野

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	家庭 724
6 教 図	家庭 725
9 開隆堂	家庭 726



## 技術・家庭

### I 教科用図書の調査研究に当たって

#### 1 調査教科用図書

##### (1) 技術分野

2 東書 6 教図 9 開隆堂

##### (2) 家庭分野

2 東書 6 教図 9 開隆堂

#### 2 調査研究の観点について

- (1) 実践的・体験的な活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技術の定着を図り、生活を工夫し創造する能力や実践的態度を育むことができるよう工夫されているか。
- (2) 問題解決的な学習を取り入れ、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されているか。
- (3) 生徒の興味・関心を高めるような実践的・体験的な学習活動や実習題材が取り上げられ、適切に配置されているか。
- (4) 地域の実態に応じて、学習内容を日常生活や地域での活動に生かすことができるよう配慮されているか。
- (5) 資料は、学習内容の理解や問題の解決に役立つよう工夫されているか。

#### 3 調査研究の基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公平な立場で調査研究に当たった。
- (2) 学習指導要領の目標や改訂の趣旨に基づき、学習指導が適切になされるように内容が構成されているか、それぞれの調査研究の観点に照らして調査研究を行った。
- (3) 教科用図書の内容の構成が分かりやすいように、内容ごと順番に一覧表に示した。
- (4) 調査票の記述に当たっては、教科用図書の表記を用いた。また、調査員の主観に陥らないようにし、教科用図書の特色が分かるように配慮した。

### II 調査研究資料の見方について

#### 1 教科書会社の記載順序は、発行者の番号順とした。

#### 2 調査研究資料は、調査票 I (概要)、調査票 II-1、調査票 II-2 の調査票ごと、記載順序に従って配列してある。

##### (1) 概括的な調査研究

- ① 内容数 (学習のまとめりとして捉えられる数)
- ② ページ数
- ③ 表・グラフ (表・グラフとして捉えられる数)
- ④ 図・写真 (図・写真として捉えられる数)
- ⑤ コラム補足説明数 (本文以外のコラム、説明的内容として捉えられる数)
- ⑥ 発展課題数 (教科用図書に発展課題と記されているものの数)
- ⑦ 実験・観察 (教科用図書に実験・観察と記されているものの数) (技術分野のみ)

##### (2) 調査研究の観点との関連について

- (3) 内容配列、構成について
- (4) 実習例、課題例の配置について
- (5) 発展的な学習の取扱いについて
- (6) その他の特色について

#### 3 調査票 I, II では、学習指導要領の内容 A~D を基本として分類し、両分野に内容 A (1) アのガイダンス的な学習の項目を設けた。家庭分野においては、生活の課題と実践についての項目を設けた。

#### 4 調査票 II では左側に各内容のページ数、構成する項目、実習例を記した。右側に補足説明等について例を挙げ、その数を ( ) 内に記した。

#### 5 調査票 II については、一部省略して記載したものもある。

【調査票Ⅰ】 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁	割合	表・グラフ	図・写真	コラム補 足説明数	発展 課題数	実験・観察
A (1) ガイダンス的な内容	6	12	5%	1	81	3	0	0
A 材料と加工に関する技術	11	74	30%	28	623	34	0	7
B エネルギー変換に関する技術	13	56	22%	19	415	25	4	6
C 生物育成に関する技術	8	44	18%	16	428	32	0	1
D 情報に関する技術	14	64	25%	12	367	68	0	2
合計	52	250	100%	76	1914	162	4	16

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図が示されている場合はそれぞれを数えた。ただし、その内容が関連しているものは1つとした。

※実習例に示される図は、組立て図、部品図合わせて1つの図とした。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合はそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の観点との関連について

- 各学習内容に「目標」「まとめよう」「生活に生かそう」を示し、知識・技術の定着を確認することができるようにしている。
- 工具の使用方法や作業手順を「基礎技能ページ」としてまとめ、写真やイラストなどを用いて示している。
- 各編において、見直しを持って製作・制作が行えるよう実習例の作業手順は矢印で流れを示し、実習例に工夫を加えた例を示している。
- 各編のまとめにおいて、学習した内容を生活に生かすことができるよう配慮がされている。
- 写真や図、コラムなど豊富な資料を掲載している。

3 内容配列、構成について

- 学習指導要領の内容構成に従い「技術分野のガイダンス」「1編材料と加工に関する技術」「2編エネルギー変換に関する技術」「3編生物育成に関する技術」「4編情報に関する技術」「技術分野の学習を終えて」の順に構成されている。
- 編の初めには、各編の各章で学習する内容が書かれ、その編と関連する製品、建築物、工場などの写真が掲載されている。
- 各編最終章には「技術を評価・活用しよう」というワークシートの図が掲載されている。
- 各編の最後に「学習のまとめ」「学習を振り返ろう」として、自己評価をA・B・Cの三段階で行えるようになってきている。また、「学習したことを確かめよう」として演習問題、「生活に生かそう」が記されている。
- 各編の「学習のまとめ」のページに「大切な用語」と関連するページを示している。
- 各編に「技術のとびら」として、科学的な根拠に基づいた説明が記載されている。
- 4編を除き、「基礎技能」として工具の使用方法や作業方法を掲載している。
- 巻頭に4ページにわたり、「実習を楽しく安全に進めよう!」「安全な作業を心がけよう」として安全、衛生について示している。
- 巻末に切り離しができる「技術・家庭科の学習を生かす防災手帳」が備えられている。
- 巻末資料①として、ハードウェア、ソフトウェアの項目ごとにコンピュータの使い方を示している。
- 巻末資料②として、各内容に関連した「言葉のページ」が掲載されている。

4 実習例、課題例の配置について

- 各編とも実習例を連続したページに掲載している。
- 各編とも実習例を複数示している。
- 「3編生物育成に関する技術」では23種類の植物の栽培暦を折込みページで掲載している。
- 実習例の難易度を星印で示している。
- 「私の工夫」として、実習例に工夫を加える例を示している。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」という意味を持つマークで示している。
- 発展的な内容として「LEDランプの発光の仕組み」「暗くなると自動的に点灯する回路」「昇圧モジュール」「白色LEDを点灯させる」を示している。

6 その他の特色について

- 教科書サイズは、A B判(縦:B5判×横:A4判)。
- 「技術分野のガイダンス」には、3年後にできるようになりたいことを記入できる欄がある。
- 「リンク」:関連する内容が技術・家庭科の他のページにあります。「他教科」:関連する内容がほかの教科などにあります。「小学校」:小学校の学習内容を振り返りましょう。などを21種類のマークで表している。
- 巻末では、「日本人が開発したり実用化したりした製品」として、乾電池や炭素繊維、光ファイバなどを掲載している。また、「技術の歴史」として世界や日本で社会を大きく変化させた技術を年表にして紹介している。
- 奇数ページ下に「ひとくちQ」として技術分野に関連した問題が記載され、次頁に解答が「ひとくちA」として掲載している。
- 奇数ページ右下に、各編に関連するパラパラ写真を掲載している。

概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁	割合	表・グラフ	図・写真	コラム補 足説明数	発展 課題数	実験・観察
A (1) ガイダンス的な内容	12	17	6%	0	15	0	0	0
A 材料と加工に関する技術	19	74	29%	37	396	38	0	3
B エネルギー変換に関する技術	20	54	21%	31	277	42	2	3
C 生物育成に関する技術	22	56	21%	60	414	68	0	2
D 情報に関する技術	20	59	23%	30	265	35	2	0
合計	93	260	100%	158	1367	183	4	8

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図が示されている場合はそれぞれを数えた。ただし、その内容が関連しているものは1つとした。

※実習例に示される図は、組立て図、部品図合わせて1つの図とした。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合はそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の観点との関連について

- 大きな写真を多用して道具の使用法や作業方法、製作工程を示し、章末にはまとめと章末問題を掲載し、知識・技術の定着を確認することができるようにしている。
- 実習例ごと、見通しを持って製作・制作が行えるように、作業内容を写真で作業工程の順に示している。
- 実践的・体験的な学習を進める配慮として、実習題材を各内容の各所に掲載している。
- 生活と技術の関わりについて、各章の章末に、社会で活用されている技術について記している。
- 大きな写真や図などが整然と配置され、巻末には巻末資料として、各内容で学習の関する資料を掲載している。

3 内容配列、構成について

- 「序章」から始まり、学習指導要領の内容の構成に従い、「第1章材料と加工に関する技術」「第2章エネルギー変換に関する技術」「第3章生物育成に関する技術」「第4章情報に関する技術」「巻末資料」「口絵」の順で構成されている。
- 奇数ページの右端を色分けし、各内容が教科用図書のどこに配置されているか見分けられるようになっている。
- 奇数ページ右下にはページ数とそのページの学習内容を記している。
- 写真、図表は大きく、整然と配置されている。
- 各章の初めのページでは、特に大きな写真、イラストを用いている。
- 各章の終りには、「まとめ」としてその章の学習内容を示し、各学習内容が記載されているページを示している。
- 各章の最後に章末問題を掲載し、問題ごとに関連するページを示している。

4 実習例、課題例の配置について

- 実習例を複数掲載し、「第1章材料と加工に関する技術」では、材料ごとに製作品を掲載している。
- 実習例の作業工程、工具の使用法は、写真、イラストを多用し、作業工程の順に掲載して視覚的にとらえられるよう掲載している。
- 実習例に合わせた工具と工具の使用法、作業工程を示している。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「学習指導要領に示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は必要に応じて取り組んでみましょう。」という意味を持つマークを利用し、目次にもマークを用いて掲載されているページを示している。
- 発展的な学習として「発光ダイオード(LED)の原理」「ライトレースカーの製作」「ライトレースカーのプログラム制御」を示している。
- 「第2章エネルギー変換に関する技術」の発展的な学習で製作したライトレースカーを、「第4章情報に関する技術」の発展的な学習に活用している。

6 その他の特色について

- 目次に2ページを使い、内容ごとに色分けをし、学習内容の項目のページもカラーで示している。
- 各学習内容の導入の部分に、学習内容に関連する技術が関連した例を示す写真が掲載されている。
- 実習例の作業工程を、各ページの上部に矢印を用いて示し、そのページに記載されている作業工程が全作業工程のどの段階であるのか、強調して示している。
- 「注意」：製作や栽培を行う中で、安全のために気をつける注意点です。「コツ」：製作や栽培を行う中で、製作をうまくこなすためのコツです。など4種類のマークを目次に示し、「考えよう」「調べよう」「実験」「基礎技能・知識」もマークで示している。
- 図や補足の説明があることを、本文中に「図1」「注1」などを記すことで示している。
- 巻頭には「人類は技術とともに進化してきた」として、食料生産、建築・土木、機械、情報、電気・電子の時代ごとの写真を掲載している。
- 巻末には巻末資料として、さまざまな工具、発電方法の比較、栽培概要の例、デジタル用語一覧を写真、イラストを用いて掲載している。
- 巻末に、口絵4として「技術にかかわるマーク」、口絵6として「世界に誇る日本の技術」を写真、日本地図を用いて掲載している。



概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁	割合	表・グラフ	図・写真	コラム補 足説明数	発展 課題数	実験・観察
A (1) ガイダンス的な内容	7	18	8%	2	133	18	0	0
A 材料と加工に関する技術	35	70	30%	40	580	104	0	6
B エネルギー変換に関する技術	17	42	18%	30	319	76	4	4
C 生物育成に関する技術	17	38	16%	21	184	65	0	1
D 情報に関する技術	32	66	28%	35	350	106	0	0
合計	108	234	100%	128	1566	369	4	11

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図が示されている場合はそれぞれを数えた。ただし、その内容が関連しているものは1つとした。

※実習例に示される図は、組立て図、部品図合わせて1つの図とした。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合はそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の観点との関連について

- 各学習内容の初めに「学習の目標」を示し、各学習内容の終わりに「ふり返り」を示し、知識・技術の定着を確認することができるようにしている。
- 作業実験の方法や道具の使用方法、機械の取扱いなど図や写真を多用し、力の入れ具合などのポイントは、文章に併せて写真に矢印等を用いて視覚的に説明を示している。
- 各学習内容の導入部分に課題を設け、調べたり考えたりすることから学習が始められるようにしている。
- 各学習内容が生活に生かされていることを参考のマークを用いて示している。
- 写真や図、コラムなど豊富な資料が掲載されている。

3 内容配列、構成について

- 学習指導要領の内容構成に従い、「ガイダンス」「A材料と加工に関する技術」「Bエネルギー変換に関する技術」「C生物育成に関する技術」「D情報に関する技術」「進んで技術を評価し生活をよりよくする～技術分野の出口～」の順に構成されている。
- 各内容の初めのページには、「学習の流れ」として巻頭の目次よりも詳しい目次を記している。
- 各内容の初めのページには、それぞれの内容に関する年表を掲載している。
- 各学習内容の最後に、「学習のまとめ」を掲載し、A B Cの3段階による「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」を掲載している。
- 安全、健康に関する内容をガイダンスの内容のページに示している。
- 巻末資料として、コンピュータの基本操作を掲載している。
- 各学習内容の終りのページに、A B Cの3段階で「ふり返り」ができるようにしている。

4 実習例、課題例の配置について

- 各内容とも、実習例を連続したページに掲載している。
- 各内容とも、複数の実習例を掲載している。
- 各内容の実習例が他の内容の学習に関連したものになっているものがある。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「発展的な学習の内容（この「発展」で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない。）」という意味を持たせたマークで示している。
- 発展的な学習の内容として「LED (Light Emitting Diode)」「電源を切り替えることができるLEDライト」「暗くなると自動で点灯するLEDライト」「参考実習例シークレットボックス」を示している。
- 「探究」：学習内容を深めたり、広げたりして、さらに探究していく内容。という意味を持つマークを用いて示している。

6 その他の特色について

- 巻頭に「これからの学習内容をメモしよう」、巻末に「3年間のふり返り」、ガイダンスの部分に「技術分野の学習を始めよう！」という書き込める欄を設けている。
- 目次は学習内容が色を分けて印刷されており、家庭分野の内容、使用されているマークの説明、学習内容のメモ欄がある。
- 「リンク」：他の学習内容や家庭分野など、内容が関連するページへのリンク。「実験」：科学的な根拠を確かめるために行う実験や改題。「学習のまとめ」：技術分野で学習する4つの技術について、それぞれの学習をふり返ってまとめる内容（自己評価）と、生活での活用例。など15種類のマークを利用している。
- 「学習内容に関して、ちょっと知っておきたい面白い内容や情報」を「豆知識」として、多くのページの下部に示している。
- 奇数ページ右上隅に、技術分野の学習で扱う道具、機器等の写真が掲載されている。
- 偶数ページ左上に、そのページの内容を示している。



〔調査票Ⅱ-1〕 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A (1) ガイ ダ ン ス 的 な 内 容	<p>1 本文は12ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)技術は夢をかなえるためにある</p> <p>(2)技術は未来を創る</p> <p>(3)これからの学習を見てみよう</p>	<p>[技術の匠]絵を描く喜びを全ての人に など(3)</p> <p>[他教科]道徳「自然への畏敬の念」 など(3)</p> <p>[情報モラル]製作(制作)したものも、全て知的財産です。学習を通して、他の人の知的財産を尊重しつつ、必要であれば、許可を得て利用できるようになりましょう。(1)</p> <p>[技術の天びん]技術を評価し、活用する能力を高めよう(1)</p> <p>[やってみよう]技術室の中で、安全に実習を行っていくためには、どのようなことに気をつけたらよいかを話し合い、自分なりのチェック表を作りましょう。</p> <p>[リンク]P.215「知的財産権」 など(5)</p> <p>[伝統文化], [防災](1) [環境]自然環境の保全 など(2)</p>
A 材 料 と 加 工 に 関 す る 技 術	<p>1 本文は74ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)材料と加工法</p> <p>①材料と加工の技術について知ろう ②材料の特徴を知ろう</p> <p>技術のとびら ・木材の特徴 ・金属の特徴 ・プラスチックの特徴</p> <p>③材料に適した加工法を知ろう ④製作品を丈夫にする方法を知ろう</p> <p>(2)製作品の設計・製作</p> <p>①生活に役立つ製作品を構想しよう ②製作品の構想をまとめよう</p> <p>製図 ・製作に必要な図を知ろう</p> <p>・図面に寸法を記入しよう ・構想した製作品を図に表わそう</p> <p>③製作手順を考えて製作しよう</p> <p>基礎技能 木材のけがき、金属のけがき など(22)</p> <p>実習例 ・飾り棚 ・プリント整理箱 ・CDラック ・マジックラック ・ディスプレイラック ・ティッシュボックス ・フォトスタンド ・プリンターカバー ・風呂の椅子</p> <p>④完成した製作品を評価しよう</p> <p>(3)材料と加工に関する技術の評価・活用</p> <p>①材料と加工に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[目標]材料とは何かを知る。 など(9)</p> <p>[技術の匠]安全な机や椅子を作るために (4)</p> <p>[まとめよう]自分で構想した結果をスケッチや文章で表現しよう。など(5)</p> <p>[Q&amp;A]3Dとは、何の略でしょうか。など(36)</p> <p>[実験]材料の特徴を調べよう。など(4)</p> <p>[安全]実験や作業の手順を確認する。など(19)</p> <p>[衛生]熱を加える実験では、やけどや換気に注意する。など(10)</p> <p>[他教科]理科1年「身の回りの物質」 など(5)</p> <p>[リンク]P.54～P.73「基礎技能」 など(60)</p> <p>[資料]木材を加工する機器 など(12)</p> <p>[やってみよう]厚紙をいろいろな断面の形に折って、丈夫さを調べましょう。など(2)</p> <p>[生活に生かそう]学校や通学路、家などで、図1や図2のような工夫がされている構造や部品をみつけましょう。など(3)</p> <p>[考えてみよう]構想した製作品のPRポイントを考えましょう。など(6)</p> <p>[技術の天びん]塗料の種類と特徴 など(7)</p> <p>[小学校]算数3年「図形」(3)</p> <p>[ポイント]両面の目盛りが、1mm刻みのさしがねを用いるとよい。など(19)</p> <p>[観察]連続写真で適切なこぎりびきの様子を観察しよう。など(3)</p> <p>[私の工夫]棚板を増やす など(6)</p> <p>[話し合ってみよう]持続可能な社会を実現するために、自分ができることを挙げましょう。(1)</p> <p>[D]金属の特徴を調べよう など(2)</p> <p>[環境]材料に求められること など(13)</p> <p>[防災]耐火性能を持つ木材 など(2) [伝統文化](3)</p>
B エ ネ ル ギ ー 変 換 に 関 す る 技 術	<p>1 本文は56ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)エネルギーの変換と利用</p> <p>①エネルギー変換について知ろう ②電気を作る仕組みを知ろう ③電気を供給する仕組みを知ろう ④電気回路について考えよう</p> <p>技術のとびら ・光エネルギーへの変換と利用 ・熱エネルギーへ変換と利用 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・その他のエネルギーへの利用</p> <p>⑤電気機器を安全に使用しよう</p> <p>実習例 ・電気機器の保守点検 ・回路計の使い方</p> <p>基礎技能 ・回路計の使い方、スパナの使い方</p> <p>新幹線の技術</p> <p>⑥機械の運動を伝える仕組みを知ろう ⑦回転運動を伝える仕組みを知ろう ⑧往復運動の仕組みを調べよう ⑨機械の保守点検をしよう</p> <p>実習例 ・自転車の点検と調整</p> <p>(2)製作品の設計・製作</p> <p>①エネルギー変換を利用した製作品を作ろう</p> <p>基礎技能 ・工具の使い方</p> <p>実習例 ・防災ライト</p> <p>イノベーションを目指そう</p> <p>実習例 ・電気自動車のモデル</p> <p>・ショベルローダーのモデル ・取り扱い説明書</p> <p>(3)エネルギー変換に関する技術の評価・活用</p> <p>①エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[目標]エネルギー変換について知る。など(11)</p> <p>[リンク]P.192～P.193 「情報に関する技術」 など(21)</p> <p>[Q&amp;A]歯車は、いつ頃発明されたのでしょうか。など(25)</p> <p>[考えてみよう]身の回りにおける機器が何を元にして、どのようにエネルギーを利用しているか、考えましょう。など(7)</p> <p>[技術のてんびん]自分なりの発電構成割合を考えましょう。など(5)</p> <p>[生活に生かそう]電柱を観察して柱上変圧器を見つけてみましょう。など(6)</p> <p>[観察]ヘロンの蒸気機関で缶を回そう など(2)</p> <p>[話し合ってみよう]発電について知っていることを話し合しましょう。(1)</p> <p>[小学校]6年理科「電気の利用」 など(7)</p> <p>[他教科]2年理科「電流とその利用」 など(14)</p> <p>[まとめよう]電気用図記号を使って、回路図を描きましょう。など(5)</p> <p>[実験]発電と送電の仕組みを体験しよう など(7)</p> <p>[資料]電気に関する基礎知識 など(5)</p> <p>[発展]LEDランプの発光の仕組み など(4)</p> <p>[調べてみよう]プレーカーにはたくさんの種類があります。家のプレーカーを探して観察しましょう。など(4)</p> <p>[安全]100Vの電源を利用する際の注意 など(8)</p> <p>[ポイント]テーパータップに流れる電流の計算方法 など(17)</p> <p>[衛生]部屋の換気をよくする。など(2)</p> <p>[技術の匠]絶対に緩まないねじを作る など(4)</p> <p>[私の工夫]白色LEDを点灯させる。など(3)</p> <p>[やってみよう][情報モラル]自分のアイデアをアイデア申請書にまとめて、校内特許を取ろう。(1)</p> <p>[環境]省エネルギー技術 など(3)</p> <p>[D](1) [防災](1) [消費者](1) [伝統文化](1)</p>

[調査票Ⅱ-1] 【6 教図】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A (1) ガイ ダ ン ス 的 な 内 容	<p>1 本文は17ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 人類は技術とともに進化してきた</p> <p>(2) 優れた材料が優れた製品をつくる</p> <p>(3) 製品を正確・精密につくる</p> <p>(4) 自然と調和し自然に存在しないものを設計する</p> <p>(5) 技術の発達が環境問題を解決する</p> <p>(6) 信頼性を問われる製品</p> <p>(7) 複雑さを極めるものづくり</p> <p>(8) 技術分野で何を学ぶか</p> <p>(9) 材料と加工に関する技術</p> <p>(10) 生物育成に関する技術</p> <p>(11) 情報に関する技術</p>	<p>[軽くて強い金属材料]大勢の乗客を乗せて、高速で走行する列車には大きな力が加わる。その力に耐えて、かつ車体を軽くする新しい材料が作られた。など(14)</p> <p>[材料と加工に関する技術]材料の性質 など(3)</p> <p>[エネルギー変換に関する技術]エネルギーの利用 など(3)</p> <p>[生物育成に関する技術]作物の栽培 など(2)</p> <p>[情報に関する技術]コンピュータと情報通信ネットワークの仕組み など(3)</p>
A 材 料 と 加 工 に 関 する 技 術	<p>1 本文は74ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)身近な材料で簡単なものづくり</p> <p>身のまわりの製品と材料 プラスチックの性質と利用 プラスチックのリサイクル</p> <p>製作1 アクリル板でつくるペンスタンド 金属材料の性質と利用 金属材料のリサイクル</p> <p>製作2 打ち出してつくる銅板小皿</p> <p>(2)正確なものづくり</p> <p>ものづくりに求められる正確性 正確につくるための3つの秘けつ</p> <p>製作3 正確につくるボックス棚 (基礎技能)</p> <p>製作4 フラワースタンド 製作5 替え刃式やすり</p> <p>(3)木材の性質と利用</p> <p>木材の性質 木材を支える文化と伝統 木材の種類と構造 木材の変形 木材の強さ</p> <p>(4)アイデアを生かす製品の設計</p> <p>生活を便利にする製品 設計の流れ</p> <p>製作6 マルチツール</p> <p>(5)くふうをこらしたものづくり</p> <p>実際の製品にみられるくふう 製作にくふうを取り入れよう</p> <p>製作7 相欠き加工を使った棚</p> <p>製作8 便利な工具を活用したハンガーラック</p> <p>(6)強さへの挑戦</p> <p>強さが必要なものづくり 強い材料 強さを高めるくふうと構造 材料と加工に関する技術の未来</p> <p>まとめ、章末問題</p>	<p>[考えよう]文房具や調理器具、家具など身の回りの製品には、どのような材料が使われているだろうか。など(5)</p> <p>[調べよう]ローマのコロッセオや奈良の東大寺を例に、強い建造物をつくるために必要なことを調べてみよう。など(5)</p> <p>[注]シードテープ、種子を一定間隔で封入したテープ。雨や散水により溶けて種子が露出する。(5)</p> <p>[注意]加熱しすぎるとアクリル板が溶けたり、発砲する(空気泡がでる)ので気をつけよう。(16)</p> <p>[コツ]コンバックスを長く使って一度に寸法をとると、誤差が出にくくなります。など(16)</p> <p>[基礎技能]木材の墨つけ など(6)</p> <p>[読み物資料]桶と樽 など(3)</p> <p>[実験]ストローを使った強度の実験 など(3)</p> <p>[分解図] 自転車、ギター</p> <p>[使用されている材料の説明]携帯電話の希少金属(レアメタル)の例(1)</p> <p>[おもな道具]アクリル板で作るペンスタンド など(7)</p> <p>[本文で四角で囲まれた説明文]材料の組み合わせの工夫 など(3)</p> <p>[本文で面取りされた四角で囲まれた説明文]桶と樽 など(5)</p>
B エ ネ ル ギ ー 変 換 に 関 する 技 術	<p>1 本文は54ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)エネルギーを取り出す技術</p> <p>水からエネルギーを取り出す技術 石炭や石油からエネルギーを取り出す技術 発電機のしくみ これからのエネルギー</p> <p>(2)電気エネルギーの利用</p> <p>電気エネルギーに支えられる生活 光エネルギーとしての利用 熱エネルギーとしての利用 動力としての利用 電気エネルギーの供給と安全な利用 電気エネルギーの使用量 直流電流と交流電流</p> <p>(3)電気回路のはたらき</p> <p>電気回路 電気回路で表そう 電気回路のはたらき 電力をもとめよう</p> <p>製作1 インテリアフラットライトの製作 製作2 LED手元照明の製作</p> <p>(4)機械のしくみ</p> <p>機械の分解・観察 製作3 ミニクリーナーの製作 機械のしくみと保守・点検 歩行ロボットの設計と製作 命を吹き込まれたメカニズム 発展 ライトレースカーの製作</p> <p>(5)エネルギーの問題を解決する技術</p> <p>エネルギーを取り巻く問題 エネルギーを節約する技術 エネルギーの問題と現実</p> <p>まとめ、章末問題</p>	<p>[注]機械、つめ切りやコンパスのように、動力をもたない場合には「器械」が用いられることがある。など(20)</p> <p>[やってみよう]手回し発電機を1.5V用豆電球につなげて(並列で1~5個)点滅させてみよう。その時のハンドルにかかる回転の重さと豆電球の明るさを調べよう。など(6)</p> <p>[やってみよう 発展]電子部品を組み合わせ、いろいろなはたらきをする電子回路を製作することができます。簡単な電子回路を設計してみよう。(1)</p> <p>[資料]原子力発電のしくみ など(3)</p> <p>[考えよう]電気エネルギーの特徴をヒーターを例に考えてみよう。など(4)</p> <p>[発展]発光ダイオード(LED)の原理</p> <p>[調べよう]加熱調理に電子レンジ・電磁調理器・ガスコンロを使う場合、それぞれの長所・短所を調べよう。電力会社とガス会社のWEBページを参考にしよう。など(5)</p> <p>[安全]電気器具の事故防止 など(2)</p> <p>[実習]切り替えスイッチをつくってみよう など(2)</p> <p>[注意]隣どうしの線が接触しないように気をつけよう。など(4)</p> <p>[実験]実習の一例、コンパスの分解 (1)</p> <p>[コツ]木工用きりで、ねじの長さの半分ほど下穴をあけてからねじどめをします。(1)</p>

[調査票Ⅱ-1] 【9 開隆堂】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A (1) ガイ ダ ン ス 的 な 内 容	<p>1 本文は18ページ</p> <p>2 内容</p> <p>生活や社会における技術の役割「学習の流れ」</p> <p>(1) 技術分野で学ぶこと</p> <p>①学習のつながりを考えて学ぼう</p> <p>(2) 技術を見つけよう</p> <p>①さまざまな技術 ②技術ってすばらしい</p> <p>(3) 技術とわたしたちの生活</p> <p>①技術の進展と生活・産業 ②技術と環境</p> <p>(4) 学習の見通しをもとう</p> <p>①学習の進め方と作業の安全 ②技術分野の学習にあたって</p>	<p>[学習の目標]技術が生活の向上や産業の発展に及ぼしているよい影響に気づく。など(7)</p> <p>[リンク]前見返し「伝統をつなぐ大工の技」など(4)</p> <p>[環境]技術と環境(2)</p> <p>[参考]江戸時代にみる持続可能な社会(1)</p> <p>[豆知識]電池は、1800年にイタリア人のボルタが発明したとされる。電池を発明したきっかけは、イタリアのカルバーニが発見したカエルの足に電気を流すと「はいれん」をおこす現象だといわれる。など(16)</p> <p>[安全]作業の安全(1)</p> <p>[探究]重要科学技術史資料(1)</p>
A 材 料 と 加 工 に 関 す る 技 術	<p>1 本文は70ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) ものづくりの視点と進め方</p> <p>①製品の工夫と技術の進歩 ②ものづくりの進め方</p> <p>(2) 材料</p> <p>①さまざまな材料 ②材料の特徴 ③材料と環境とのかかわり</p> <p>(3) 設計</p> <p>①使用の目的と製作品の決定 ②機能の検討 ③構造の工夫</p> <p>④使用する材料の選択 ⑤加工方法の検討 ⑥接合方法の検討</p> <p>⑦仕上げ方法の検討 ⑧製図</p> <p>(4) 実習例</p> <p>・小物棚つきラック ・写真立てつきメモホルダ</p> <p>・いす型飾り台 ・ペン立て・リモコンラック</p> <p>・テープカッターつきブックエンド ・LEDライトつきPCラック・プリンターケース ・ステーションリーボックス</p> <p>(5) 木材による製作</p> <p>①部品表と工程表 ②けがき ③切断 ④切削 ⑤穴あけ・溝ほり ⑥部品の検査と修正 ⑦組立て ⑧組立ての検査と修正</p> <p>⑨表面と角の仕上げ</p> <p>製作をふり返ろう</p> <p>(6) 金属・プラスチックによる製作</p> <p>①部品表と工程表 ②けがき ③切断・切削 ④穴あけ・ねじ切り ⑤曲げ ⑥部品の検査と修正 ⑦組立てと仕上げ</p> <p>(7) 材料と加工に関する技術の評価・活用</p> <p>①社会・環境とのかかわり ②材料と加工に関する技術とわたしたち</p> <p>技術の具体的な評価・活用の方法を考えてみよう</p> <p>学習のまとめ</p> <p>材料と加工に関する技術について考えよう</p>	<p>[学習の目標]技術の進歩に気づき、身の回りの製品にあるさまざまな視点や工夫について考える。など(31)</p> <p>[考えてみよう]身の回りの製品の、昔と今のちがいを見くらべて工夫されているところを考えてみよう。など(17)</p> <p>[思い出してみよう]小学校の図画工作科では、どのような手順で作品づくりを進めたか思い出してみよう。など(2)</p> <p>[調べてみよう]四角形の構造は変形しやすい。どうすれば丈夫になるのか、牛乳パックを使って調べてみよう。など(11)</p> <p>[話し合ってみよう]①～④のいすはそれぞれどのような意図で設計されたのだろうか。生産者及び消費者の立場になって話し合ってみよう。(1)</p> <p>[?]教室の机やいすを、技術室の工作台やいすを比べて、ちがいや工夫されているところをまとめてみよう。など(13)</p> <p>[リンク]p.86「技術を評価する視点」など(29)</p> <p>[実験]材料の特徴や違いを感じよう。など(3)</p> <p>[安全]のこぎりの刃に触れるとけがをしますので、取り扱いに注意する。など(14)</p> <p>[環境]人や環境に優しい自動車の工夫 など(6)</p> <p>[参考]新素材～新しい材料～ など(30)</p> <p>[豆知識]自転車は、ドイツのカール・フォン・ドライスによって1810年代後半に発明された。車輪まで木製でペダルはなく、足で地面を付けて進むものだった。時速15kmほどで走ることができたといわれている。など(66)</p> <p>[ふり返り]技術の進歩に気づくことができましたか。など(6)</p> <p>[学習のまとめ]A 材料と加工に関する技術 (1)</p> <p>[探究]飲料の缶やペットボトルについて、その製造技術について調べ、評価してみよう。など (3)</p>
B エ ネ ル ギ ー 変 換 に 関 す る 技 術	<p>1 本文は42ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) わたしたちの生活とエネルギー変換</p> <p>①エネルギーの利用 ②エネルギー資源 ③二次エネルギーの利用 ④エネルギーの変換と効率</p> <p>(2) 電気エネルギーの利用</p> <p>①電気エネルギー ②熱・光・動力への変換と利用</p> <p>(3) 動力の利用</p> <p>①動力伝達のしくみ ②運動を変化させるしくみ</p> <p>(4) エネルギー変換の実際</p> <p>①電気回路 ②機械部品 ③機器の安全な利用 ④機器の保守点検</p> <p>(5) 製作品の構想と設計・製作</p> <p>①製作品の設計と製作</p> <p>実習例 ・4足歩行ロボット ・3モーターロボットカー ・非常時に役立つものを考えよう ・走馬灯ムーディーライト</p> <p>・LEDキーライト</p> <p>発展：参考実習例 シークレットボックス</p> <p>(6) エネルギー変換に関する技術の評価・活用</p> <p>①社会・環境とのかかわり ②エネルギー変換に関する技術とわたしたち</p> <p>学習のまとめ</p> <p>エネルギー変換に関する技術について考えよう</p>	<p>[学習の目標]人間はどのようにエネルギーを利用してきたかを考え、エネルギーの利用にさまざまな技術が必要なことを知る。など(15)</p> <p>[考えてみよう]自然にはどのようなエネルギーがあるのか、考えてみよう。など(6)</p> <p>[調べてみよう]同じ明るさの白熱電球とLED電球を比べてみよう。など(5)</p> <p>[観察してみよう]身近な電気機器の電気の通り道を観察し、どのような構成なのを観察してみよう。(1)</p> <p>[話し合ってみよう]近年、ハイブリッドカーや電気自動車の普及が進んでいます。これらの自動車が普及してきた理由や、今後の改良点について話し合ってみよう。など(2)</p> <p>[?]身の回りでエネルギー変換をしている機器や機械を探してみよう。など(4)</p> <p>[リンク]理科2年「電流とその利用」など(14)</p> <p>[安全]延長コードの事故防止 など(8)</p> <p>[環境]社会・環境とのかかわり。など(2)</p> <p>[参考]光をつくる～エジソンに挑戦～ など(27)</p> <p>[発展]LED など (2)</p> <p>[豆知識]4サイクルエンジンは、4ストロークエンジンや4ストローク1サイクルエンジンなどとも呼ばれている。など(40)</p> <p>[ふり返り]人間はどのようなエネルギーを利用してきたかわかりましたか。具体的な例をあげて、その特徴をわいてみよう。など(5)</p> <p>[学習のまとめ]B エネルギー変換に関する技術 (1)</p> <p>[探究]エネルギー変換に関する技術について考えよう(1)</p>



[調査票Ⅱ-2] 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
C 生物育成に関する技術	<p>1 本文は44ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)生物を育てる技術の特徴</p> <p>①生物を育てる技術について知ろう</p> <p>②植物を育てる技術を知ろう</p> <p>③動物を育てる技術を知ろう</p> <p>④水産生物を育てる技術を知ろう</p> <p>(2)生物を育てるための計画と管理</p> <p>①生物の育成計画を立てよう</p> <p>栽培暦 育てる作物を考えよう</p> <p>②植物や環境を観察して育成しよう</p> <p>基礎技能</p> <p>・土の準備 ・種まき・間引き ・移植・定植 ・かん水 ・誘引 ・肥料の与え方 ・健康の管理 ・摘芽・摘芯・受粉 ・収穫 ・挿し芽・挿し木 ・水耕栽培 ・安全な作業のために</p> <p>実習例</p> <p>・イネ ・ピーマン ・ジャガイモ ・エダマメ ・キウイ</p> <p>・パンジー ・ラディッシュ ・ベビーリーフ</p> <p>・リーフレタス ・乳牛の飼育 ・魚の飼育</p> <p>(3)生物育成に関する技術の評価・活用</p> <p>①生物育成に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[目標]生物を育てるための技術を知る。など(7)</p> <p>[リンク]P.166～P.173「基礎技能」など(24)</p> <p>[他教科]1年理科「植物の体のつくりと働き」など(5)</p> <p>[小学校]2年生活「植物の育成」(1)</p> <p>[考えてみよう]下の写真を見て、生物が健康に育っている所はどのような所か考えよう。など(5)</p> <p>[話し合ってみよう]右の乳牛の飼育場面の写真を見て、気づいたことを話し合おう。など(3)</p> <p>[まとめよう]スプラウトの育成の経験を生かし、ほかの生物の育成に向けての課題をまとめよう。など(6)</p> <p>[調べてみよう]自分が育成した生物について、かかった費用(コスト)を算出し、作物の単価を調べよう。(1)</p> <p>[生活に生かそう]生物育成に関する技術の評価し、活用する方法を考えよう。(1)</p> <p>[資料]光合成 など(18)</p> <p>[観察]スプラウトを育成しよう。など(4)</p> <p>[安全]周囲の人と同じ方向に向かい、隣との間隔を取って作業する。など(6)</p> <p>[私の工夫]間引いた葉も利用するよ。など(6)</p> <p>[環境]生物育成に関する技術と環境との関わり など(2)</p> <p>[消費者]生物を育てる技術の評価・活用しよう。(1)</p> <p>[衛生]育てるときの注意点 など(3)</p> <p>[伝統文化]日本の伝統野菜 など(3)</p> <p>[ポイント]セルトレイからの移植・定植 など(13)</p> <p>[情報モラル]種苗法(1)</p> <p>[技術のてんびん]野菜などの作物を栽培する技術と工業製品などを生産する技術はどのようなところが違うかまとめよう。など(7)</p> <p>[Q&amp;A]江戸時代、ある植物の品種改良が流行しました。それは夏に花を咲かせる植物ですが、次のうちどれでしょうか。など(18)</p> <p>[技術のとびら]植物の栽培に必要な条件 (1)</p> <p>[技術の匠]見るだけで体調が分かる。など(13)</p>
D 情報に関する技術	<p>1 本文は64ページ</p> <p>2 内容</p> <p>情報学習を始めるにあたって</p> <p>(1)コンピュータと情報通信ネットワーク</p> <p>①コンピュータの仕組みを知ろう</p> <p>②デジタル化についてまとめよう</p> <p>③データ量について考えよう</p> <p>④情報通信ネットワークの仕組みを知ろう</p> <p>⑤情報セキュリティ技術を知ろう</p> <p>⑥情報を安全に利用しよう</p> <p>社会の中でのデジタル作品作り</p> <p>(2)デジタル作品の設計・制作</p> <p>①デジタル作品の特徴を考えよう</p> <p>②デジタル作品を設計・制作しよう</p> <p>実習例</p> <p>・デジタル絵本 ・部活動紹介CM ・修学旅行の記録</p> <p>自動化の技術</p> <p>(3)プログラムによる計測・制御</p> <p>①計測・制御の仕組みを知ろう</p> <p>②プログラムの役割について考えよう</p> <p>③制御プログラムをつくらう</p> <p>④計測・制御プログラムを作らう</p> <p>実習例</p> <p>・信号機のモデル ・ロボット掃除機のモデル ・エスカレータのモデル</p> <p>・搬送ロボットのモデル ・電光掲示板のモデル</p> <p>(4)情報に関する技術の評価・活用</p> <p>①情報に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[目標]情報通信ネットワークの危険性を知る。など(13)</p> <p>[リンク]P.92～P.93「エネルギー変換に関する技術」など(22)</p> <p>[他教科]道徳「主として他の人との関わりに関すること(情報モラル)」など(3)</p> <p>[Q&amp;A]コンピュータで扱うデータのまとまりをファイルといいます。階層構造をもたせてファイルを保存する場所を何と称するのでしょうか。など(28)</p> <p>[小学校]3,4年 国語「書くこと(ローマ字)」(1)</p> <p>[考えてみよう]キーボードやマウスなど、コンピュータに情報を入力することのできる装置を、できるだけたくさん挙げよう。など(14)</p> <p>[話し合ってみよう]アルコール温度計とデジタル温度計との違いについて、話し合おう。(1)</p> <p>[やってみよう]画像処理ソフトウェアを使って、画像を縮小したり、色を白黒にしたりしてファイルに保存し、そのデータ量を調べよう。など(3)</p> <p>[まとめよう]身の回りの製品やシステムで、コンピュータが組み込まれているものの例を挙げ、機能を分類してみましょう。など(8)</p> <p>[生活に生かそう]身の回りにおけるコンピュータや携帯電話などで、どのようなセキュリティ対策がなされているか、調べよう。など(5)</p> <p>[資料]画像の解像度と寸法の変更の仕方 など(12)</p> <p>[観察]ソーモロープを作ろう(1)</p> <p>[実験]デジタル化された情報をフォントにしよう。(1)</p> <p>[安全]マウスの光源は直接見ないようにする。(1)</p> <p>[ポイント]ユーザIDとパスワードを使う際の注意 など(24)</p> <p>[情報モラル]情報の学習を始めるにあたって など(13)</p> <p>[技術のてんびん]文字のデジタル化 など(11)</p> <p>[技術のとびら]デジタル作品の動的表現(1)</p> <p>[技術の匠]視線で入力する装置を作る など(5)</p> <p>[D]デジタル絵本 など(3)</p> <p>[私の工夫]BGMをつける など(4)</p> <p>[伝統文化]茶運び人形(1)</p>

[調査票Ⅱ-2] 【6 教図】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
C 生物育成に関する技術	<p>1 本文は56ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)簡単な野菜づくり ベビーリーフを栽培しよう 栽培1 ペットボトルコンテナでつくるベビーリーフ</p> <p>(2)生物育成の技術 生物育成の技術が果たしてきた役割 食料の生産を増やすおもしろな技術 身近な栽培技術と飼育技術 生物育成技術の成果と課題</p> <p>(3)花や作物を栽培しよう 環境と作物のかかわり 栽培する作物を決めよう 花の分類を覚えよう 野菜の分類を覚えよう 栽培に必要な環境 栽培2 路地地で作るミニトマト(基礎技能) 栽培3 コンテナでつくるホウレンソウ 栽培4 2か月で咲く小菊のポットマム栽培 栽培5 たねまきからはじめるバンジーの栽培 栽培6 春を先取るチューリップの栽培 栽培7 袋コンテナでつくるダイコンの栽培 栽培ごよみ 栽培計画 栽培記録</p> <p>(4)動物を飼育する技術 普段の食事をふり返ろう 日本の畜産と養殖 ニワトリの養殖 ウシの飼育 ブリの養殖 畜産と環境</p> <p>(5)生物育成と環境・社会とのつながり 生物資源生産の未来 栽培に必要な環境 生物育成と環境・社会 まとめ、章末問題</p>	<p>[注]フードマイレージ、「食料(フード)の輸送距離(マイルージ)」という意味。食料の輸送量×輸送距離(トン・キロメートル)で表す。一般に、生産地と消費地が近ければ小さくなり、遠くから運んでくると大きくなる。など(8)</p> <p>[コツ]土から芽が出る時期をそろえるため、種にかける土の量を均一にします。など(14)</p> <p>[注意]苦土石灰などの石灰分と窒素成分を多く含む肥料や堆肥などを同時に施すと、石灰分と窒素成分が反応し、作物に有害なアンモニアガスを発生させます。養分となる窒素成分も空気中に逃げてしまうため、堆肥(腐葉土など)、石灰、肥料の順に一週間ほど間隔をあけて施し、それぞれの土とよく混ぜ合わせます。など(5)</p> <p>[調べよう]栽培や飼育に必要な技術、自分が使ったことのある技術を調べよう。など(5)</p> <p>[考えよう]食料不足や飢餓は、なぜ起こるのだろうか。など(12)</p> <p>[基礎技能・知識]栽培に必要な環境 など(6)</p> <p>[用具の準備]ペットボトルコンテナでつくるベビーリーフ</p> <p>[手書きの資料]栽培計画表の例 など(2)</p> <p>[野菜のおもしろ分類]一年草、多年草 など(4)</p> <p>[野菜の分類]果菜類、葉菜類 など(3)</p> <p>[たねの袋の例]青首宮重総太大根 ダイコン など(2)</p> <p>[ベビーリーフとグレープフルーツサラダの作り方](1)</p> <p>[作物の分類]ナス科ナス属の果菜類 など(6)</p> <p>[植物の学名]Solanum lycopersicum L.(ソラナム リコペルシカム)など(6)</p> <p>[植物の原産地]南アメリカ・アンデス高原 など(5)</p>
D 情報に関する技術	<p>1 本文は59ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)ネットワークを支える技術 情報のデジタル化 コンピュータの技術 簡単なネットワークをつくってみよう 情報社会と向き合う(情報モラル)</p> <p>(2)デジタルものづくり デジタル作品の設計 情報の加工・文書とレイアウト 情報の加工・表・グラフによる整理 情報の加工・画像の加工(デジタル写真の加工) 情報の加工・ビデオの撮影と編集 プレゼンテーション WEBページ</p> <p>(3)コンピュータによる計測と制御 計測と制御の技術 プログラムをつくらう 発展 ライトレースカーのプログラム制御</p> <p>(4)情報化ってなんだろう 情報に関する技術の進歩 情報とは コンピュータ・情報通信ネットワークの登場 情報化社会 情動的アイディア 情報化って何だろう まとめ、章末問題</p>	<p>[やってみよう]「ネットワークを支える技術」という文章を、文章作成ソフトウェアで文字情報として保存した場合、図形作成ソフトウェアで画像情報として保存した場合との情報の量を比べてみよう。など(12)</p> <p>[調べよう]いろいろな記憶媒体に記憶・保存できる情報の量を調べよう。など(8)</p> <p>[注]オペレーティングシステム(OS)、キーボードからの入力やモニターへの出力などの基本的な機能、各アプリケーションプログラムに共通する機能などを提供する。基本ソフトウェアとも呼ばれる。など(31)</p> <p>[考えよう]LANでコンピュータどうしを接続すると何が便利になるだろうか。など(19)</p> <p>[資料]表計算処理ソフトウェアでは、いろいろな種類のグラフを簡単にすることができる。上のグラフの中で、来場者数の年ごとの推移がわかりやすいものはどれだろうか。など(2)</p> <p>[発展]時計を例にデジタル方式とアナログ方式のちがいを考えよう。(2)</p> <p>[手書きの資料]絵コンテ など(2)</p> <p>[スケジュール表]作業の分担と日程 など(2)</p> <p>[シナリオ]目的・内容:地域の方や保護者に文化祭の楽しさと日程を伝える</p> <p>[マンガ風の中学生の会話シーン]ある生徒会室の会話 (3)</p>



[調査票Ⅱ-2] 【9 開隆堂】 (中学校 技術・家庭 技術分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
C 生物育成に関する技術	<p>1 本文は38ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)わたしたちの生活と生物育成</p> <p>①生物育成とは</p> <p>②作物や家畜などの特性と生物育成に関する技術</p> <p>(2)作物の育成</p> <p>①生物育成のサイクル</p> <p>②生物の育成計画と記録,</p> <p>(3)作物の栽培</p> <p>①栽培ごよみ</p> <p>②栽培に適した環境</p> <p>③土壌の性質と施肥</p> <p>④たねまき, 間引き, 育苗と植えつけ (定植)</p> <p>⑤定植後の管理,</p> <p>⑥収穫の時期と保存</p> <p>⑦収穫後の管理</p> <p>(4)実習例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トマト・イネ</li> <li>・イチゴ・ダイコン</li> <li>・キュウリ・リーフレタス</li> <li>・バンジー (ビオラ)</li> </ul> <p>(5)動物の飼育</p> <p>①動物の飼育に関する技術 (乳牛の場合)</p> <p>(6)水産生物の栽培</p> <p>①水産生物の栽培に関する技術</p> <p>(7)生物育成に関する技術の評価・活用</p> <p>①社会・環境とのかかわり</p> <p>②生物育成に関する技術とわたしたち</p> <p>学習のまとめ</p> <p>生物育成に関する技術について考えよう</p>	<p>[学習の目標]生物育成の意味とその目的, わたしたちの生活における役割を知る。など(15)</p> <p>[考えてみよう]作物を植えたあと, まったく管理をしなかった場合と, 十分に管理した場合を比べて, どのように生育や収量が異なるか, 考えてみよう。など(11)</p> <p>[調べてみよう]トマトには, サラダなどそのまま食べる生食用と, ソースやジュースなどの加工用といった用途の違う種類があります。それぞれのトマトの違いを調べてみよう。(1)</p> <p>[話し合ってみよう]作物を収穫した後, 土をどのように管理をするのか, 話し合ってみよう。など(2)</p> <p>[?]環境要因を変化させ, 作物の発芽の違いを観察しよう。など(4)</p> <p>[リンク]家庭分野「衣生活」など(11)</p> <p>[安全]農薬は, 使用上の注意をよく守り, 強風, 高温, 雨天時は散布をさけます。(1)</p> <p>[環境]生物育成サイクル。など(5)</p> <p>[参考]森林の役割 など(12)</p> <p>[豆知識]生物育成に関する技術は, 人類が1万年以上もの長い期間に, 食べ物や衣類, 住居などを得るために築きあげてきた技術である。など(36)</p> <p>[ふり返り]生物育成に関する技術が, 人間生活に果たす役割がわかりましたか。など(6)</p> <p>[学習のまとめ]C 生物育成に関する技術 (1)</p> <p>[探究]アイガモ農法(合鴨水稲同時作)など(2)</p>
D 情報に関する技術	<p>1 本文は66ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1)情報とわたしたちの生活</p> <p>①社会における情報に関する技術</p> <p>②情報に関する技術とその役割</p> <p>(2)情報通信ネットワークの利用</p> <p>①情報を扱う機器の構成 ②情報通信ネットワークの構成,</p> <p>③情報を伝えるしくみ ④インターネットの利用</p> <p>(3)情報通信ネットワークと情報セキュリティ</p> <p>①情報通信ネットワークの危険性 ②情報セキュリティ</p> <p>(4)情報モラルと知的財産</p> <p>①利用するときのモラル ②人権や個人情報の保護,</p> <p>③知的財産の保護</p> <p>(5)コンピュータと情報処理</p> <p>①情報を処理するしくみ ②デジタル化の方法と情報の量</p> <p>③デジタル化した情報の特徴</p> <p>(6)デジタル作品の設計と制作</p> <p>①生活の中のメディア ②デジタル作品の構想</p> <p>③情報の収集と加工, ④作品の制作・発表</p> <p>実習例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・Web ページ</li> <li>・動画作品</li> </ul> <p>(7)プログラムによる計測・制御</p> <p>①生活の中にある計測・制御 ②計測・制御のしくみ</p> <p>③情報処理の手順とプログラム ④プログラムによる模型の制御</p> <p>実習例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライントレスカー</li> <li>・サッカーロボット</li> <li>・プログラミング LED ライト</li> </ul> <p>(8)情報に関する技術の評価・活用</p> <p>①社会・環境とのかかわり</p> <p>②情報に関する技術とわたしたち</p> <p>学習のまとめ</p> <p>情報に関する技術について考えよう</p>	<p>[学習の目標]生活や社会を向上させている, 情報に関する技術に気づく。など(24)</p> <p>[考えてみよう]情報に関する技術は, わたしたちの生活や社会でどのように利用されているか考えてみよう。など(8)</p> <p>[話し合ってみよう]コンビニエンスストアでは, 情報に関する技術がどのような場面で利用されているだろうか。また, どのような情報がやりとりされているか話し合ってみよう。など(11)</p> <p>[やってみよう]機器やソフトウェアを使って, デジタル作品に使う文字, 音声, 静止画, 動画をコンピュータに取り込んで加工してみよう。(1)</p> <p>[見つけてみよう]コンピュータ室にある, 情報を扱う機器にはどのようなものがあるか見つけてみよう。など(2)</p> <p>[調べてみよう]身の回りにあるネットワークに接続されている機器は, どのような方法で接続されているか調べてみよう。など(2)</p> <p>[見つけてみよう]コンピュータが組み込まれている機器を見つけてみよう。(1)</p> <p>[?]タブレット端末のカメラ機能などを使ってバーコードを読み取ってみよう。など(17)</p> <p>[リンク]社会「私たちと現代社会」 など(23)</p> <p>[情報モラル リンク]p.197「情報を発信するときのモラル」 など(9)</p> <p>[安全]情報通信ネットワークの危険性 など(4)</p> <p>[環境]環境問題とパソコン など(2)</p> <p>[参考]目的に応じたさまざまなアプリケーションソフトウェア など(36)</p> <p>[豆知識]VRはCGなどを使って人工的な環境をつくり出す。ARは実際の空間に仮想のものや生物などを重ね合わせて, そこにあるように見せる。など(64)</p> <p>[ふり返り]生活や社会を向上させている, 情報に関する技術に気づきましたか。便利だと思ふ情報の技術についてかいてみよう。など(7)</p> <p>[学習のまとめ]D 情報に関する技術 (1)</p> <p>[探究]楽しいデジタルの「ものづくり」 など(4)</p>



【調査票Ⅰ】 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁数	割合	表・グラフ	実態図・写真	コラム補足説明数	発展課題数
A (1) ガイダンス的な内容	3	12	5%	0	86	49	0
A 家族・家庭と子どもの成長	14	50	20%	7	277	39	2
B 食生活と自立	19	80	31%	34	649	129	1
C 衣生活・住生活と自立	18	74	29%	19	669	58	3
D 身近な消費生活と環境	9	27	11%	16	176	14	1
生活の課題と実践	3	11	4%	0	57	1	0
合計	66	254	100%	76	1914	290	7

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図がある場合にはそれぞれを数えた。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合にはそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の観点との関連について

- 学習のまとまりごとに、学習の目標を示し、「チェック」で確認できるようにしている。定着させたい技能を「基礎技能ページ」としてまとめている。多くの実習例を掲載し、生活の中でも実践できるように配慮されている。
- 生活の中から課題を見つけて解決するプロセス(生活に始まって生活に返す)を繰り返す、解決したことを生活に生かしていけるように配慮している。
- 実習例を数多く掲載し、興味・関心に応じて実習題材を選べるようにしている。
- 環境、安全などの今日的課題を取り上げ、持続可能な社会の構築を目指して、多様な視点から学習できるようにされている。
- 写真やイラストで学習の流れや手順を分かりやすく示している。また、「リンク」「他教科」「小学校」等のマークにより、関連項目が分かりやすくなっている。

3 内容配列、構成について

- 家庭分野のガイダンス、1編 私たちの食生活、2編 私たちの衣生活と住生活、3編 私たちの成長と家族・地域、4編 私たちの消費生活と環境、選択 生活の課題と実践、の順に構成されている。
- 「生活の課題と実践」をまとめて後に配置している。学習の手順と実践例が示されている。
- 目次には2ページを使い、学習内容が色分けされ、写真やイラストも掲載されている。
- 巻頭に「この教科書で学ぶ皆さんへ」2ページ、「巻頭資料」6ページを掲載している。
- 3年間の学習の見通しを持たせるように「家庭分野のガイダンス」を写真やイラストで紹介している。また、小学校家庭科の内容を写真付きで紹介している。学習内容と生活の関連を「自分の生活チェック」、「生活を見つめよう」で実感できるようにしている。問題解決的な学習の進め方を示している。
- 各編は「この編で学ぶこと」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成されている。それぞれの学習のはじめに「学習の目標」が示されている。各編の最後に「学習のまとめ」を設け、「学習を振り返ろう(自己評価)」「学習したことを確かめよう(確認問題)」と「生活に生かそう(実践)」で構成されている。

4 実習例、課題例の配置について

- 実習や生活実践に必要な基礎的な技能を「基礎技能」としてまとめて示し、写真やイラストで紹介している。基礎技能を生かした実習例も示されている。
- 実習例を連続したページに配置している。
- 調理実習題材は手順を6段階の横の流れで示し、献立調理・単品調理を示している。複数の題材を扱う流れも示してある。
- 布を用いた物の製作では、簡単な衣服から小物まで取り上げている。
- 幼児との触れ合い実習は、「施設訪問」「中学校への招待」「写真での観察」が取り上げられている。
- 実習例に「私のオリジナル」として、簡単な工夫例を示している。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「発展」として示されている。内容は、学習指導要領に示されていない内容だが、必要に応じて学習できるとしている。

6 その他の特色について

- 教科書サイズは、A B判(横A4判×たてB5判)である。
- 表紙はイラストと写真を用い、生活の様子が表されている。
- 「考えてみよう」「リンク」「資料」など29種類のマークが示されている。
- 2種類のキャラクター(「ギーजू」「カティ」)が学習を案内している。
- 男子生徒、女子生徒のキャラクターを使い、吹き出しで内容についてコメントをしている。
- 巻頭資料、巻末資料に多くの内容が掲載されている。
- 脚注 奇数ページ下部に「ひとくちQ」、偶数ページ下部に「ひとくちA」が示されている。
- 重要語句をゴシック体で示している。
- 家庭分野でよく使われる用語を「言葉のページ」としてまとめて解説している。
- デジタルコンテンツなどが授業で活用できるように示されている。
- 奇数ページの右端には編、章、基礎技能、実習例が示されている。
- ふりがなは丸ゴシック体が用いられている。

概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁数	割合	表・グラフ	実態図・写真	コラム補足 説明数	発展課題数
A (1) ガイダンス的な内容	3	13	5%	1	51	11	0
A 家族・家庭と子どもの成長	14	56	20%	11	415	12	3
B 食生活と自立	9	76	27%	25	885	159	2
C 衣生活・住生活と自立	12	76	27%	15	674	25	4
D 身近な消費生活と環境	10	44	16%	13	276	24	3
生活の課題と実践	(3)	(14)	(5%)	(0)	(64)	(1)	(0)
合計	48(3)	265(14)	95%(5%)	65	2301(64)	231(1)	12

※「生活の課題と実践」はABCの中に含まれているが、取り出して数えた。数値は外数である。

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図がある場合にはそれぞれを数えた。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合にはそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の観点との関連について

- いろいろな実習や作業を取り入れ、自分自身で考えたり、話し合ったり、体験したり、作業を行ったりしながら学習を進められるように構成されている。また、読んで理解を深めることができるように本文や、図、コラムが多い。
- 「Q」「考えよう」により課題を持たせ、考えながら学習が進められるようにしている。
- 問いかげやクイズなどを示し、興味・関心が向くようにしている。実感を伴った学習ができるように、ふり返りや原寸大の写真を用いている。
- 多様な視点、多種の資料から家庭や地域・社会を意識できるようにしている。グローバルな視点、共生の視点が入っている。
- 豊富な資料を提示し、日常生活との関わりを具体的につかめるようにしている。

3 内容配列、構成について

- 私の成長と家庭分野の学習、A家族・家庭と子どもの成長、B食生活と自立、C衣生活・住生活と自立、D身近な消費生活と環境、家庭分野の学習をふり返ろうの順に構成されている。
- 「生活の課題と実践」は、各内容の最後に配置している。
- 口絵1～2は、家庭分野の学習を、はじめよう！が示されている。
- 口絵3～7は、年中行事とわたしたちの暮らしが写真・イラストなどで示されている。
- 口絵8～10は、クイズの答えと暮らしの中のマークが示されている。
- 各章や節の導入に「自立度チェック」「Q」「キーワードチェック」を取り上げ、章末に「学習のふり返り」を示し、学習が進められるようにしている。
- 原寸大写真や料理の失敗例を示している。
- 目次には2ページを使い、実習、発展、選択が示されている。

4 実習例、課題例の配置について

- 実習例を連続したページに配置している。
- 調理の実習題材は、主食・主菜・副菜・汁物・デザート・間食の調理に分けて単品で示している。栄養や献立の学習と関連して学べるようにしている。
- 調理実習は、手順を縦に示し、写真で示してあり、調理のポイントや参考などの補足説明を多く示している。
- 環境の観点から古着や不要な布製品をつくりかえる「アップサイクル」の実習例を取り上げている。
- 生活を豊かにする工夫「つくってみよう」では、1つの製作題材について様々なデザインや工夫例を示している。
- 「生活の課題と実践」では、ステップ1(課題を決める)、ステップ2(計画を立てる)、ステップ3(実践する)、ステップ4(まとめる・発表する)、ステップ5(ふり返る)、ステップ6(次の実践へつなげる)で取り組めるようにしている。また、実践例を漫画形式で示している。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「発展」として示されている内容は、学習指導要領に示されていない内容であり、学習の進んだ人や興味をもった人は、必要に応じて取り組んでみましょうとされている。

6 その他の特色について

- 表紙、裏表紙はさまざまなポケットを工夫したものが示されている。
- 「安全」「実習」「やってみよう」など20種類のマークが示されている。
- ふたごのキャラクター(「ファミリン」「ライフン」)を使い、吹き出しで内容についてコメントをしている。ヒントや学習の広がりにつながるようにしている。
- 奇数ページの右端上部には内容、章が示されている。
- イラストや写真が多い。また、原寸大の写真がある。
- 製作実習ページでは短時間でできる実習例が示されている。
- グループで活動する実習が多く示されている。
- 「復習マーク」を示し、小学校の振り返りができるようにしている。
- コラムなどの説明が多く記載されている。
- 成分表や調理の材料が6つの基礎食品群のどれに該当するかわかるようにサイコロでマークがついている。
- 重要語句をゴシック体で示している。

概 要

1 概括的な調査研究

	内容数	頁数	割合	表・グラフ	実態図・写真	コラム補足 説明数	発展課題数
A (1) ガイダンス的な内容	7	14	5%	0	49	1.4	0
A 家族・家庭と子どもの成長	18	50	19%	9	244	32	3
B 食生活と自立	20	86	33%	38	640	138	4
C 衣生活・住生活と自立	20	66	25%	15	544	51	3
D 身近な消費生活と環境	13	34	13%	10	235	21	2
生活の課題と実践	2	12	5%	2	34	1	0
合計	80	262	100%	74	1746	257	12

※図は1図と表示されている場合であっても、複数の図がある場合にはそれぞれを数えた。

※写真は1図と表示されている場合であっても、複数の写真がある場合にはそれぞれを数えた。また、表中にある場合でもそれぞれを数えた。

2 調査研究の視点との関連について

- 基礎的・基本的な知識や技能を系統的に配列して、わかりやすくし、体験的に学べるようになってきている。
- すべての内容の各小項目に学習の導入として、生活の具体的な場面を課題として考えることから始める導入課題を設けている。また、A B C Dの内容の最後に「持続可能な社会」の実現に向けてを取り上げ、まとめを通して考えられるようにしている。
- 参考や探究、発展、イラストや写真で多種・多様な実習製作例・事例を示している。
- 衣食住の地域の伝統や文化を紹介した事例が多く、生活と伝統文化との関わりを理解し、実践につなげられるようにしている。「環境」「防災」など今日的な内容を取り上げている。
- 基礎・基本と参考・発展等の区分を明確にし、学習内容の精選と重点化が図れるようにしている。

3 内容配列、構成について

- 家庭分野の学習をはじめよう、自立に向かって、共生社会に向かって、持続可能な社会に向かって、人やものとかかわりながら学ぼう、A 家族・家庭と子どもの成長、B食生活と自立、C衣生活・住生活と自立、D身近な消費生活と環境、生活の課題と実践、の順に構成されている。
- 「生活の課題と実践」をまとめて後に配置し、学習の進め方と課題例を示し、それぞれの内容の学習とリンクできるように示している。
- 目次には2ページを使い、学習内容が色分けされ、写真やイラストも掲載されている。
- 「学習の目標」→「導入課題」→「基礎学習」→「学習の展開」→「発展・探究・参考」→「ふり返り」の手順で学習が進められるようにしている。各内容の最後の「学習のまとめ」では、目標を受けた「学習をふり返ろう」、「生活に生かそう」で学んだことを生活に生かす具体例やヒントが示されている。
- 学習の流れは、基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へつながるように示されている。
- A B C Dの内容の最後に「持続可能な社会をつくる」ページが設定されている。防災教育の視点をA B C D各内容と関連させている。
- A B Cの内容と環境教育との連携を図っている。
- 小項目は見開きページで構成され、基礎・基本と参考・発展の区分を明確にし、学習内容の重点化が図れるようにされている。
- 巻末資料に「手」を使ってやってみよう、「言語活動の充実」「安全と防災」「伝統文化を受け継ぎ」「生活に生かす」が示されている。

4 実習例、課題例の配置について

- それぞれの実習に対して、基礎・基本を学習し、発展・探究・参考を示し、作業の流れや手順、進め方などを図や写真で示している。
- 実習例を連続したページに配置し進め方を図式化している。
- 調理や洗濯などの失敗例を写真で示し、生活の中のトラブルを科学的に理解し、改善できるようにしている。
- 調理実習の実習例が多い。また、複数の題材を扱う流れも示しており、組み合わせで取り組めるようになってきている。「弁当をつくろう」「お菓子をつくろう」を示している。調理の手順は、写真と解説で示している。
- 1ページに単品調理の手順を示している。組み合わせで1食分の献立となるように調理の手順が示されている。
- ふれあい体験、消費に関する多様な方法を示している。
- Cでは、衣生活の内容を継続しているため、題材の配列を住生活から衣生活としている。

5 発展的な学習の取扱いについて

- 「発展」として示されている内容は、学習指導要領に示された発展的な学習内容としている。

6 その他の特色について

- 表紙は写真を用い、生活の様子が表されている。
- 「学習の目標」「リンク」など20種類のマークが使われ、内容を説明している。
- キャラクターを用い、吹き出しでコメントを添えている。
- 男子生徒、女子生徒のキャラクターを使い、内容についてコメントをしている。
- 「もくじ」の中で、技術分野の学習についても紹介している。
- 内容のまとまりごとに色分けし、奇数ページには「爪見出し」をつけ、爪見出しに関連した写真を掲載している。
- ページの下に「豆知識」を付け、学習に関連した、「ちょっとためになる便利な情報」を示している。
- 「参考」は本文の内容をより深く理解する上で参考となる内容、「探究」は学習を深めたり広げたりして探究する内容を示している。
- 重要語句はゴシック体で示している。



【調査票Ⅱ-1】 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A ① ガイ ダンス 的 な 内 容	1 本文は12ページ 2 内容 家庭分野のガイダンス どんな学習をするのだろうか どんな自分になりたいかな 自分と家族の生活を見つめよう	[リンク]p.21「小学校 家庭」 など(7) [小学校]家庭「生活時間の工夫」 など(6) [やってみよう]教科書のページをめくって、学習してみたいページや好きなページを探しましょう。そして、学習してみたいと思ったり、好きだと思ったりした理由を挙げましょう。 など(2) [考えてみよう]図1から、家族で行われていることを書き出しましょう。(1)
A 家 族 ・ 家 庭 と 子 ど も の 成 長	1 本文は50ページ 2 内容 (1) 家族・家庭と地域 ①家庭や家族の機能について考えよう ②中学生としての自立を考えよう ③家庭生活と地域との関わりを考えよう ・実習例 地域でできることを考えよう (2) 幼児の生活と家族 成長を振り返ろう ①幼い頃を振り返ろう ②幼児の体の発達について考えよう ③幼児の心の発達について考えよう ④幼児の生活習慣の習得について考えよう ⑤幼児の生活と遊びを知ろう ・実習例 幼児の観察、幼児のおもちゃを作ろう (フルーツのサイコロ、もこもこびっくり箱、六角返し、木の葉や草のおもちゃ) ⑥幼児との関わり方を考えよう ・実習例 幼児の施設へ行ってみよう、中学校へようこそ、幼児の生活を見てみよう ⑦幼児との関わり方についてまとめよう ⑧子どもにとっての家族について考えよう ・実習例 家族の立場になって考えよう (3) これからの私と家族 ①中学生にとっての家族について考えよう ・実習例 立場を変えて考えよう、演じて考えよう、地域の一人として考えよう 学習のまとめ	[目標]家庭生活と地域との関わりについて理解できる。 など(15) [やってみよう]家庭や家族という言葉からイメージすることを挙げましょう。 など(9) [考えてみよう]次のような場面で、どうして泣いているのか考えましょう。 など(3) [話し合ってみよう]次の幼児の写真を見て、感じたことや気づいたことを話し合しましょう。(1) [まとめよう]自分の幼い頃について、振り返ったことをまとめましょう。 など(8) [生活に生かそう]家庭の仕事の中で、これから行っていきたいことを具体的に挙げましょう。 など(3) [調べてみよう]教室や地域の公園などで、危険な場所はないか、幼児の目線で調べましょう。(1) [リンク]p.16-p.19「自分と家族との生活を見つめよう」 など(15) [他教科]道徳「家族の一員として」 など(6) [小学校]家庭自分の成長と家族、家庭生活 (2) [資料]地域の人と関わることの大切さ など(8) [ポイント]おもちゃを選ぶポイント など(3) [安全]おもちゃの安全マーク など(6) [衛生]爪を短く切り、髪は長ければ束ねる。(1) [マナー]幼児に付き添っている保護者に、観察の目的などを一言伝えてから始めましょう。 など(3) [D]幼児の生活を見てみよう(1) [伝統・文化]高齢者へ届けるお節料理作り など(3) [防災]地域を守るための防災訓練 など(3) [発展]ユニセフの活動 など(2) [ひとくちQ&A]おもちゃの語源は、次のうちどれでしょうか。 など(15) [プロに聞く!]初めて幼児と関わるあなたへ(1)
B 食 生 活 と 自 立	1 本文は80ページ 2 内容 (1) 食生活と栄養 ①食事の役割について考えよう ②食生活の課題を見つけよう ③栄養素の種類と働きを知ろう ④中学生に必要な栄養について考えよう (2) 献立作りと食品の選択 ①食品に含まれる栄養素を調べよう ②何をどのくらい食べればよいか考えよう ③バランスの良い食事について考えよう ④生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう ⑤食品の選択と購入について考えよう ⑥食品の保存と食中毒の防止について考えよう (3) 調理と食文化 ①日常食の調理をしよう 基礎技能 ②肉の調理を工夫しよう ・実習例 ぶた肉のしょうが焼き、ハンバーグ、ホワイトシチュー、スパゲッティミートソース、アスパラガスの肉巻き、チキンソテー、焼きぎょうざ、ホイコーロー ③魚の調理を工夫しよう ・実習例 さけのムニエル、さばのみそ煮、魚の煮付け、いわしのかば焼き、魚の鍋照り焼き、さけのホイ乳バター焼き白身魚の中華風あんかけ、いわしのつみれ汁 ④野菜の調理を工夫しよう ・実習例 肉じゃが、とん汁、こまつなの変り浸し、がめ煮、ラタトゥイユ、れんこんのきんぴら、なすとピーマンの鍋しぎ、ドライカレー、青菜のソフトふりかけ、昆布とかつお節のソフトふりかけ、おにぎり弁当、サンドイッチ弁当 ⑤地域の食材を生かした調理をしよう ・実習例 ばらずし ⑥よりよい食生活を目指して 学習のまとめ 食品成分表	[目標]食事の役割について理解することができる。 など(32) [考えてみよう]私たちはなぜ食事をするのでしょうか。食事の役割について考えましょう。 など(11) [やってみよう]食生活をチェックしましょう。 など(3) [話し合ってみよう]中学生の時期に必要なエネルギーや栄養素の量は、小学生や大人とは違うのでしょうか。(1) [調べてみよう]あなたが好きな食品には、どのような栄養素が含まれているのでしょうか。食品成分表(p.96-p.99)で調べましょう。 など(3) [まとめよう]生鮮食品と加工食品の特徴についてまとめましょう。 など(4) [生活に生かそう]身近にある食品の表示を調べよう。 など(6) [リンク]技術分野「生物育成に関する技術」 など(42) [他教科]道徳「生活習慣、節度節制」 など(9) [小学校]家庭 など(4) [資料]朝食を食べよう など(16) [ポイント]しょうがの皮は、スプーンでこそげ取るようにむくとよい。 など(16) [安全]包丁を使うときの注意 など(3) [衛生]食品や調理用具の衛生的な扱い方など(6) [環境]エコクッキングに挑戦しよう-材料を無駄なく使う工夫例-など(14) [消費者]食品の選択と購入について考えようなど(9) [伝統・文化]文化を伝える。 など(8) [防災]非常食について(1) [発展]弁当作りに挑戦しよう(1) [D]レシピはおいしい料理への道しるべ など(3) [プロに聞く!]自分で考えて選び、バランス良く食べるのがプロ など(3) [煮る・焼く・いためる・ゆでる]材料の持ち味がよく味わたる調理法。串焼きや網焼きなどの直火焼きと、フライパンやオーブンなどを使う間接焼きがある。 など(27) [ひとくちQ&A]次のうち、重さを表す単位はどれでしょうか。 など(21)

[調査票Ⅱ-1] 【6 教図】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A (1) ガイ ダンス 的 な 内 容	1 本文は13ページ 2 内容 口絵 ・家庭分野の学習を、はじめよう! ・年中行事とわたしたちの暮らし 家庭分野 目次 わたしの成長と、家庭分野の学習	・家庭分野の学習は、どんなことをするの? ・家庭分野の学習は、どんなふうに進めるの? ・この教科書での流れ ・家庭分野の学習は、みんなで学び合うことが大切なんだね。 ・生活にかかわることには、一つの正しい答えがない場合もあるよね。 ・家族やいろんな人たちに見守られて今まで成長してきたんだね。
A 家 族 ・ 家 庭 と 子 ど も の 成 長	1 本文は56ページ 2 内容 (1) 家族と家庭生活 ①家庭のことを考えてみよう ②家庭の生活を考えよう ・実習 暮らしを支える施設やサービスを整理してみよう ③家族とのかかわり ・実習 家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考えてみよう ④家族のかかわりとコミュニケーション ⑤家庭と地域のつながり ・実習 地域の中で自分にできることを見つけよう ⑥将来の自分の家族や家庭 ・発展 自己決定のプロセスを考えよう (2) 幼児の生活と家族 ①幼児の心身の発達 ②幼児の生活の特徴 ・実習 幼児のおやつをつくってみよう、幼児の生活に役立つものをつくってみよう ③幼児の生活習慣 ④幼児と遊び ⑤幼児の発達と遊び ⑥幼児の遊びを支える ・実習 幼児のおもちゃを手づくりしてみよう ・発展 幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう ⑦幼児とのふれ合い ・発展 子どものすこやかな成長のために 学習のふり返り	[学習の目標]家族について関心を持つ。家族にはさまざまな形があることを知る。など(26) [?]あなたの成長を支える家族とのかかわり方を考えてみよう。など(6) [Q]物語や映画、アニメなどに登場する家族を思い浮かべてみよう。など(13) [調べよう]①「少子化」が社会にどのような影響を与えるか、本やインターネットで調べてみよう。など(7) [やってみよう]自分にできる家庭の仕事を見つけ、実践しよう。など(6) [話し合おう]地域の子どもやその家族とのかかわった経験がある人は、どんなかかわりを持てたのかをグループの中で発表してみよう。(1) [まとめよう]幼児とふれあったときのことを、レポートなどにまとめてみよう。(1) [安全]幼児がケガをするなど、大きな問題が起こったら、必ずすぐに先生や保護者の方に連絡しよう。(1) [発展]自己決定のプロセスを考えよう。など(3) [参考]地域資源 など(3) [コラム]豊かな家庭生活のために など(3) [キーワードチェック]家族、核家族、拡大家族、三世家族、高齢化 など(8) [自立度チェック]自分のふだんの家庭生活について、Yes Noで答えてみましょう。など(20)
B 食 生 活 と 自 立	1 本文は76ページ 2 内容 (1) 健康と食生活 ①食生活を考えよう ②栄養素の種類とはたらき ③食品に含まれる栄養素 (2) 献立作成と食品の選択 ①1日分の献立作成 ②食品の選択と購入 (3) 日常食の調理と地域の食文化 ①調理の基礎 つくってみよう おにぎり・さつまいもご飯・チキンライス・ピザトースト・きのこのスパゲッティ・カレーライス・いわしのかば焼き・煮魚・ムニエル・ハンバーグステーキ・八宝菜・肉じゃが・ぶた肉のしょうが焼き・卵焼き・ほうれんそうのごまあえ・生野菜サラダ・筑前煮・切干大根のあえ物・野菜スープ・みそ汁・けんちん汁・わかめときゅうりの酢の物・わかめととうふのスープ・蒸しパン・フルーツヨーグルト・牛乳かん・カップケーキ・くし団子・かきたま汁・大根のおやき・じゃがいものおやき・みたらし団子 ②地域の食材を見つめよう 学習のふり返り	[学習の目標]食生活に関心を持つ。など(15) [Q]ごはん茶わん1杯のご飯の重さは、どのくらい? など(27) [考えよう]あなたの「おいしかった食事」の思い出をあげてみよう。など(12) [注]「ハレ」とは など(4) [参考]摂食障害とは など(24) [実習]中学生の食事のとり方の悩みを見つめてみよう など(8) [コラム]こんな症状、ありませんか? など(3) [ポイント]おにぎりの具には、汁気が少なく、味の濃いものが向いています。汁気の多い具を入れたり、具の量を多くすると、にぎりにくく、くずれやすくなります。など(22) [調べよう]①大豆の加工食品には、どのようなものがあるだろうか。②牛乳の加工食品には、どのようなものがあるだろうか。など(5) [環境]安くて大量に買っても、食べきれなかったらもったいないよね。など(4) [話し合おう]あなたの家では、非常用の備蓄食品として、どのようなものを用意しているだろうか。家族で話し合い、家族にあった備蓄食品を用意しよう。(1) [まとめよう]知っているかな? 調理器具 など(3) [安全]安全な調理実習のための確認 など(3) [復習]炊飯の基礎 など(2) [実験]ひき肉に何も加えずにこね、形をととのえて焼き、食感や風味を確かめてみよう。など(4) [発展]世界のいろいろなめん料理 など(2) [キーワードチェック]生命の維持 など(4) [自立度チェック]自分のふだんの家庭生活について、Yes Noで答えてみましょう。など(20)



【調査票Ⅱ-1】 【9 開隆堂】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
A (1) ガイダンス的な内容	<p>1 本文は14ページ</p> <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭分野の学習をはじめよう</li> <li>・もくじ</li> <li>・自立に向かって</li> <li>・共生社会に向かって</li> <li>・持続可能な社会に向かって</li> <li>・人やものとかかわりながら学ぼう</li> <li>・わたしの成長と周囲の人びと</li> </ul>	<p>[リンク]260・261ページ「言語活動の充実のために」など(2)</p> <p>[豆知識]乳児期とは、出生から1歳(さい)になるまでをいいます。乳児期のうち、出生から4週間未満を新生児期といえます。満1歳から小学校入学前までを幼児期といえます。など(2)</p> <p>[参考]ピアニスト辻井伸行さんの話(1)</p>
A 家族・家庭と子どもの成長	<p>1 本文は50ページ</p> <p>2 内容</p> <p>わたしの成長と家族・地域、わたしの成長と周囲の人びと</p> <p>(1) わたしたちと家族・家庭と地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭のはたらき</li> <li>②家庭仕事を支える社会</li> <li>③私たちの家庭生活と地域</li> </ul> <p>(2) 幼児の生活と遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①わたしの成長をたどる</li> <li>②幼児の体の発達</li> <li>③幼児の心の発達</li> <li>④幼児の心身の発達と家族の役割</li> <li>⑤子どもの成長と地域</li> <li>⑥幼児の遊びと発達</li> <li>⑦幼児の遊びを支える</li> </ul> <p>幼児と遊ぶおもちゃづくり</p> <p>(3) 幼児とのふれ合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ふれ合い体験の前に</li> <li>②ふれ合い体験をする</li> <li>③ふれ合い体験をふり返る</li> </ul> <p>(4) これからのわたしと家族</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学生と家族とのかわり</li> <li>②これからのわたしと家族との関係</li> </ul> <p>持続可能な社会をつくる</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[学習の目標]家庭での活動を考え、家庭にはさまざまなはたらきがあることを理解する。など(20)</p> <p>[考えてみよう]次のことは、いつ、どのようにして自分一人で行えるようになったのだろう。など(5)</p> <p>[話し合ってみよう]下図を参考にして、家庭で行われていることをあげてみよう。など(6)</p> <p>[やってみよう]幼いころからこれまでのことを、ふり返ってみよう。など(2)</p> <p>[課題]地域で支える。など(5)</p> <p>[リンク]16ページ「家庭の仕事を支える社会」 など(29)</p> <p>[参考]家庭の仕事に費やす時間の比較 など(7)</p> <p>[安全]幼児と遊ぶおもちゃづくり。など(4)</p> <p>[衛生]一緒に昼ごはんを食べよう(1)</p> <p>[消費・環境]おもちゃの選び方 など(1)</p> <p>[防災]避難時に幼児がいる家族に必要なもの など(2)</p> <p>[伝統文化]伝承遊びと子どもたち (1)</p> <p>[ふり返り]14～19ページ 家庭のはたらきがわかりましたか。など(4)</p> <p>[学習のまとめ]家族・家庭と子どもの成長(1)</p> <p>[探究]男女共同参画社会をめざして など(4)</p> <p>[発展]幼児の衣服 乳幼児の場合 など(3)</p> <p>[豆知識]家庭とは一般に、家族が生活する場をさします。英語ではhome(ホーム)と呼びますが、江戸時代までは家庭の概念がなく、homeの訳語(家庭)は明治時代につくられました。など(37)</p>
B 食生活と自立	<p>1 本文は86ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 健康と食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①食事の役割について考える</li> <li>②生活習慣と食事</li> <li>③中学生に必要な栄養</li> </ul> <p>食品と栄養素の関係・食品の概量と食品摂取量のめやす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④食品と栄養素</li> <li>⑤食事の計画</li> </ul> <p>(2) 食品の選択と保存</p> <p>食品が食卓にのぼるまで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①生鮮食品と加工食品</li> <li>②食品の表示</li> <li>③食品の洗濯・購入と保存</li> <li>④食品の安全と情報</li> </ul> <p>(3) 調理をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①調理の計画</li> <li>②調理の基本</li> </ul> <p>食中毒に注意しよう、安全に調理実習しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③肉の調理</li> </ul> <p>・実習例 しょうが焼き・煮込みハンバーグ・牛丼・シチュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④魚の調理</li> </ul> <p>・実習例 煮魚・ムニエル・焼き魚・つみれ汁・かぼ焼き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤野菜の調理</li> </ul> <p>・実習例 青菜の卵とじ・けんちん汁・筑前煮・ミネストローネ</p> <p>・プラス1 調理実習例にあと1品加えてみよう かきたま汁・かぼちゃの煮物・大豆とひじきの煮もの・コーンスープ・じゃがいものサラダ・ポトフ・わかめスープ・とり肉とだいこんの煮物</p> <p>探究 電子レンジを使ってみよう きんぴらごぼう・ピーマンのナムル・ジャーマンポテト・野菜のグラタン風</p> <p>(4) 地域の食材と食文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の食材と郷土料理</li> <li>②受け継がれる食文化</li> </ul> <p>持続可能な社会をつくる</p> <p>学習のまとめ</p> <p>食品成分表</p>	<p>[学習の目標]食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもち。など(17)</p> <p>[参考]あなたは食べ物でできている～You are what you eat.～ など(15)</p> <p>[豆知識]2013年現在では宇宙日本食として、さけおにぎり、山菜おこわ、さばのみそ煮(に)、しょうゆラーメンなど28品目が認証されています。など(49)</p> <p>[話し合ってみよう]「食べる」とはどういうことなのだろうか、宇宙での食事のようすや、野口宇宙飛行士の話を参考に話し合ってみよう。など(5)</p> <p>[ふり返ってみよう]あなたの昨日の過ごし方について確認してみよう。(1)</p> <p>[考えてみよう]わたしたちが毎日食べているご飯やパンは炭水化物を多く含んでいますが、体の成分にはほとんどなっていません。食べたものは体の中でどうなるのだろうか。など(5)</p> <p>[課題]①下の昼食の記入例にならって、左ページの朝食に使われている食品を、食品群に分類してみよう。②①の朝食と昼食で不足する栄養素が補える夕食の献立を考えてみよう。③表に夕食の献立で使う食品名を入れ、1日分の各食品群の摂取量がかたよりなくとれているか、74ページを参考に確認してみよう。など(6)</p> <p>[発展]食品に含まれる成分を、目で見て確かめよう! など(4)</p> <p>[探究]1日にとりたい食品と分量(例)―食品群別摂取量のめやすによる― など(7)</p> <p>[リンク]保健体育 保健分野「健康な生活と疾病の予防」 など(26)</p> <p>[実験]香りとは関係している 鼻をつまんで味わおう など(5)</p> <p>[安全]煙が出るのでよく換気する。やけどや火災などの事故を起こさないように注意する。など(6)</p> <p>[衛生]食中毒に注意しよう(1)</p> <p>[消費・環境]18図 栄養成分表示 など(6)</p> <p>[防災]災害にあったときの食事は?(1)</p> <p>[伝統文化]だし汁 うま味の文化 など(8)</p> <p>[ふり返り]ふり返り1 など(4)</p>



[調査票Ⅱ-2] 【2 東書】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
C 衣生活・住生活と自立	<p>1 本文は74ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 衣生活と自立</p> <p>自立した衣生活のために</p> <p>①衣服の働きを考えよう</p> <p>②T.P.O.を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう</p> <p>③衣服の計画的な活用方法を考えよう</p> <p>④必要な衣服を選択しよう</p> <p>⑤衣服の手入れをしよう</p> <p>手入れの基礎技能</p> <p>⑥よりよい衣生活を目指して</p> <p>(2) 住生活と自立</p> <p>安全で快適な住生活のために</p> <p>①住まいの役割と住まい方考えよう</p> <p>②住まいの安全について考えよう</p> <p>③災害に備えた住まい方について考えよう</p> <p>・実習例 災害に備えてできること</p> <p>④健康で快適な室内環境を工夫しよう</p> <p>・実習例 室内の二酸化炭素濃度を調べよう、音の聞こえ方調べ</p> <p>⑤よりよい住生活を目指して</p> <p>(3) 生活を豊かにするために</p> <p>作って楽しい身の回りの布製品</p> <p>①生活を豊かにするための工夫をしよう</p> <p>製作の基礎技能</p> <p>・実習例 マルチバッグ・トートバック・ファイルカバー・ブックカバー・ウォールポケット・防災リュック・ハーフパンツ</p> <p>・いろいろな小物を作ろう (箸袋・ランチョンマット・弁当袋・ファスナーポーチ)</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[小学校 家庭]・衛生的な着方や活動に合わせた着方 など(11)</p> <p>[リンク] p.112「衣服計画」 など(46)</p> <p>[目標]衣服の社会生活上の働きを説明できる など(19)</p> <p>[ひとくちQ&amp;A]着物の折りたたまれた様子が語源となっている言葉は、次のうちどれでしょうか など(27)</p> <p>[伝統文化]博物館などで、地域に伝わる和服の文化を調べましょう。 など(16)</p> <p>[考えてみよう]学校などで、制服を着る理由について考えましょう。 など(7)</p> <p>[生活に生かそう]生活の中の次のような場面で、どのようなことをポイントに衣服を選ぶか、考えましょう。 など(6)</p> <p>[他教科]道徳「個性や立場の尊重」 など(14)</p> <p>[調べてみよう]いろいろな色の布や紙を顔に当てて、自分に似合うと思う色を選びましょう。 など(3)</p> <p>[ポイント]しみ抜きポイント など(12)</p> <p>[資料]和服の文化に触れよう など(28)</p> <p>[やってみよう]手持ちの衣服の中で、着ないまま収納している衣服はありませんか。ある場合は、その理由を挙げましょう。 など(7)</p> <p>[まとめよう]必要な衣服の入手方法について、新しく購入する以外の方法をまとめましょう。 など(3)</p> <p>[発展]世界の民族衣装 など(2)</p> <p>[環境]衣服の活用 など(6)</p> <p>[消費者]衣服の入手 など(2)</p> <p>[安全]はさみの受け渡し など(4)</p> <p>[基礎技能]洗濯機を用いた洗濯・アイロンかけ など(10)</p> <p>[プロに聞く!]洗濯の楽しさとポイント など(2)</p> <p>[NEXT]住まいの安全にも気をつけなければいけないね。 など(3)</p> <p>[防災]災害に備えた住まい方について考えよう など(5)</p> <p>[話し合ってみよう]災害に備えた住まいの中の対策として、自分たちができることを話し合います。 など(2)</p> <p>[私のオリジナル]エコバッグ・ショルダーバッグ など(5)</p>
D 身近な消費生活と環境	<p>1 本文は27ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 私たちの消費生活</p> <p>①消費者としての自覚を持とう</p> <p>②販売方法と支払方法について知ろう</p> <p>③商品の選択と購入について考えよう</p> <p>・実習例 商品購入のシュミレーション</p> <p>④消費者トラブルを解決する方法を考えよう</p> <p>・実習例 あなたならどうする</p> <p>⑤消費者の権利と責任について考えよう</p> <p>⑥よりよい消費生活を目指して</p> <p>(2) 環境に配慮した消費生活</p> <p>①エネルギー消費を減らす方法を考えよう</p> <p>②持続可能な社会を目指そう</p> <p>・実習例 環境アクションプラン</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>[目標]商品を選択し、購入、活用することができる。 など(10)</p> <p>[やってみよう]次のイラストを参考にして、毎日の生活の中でお金を支払って購入している物を挙げましょう。など(2)</p> <p>[考えてみよう]あなたは、最近、どこで何を買いましたか。 など(6)</p> <p>[調べてみよう]自分の住んでいる地域にある消費者相談窓口(消費生活センター)を調べましょう。(1)</p> <p>[生活に生かそう]契約が成立したのは、①～④のうち、どの場面でしょうか。など(3)</p> <p>[まとめよう]これまでの学習を踏まえて、よりよい消費者を目指して、これから自分が心がけたいことを、5・7・5でまとめましょう。また、友達と発表し合い、家族や地域の人たちにも発信しましょう。(1)</p> <p>[リンク]p.240「よりよい消費生活を目指して」 など(15)</p> <p>[他教科]社会 公民分野「私たちと経済」 など(2)</p> <p>[小学校]家庭「物や金銭の大切さ、計画的な使い方」 など(2)</p> <p>[資料]未成年の契約 など(6)</p> <p>[D]悪質商法などの例 (1)</p> <p>[環境]環境に配慮した消費生活 など(2)</p> <p>[伝統文化]江戸時代と循環型社会 (1)</p> <p>[発展]フェアトレード (1)</p> <p>[ひとくちQ&amp;A]未成年が行った次の契約のうち、取り消せるものはどれでしょうか。 など(11)</p> <p>[プロに聞く!]お客様の声を、よきものづくりに生かす (1)</p>
生活の課題と実践	<p>1 本文は11ページ</p> <p>2 内容</p> <p>生活の課題と実践の進め方</p> <p>課題の決め方</p> <p>まとめと発表の仕方</p> <p>実践例</p> <p>・「私たちの食生活」の課題と実践(朝食・お雑煮)</p> <p>・「私たちの衣生活と住生活」の課題と実践(ベスト・防災)</p> <p>・「私たちの成長と家族・地域」の課題と実践(おやつ・地域行事)</p>	<p>[リンク] p.14「課題を解決する道筋」 など(11)</p> <p>[ひとくちQ&amp;A]目標を達成する過程で起こる問題や対処法を考えるために使う図式を何というでしょうか。 など(4)</p> <p>[ポイント]実践の振り返り など(4)</p> <p>[他教科]国語「話すこと・聞くこと」(1)</p> <p>[伝統文化]日本の食文化を追求しようー我が家のお雑煮ー など(2)</p> <p>[環境]着なくなった衣服をリフォームしよう!ーお手軽ベスト(1)</p> <p>[防災]災害に備えた住まい方を工夫しようー防災マニュアル作りー(1)</p>

【調査票Ⅱ-2】 【6 教図】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
C 衣 生 活 ・ 住 生 活 と 自 立	<p>1 本文は76ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) わたしたちの住生活</p> <p>①住まいのはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展 世界各地の住まい</li> </ul> <p>②家族の生活と住まい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 住まいの空間の作り方を考えよう</li> <li>・発展 マンガやアニメの主人公はどんな住まいで暮らしているの？</li> </ul> <p>③安全な住まい方の工夫</p> <p>④健康を守る住まい方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 住まいの手入れを安全に行うために</li> </ul> <p>(2) わたしたちの衣生活</p> <p>①自立した衣生活のために</p> <p>②衣服の着用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 T.P.O. に合わせた自分らしい服装を考えよう、ゆかたを自分で着てみよう</li> <li>・発展 世界の民族服</li> </ul> <p>③衣服の入手</p> <p>④衣服の手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 衣服の布の組織(構造)の違いを確かめよう、衣服の手入れ・補習の方法</li> <li>・発展 エコロジーな繊維製品、進化する衣服</li> </ul> <p>⑤衣服の処分</p> <p>(3) 生活を豊かにする工夫</p> <p>①製作実習の基礎</p> <p>つくってみよう</p> <p>あずま袋・ぞうきん・エプロン・アームカバー・きんちゃく袋・ペンケース</p> <p>学習のふり返り</p>	<p>[自立度チェック]自分のふだんの住生活について、Yes No で答えてみましょう。など(20)</p> <p>[Q]人(成人男性)が1日に吸う空気の量は、だいたいどのくらい？など(28)</p> <p>[学習の目標]住生活に関心を持つ。など(20)</p> <p>[キーワードチェック]生命や財産を守る。など(46)</p> <p>[注]和式と洋式 など(7)</p> <p>[リンク]技術分野(エネルギー変換に関する技術)(1)</p> <p>[図]住まいの基本的なたらしき など(27)</p> <p>[考えよう]現代の住まいは、ふすまや障子(引き戸)ではなく、ドア(開き戸)や壁で部屋が仕切られることが多い。①どうしてこのように変化したのだろうか。②部屋の中にはどんな変化が生まれたのだろうか など(7)</p> <p>[発展]世界各地の住まい など(5)</p> <p>[参考]間取り図とは など(13)</p> <p>[実習]住まいの空間の使い方を考えてみよう など(8)</p> <p>[調べよう]防災や防犯のために、地域の人々が行っている活動を調べてみよう。そして、中学生にもできることがないか、具体的に考えてみよう。など(7)</p> <p>[安全]住まいの手入れを安全に行うために など(4)</p> <p>[環境]洗剤以外のものを活用した掃除もやってみよう。など(8)</p> <p>[ふり返ろう]小学校で学習した、季節に合わせた暑さ・寒さの調節の仕方や整理・整とんの仕方についても思い出そう。(1)</p> <p>[復習]衣服のはたらき など(6)</p> <p>[やってみよう]しみ抜き など(2)</p> <p>[話し合おう]衣服の洗濯や補修、収納などの失敗談はないだろうか。まわりの友だちとその失敗の原因や対策について情報交換してみよう。(1)</p>
D 身 近 な 消 費 生 活 と 環 境	<p>1 本文は44ページ</p> <p>2 内容</p> <p>(1) わたしたちの消費生活</p> <p>①わたしたちの消費生活</p> <p>②いろいろな買い物方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展 お年玉を例に、お金とのつきあい方を考えよう!</li> </ul> <p>③買い物の法的な意味</p> <p>④ねらわれている消費者</p> <p>⑤消費者トラブルの解決</p> <p>⑥買い物の社会的な意味</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展 おいしいチョコレートの真実</li> <li>・実習 ダイヤモンドランキングで考えよう!</li> </ul> <p>⑦消費者市民社会を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 消費者市民社会の実現のために、できることを考え、行動しよう</li> <li>・発展 商品の企画をしてみよう</li> </ul> <p>(2) 家庭生活と環境</p> <p>①消費生活と環境とのつながり</p> <p>②いま、わたしたちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習 自分らしいエコな活動を実践しよう・広げよう</li> </ul> <p>学習のふり返り</p>	<p>[学習の目標]消費生活に関心を持つ。意思決定のプロセスにそって、商品購入を考えていくことができる。など(18)</p> <p>[Q]あなたの最近の買い物を、ふり返ってみよう。そしてグループで発表し合い、意見交換してみよう。など(15)</p> <p>[考えよう]広告のキリヌキを見ながら考えてみましょう。など(14)</p> <p>[やってみよう]①それぞれの支払方法の長所と短所をあげてみよう。②どんな支払い方法を利用しているか、家族にも聞いてみよう。など(3)</p> <p>[調べよう]①あなたの住む地域の消費生活センターの電話番号を調べて書き込んでみよう。②あなたの住む地域の消費生活センターのホームページを見てみよう。どんなことを行っているだろうか。など(7)</p> <p>[話し合おう] これは、ある中学生のおこづかい帳の1ページである。このおこづかい帳を見て、あなたは思うだろうか?気づいたことをあげてみよう。また、寄付について、グループで意見交換をしてみよう。など(3)</p> <p>[注]電子マネー など(4)</p> <p>[リンク]技術分野(情報に関する技術)(1)</p> <p>[参考]サービス=タダ? など(8)</p> <p>[コラム]クレジットカードの使用は借金 など(5)</p> <p>[キーワードチェック]商品、消費、物資(モノ)、サービス、消費者、意思決定のプロセス など(46)</p> <p>[自立度チェック]自分のふだんの消費生活について、Yes No で答えてみましょう。など(20)</p>
(生活の課題と実践)	<p>(ABC領域に含まれている内容)</p> <p>A 6ページ</p> <p>生活の課題と実践 ～生活をよりよくしよう～</p> <p>(その1) ①住みやすいまちって、どんなまち? ②地域でボランティア活動をしよう</p> <p>B 4ページ</p> <p>(その2) ①大根をおいしく楽しく食べるために ②だれかのためにお弁当をつくってみよう</p> <p>C 4ページ</p> <p>(その3) ①だれかのためのものづくり ②わが家の防災対策</p>	<p>[リンク]技術分野(生物育成に関する技術)(1)</p> <p>[復習]栄養⇒p.80～6つの基礎食品群ほか、⇒p.88～1日分の献立作成 安全⇒p.103 衛生⇒p.105 環境⇒p.96, 113など</p>

[調査票Ⅱ-2] 【9 開隆堂】 (中学校 技術・家庭 家庭分野)

	構成する項目・実習例	補足説明等
<p>C 衣生活・住生活と自立</p>	<p>1 本文は66ページ 2 内容 住生活の自立 (1) 住まいのはたらき ①住まいの様々な役割 ②共に住まう (2) 健康で安全な住まい ①家族の健康と室内環境 ②家庭内の安全 (3) 住まいと地域 ①災害への備え ②災害時の住まいと暮らし ③地域に配慮した住まい方 持続可能な社会をつくる 衣生活の自立 (1) 日常着の活用 ①自分らしくコーディネート ②衣服のはたらき ③衣服の構成 ④衣服の入手計画と選び方 (2) 日常着の手入れ ①衣服の汚れと手入れ ②衣服の素材と手入れ ③衣服の洗濯 ④衣服の収納・保管 ⑤衣服の補修 (3) 布を用いた物の製作 ①製作しよう 製作例 道具入れ・ショルダーバッグ・ファイルカバー・ペットボトルホルダー・防災リュック・ハーフパンツ 持続可能な社会をつくる 学習のまとめ</p>	<p>[学習の目標]家族によって住まい方が違うことがわかる。など(28) [考えてみよう]どのような住まいなら、安全で快適な生活をおくることができるだろうか。具体的にイメージしながら考えてみよう。など(6) [話し合ってみよう]服装を決める時、どのようなことに気をつけていますか。自分の好きな服装や着方を話し合ってみよう など(7) [調べてみよう]制服や日常着の素材を調べてみよう など(4) [豆知識]住まいは、生命と一体と考えてもよいほどの重要性をもち、人間の生活を守るシェルターの役目をもっています。「生活の基盤」「生活の器」ともいわれます。 など(42) [伝統文化]日本の特徴ある住まいを見てみよう など(4) [課題]住まいについて描かれた絵本を読んでみよう。など(10) [振り返り]住まいの役割が理解できましたか。家族それぞれの生活行為と住まいの空間とのかかわりを理解して、住まい方の工夫について具体的に考えることができましたか。 など(15) [リンク]14ページ「家庭のはたらき」保健体育 保健分野「健康と環境」 など(14) [安全]室内の空気を汚染するもの など(7) [衛生]室内の空気を汚染するもの(1) [参考]室内の空気を汚染するもの など(9) [実験]日常生活の音を測ってみよう など(3) [防災]住まいの中の地震対策(1) [消費・環境]あなたはどのようなことに注意して既製服を選びますか。(1) [探求]衣服の素材、組織を見てみよう(1) [オリジナルの工夫]技術分野と連携して、無地の布に自分だけのデザインを入れましょう。(1) [発展]新素材 など(3) [考えてみよう、話し合ってみよう]省エネルギーや周囲の生態系との調和を考え、地球環境に負荷を与えないよう快適に生活できる住生活を考えてみよう。 など(6)</p>
<p>D 身近な消費生活と環境</p>	<p>1 本文は34ページ 2 内容 (1) 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ (2) 商品の選択と購入 ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 ③購入方法と支払方法 (3) よりよい消費生活のために ①契約と消費生活のトラブル 事例を通してトラブルへの対応を考える ②消費者を支えるしくみ ③消費者の権利と責任 事例を通して消費者の権利と責任を考える (4) 環境に配慮した消費生活 ①自ら取り組むエコ生活 ②地域や社会での協力 ③持続可能な社会 学習のまとめ</p>	<p>[学習の目標]基本的な消費者の権利と責任について理解する。など(14) [考えてみよう]次の中で契約はどれ? など(3) [話し合ってみよう]インターネットや雑誌・カタログで購入する場合の利点・問題点を話し合ってみよう。 など(3) [調べてみよう]あなたの地域で消費生活に関するトラブルや疑問、困ったことを相談できる機関はどこにあるか知っていますか。(1) [やってみよう]筆箱の中身を見てみよう。(1) [課題]商品広告を作ってみよう など(7) [リンク]社会 公民的分野「私たちと経済」 など(15) [実験]エネルギーを実際に測ってみよう (1) [参考]こだわりとは など(5) [振り返り]物資とサービスを利用しながら生活していることがわかりましたか。消費生活のしくみがわかりましたか など(11) [探究]暮らしの中のマークを探してみよう など(4) [発展]フェアトレード など(2) [豆知識]電話をするために必要な携帯電話やスマートフォンなどは物資ですが、通話(電話で話ができること)はサービスに分類されます。など(23)</p>
<p>生活の課題と実践</p>	<p>1 本文は12ページ 2 内容 課題学習の進め方の例 課題例 A①1日家事体験 ②幼児と遊ぶおもちゃづくり ③地域の活動に参加して、地域の高齢者とふれ合い、自分のできることを考える など(6) B①1日3食の献立を立てて、食事をつくる ②おせち料理を研究する ③しょうが焼きを主菜とする1食分の調理をする など(6) C①家の安全対策をチェックする ②収納の工夫を考える③わたしたちのファッションを調べる など(8) 安全と省資源・省エネルギーも考えた課題 ①自分のできる、安全・安心な暮らしの工夫 ②えりの汚れを簡単に落とせるものを探してみよう ③体験!電気を使わない生活 など(8)</p>	<p>[リンク]10~59ページ「家族・家庭と子どもの成長」など(13) [防災]災害に備えて避難場所や持ち出すものを家族で確認する など(2) [伝統文化]おせち料理を研究する など(3) [安全]家の安全対策をチェックする(1) [消費・環境]安全と省資源・省エネルギーも考えた課題(1)</p>

令和2年度使用

中学校教科用図書採択参考資料

英 語

発行者の番号 略称	教科書の記号 番号
2 東 書	英語 727 827 927
9 開隆堂	英語 728 828 928
11 学 図	英語 729 829 929
15 三省堂	英語 730 830 930
17 教 出	英語 731・732 831・832 931・932
38 光 村	英語 733 833 933



# 英 語

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査教科用図書

2 東書 9 開隆堂 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

### 2 調査研究の観点

- (1) 言語活動の指導事項を踏まえ、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能における基礎的・基本的な事柄が適切に取り上げられているか。
- (2) 生徒の発達段階及び興味・関心に即して、適切な題材を取り上げているか。
- (3) 技能を統合的に活用させる言語活動の充実を図るため、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮されているものになっているか。
- (4) 外国や我が国の生活や文化についての理解を深め、これらを尊重する態度が育つよう配慮されているか。
- (5) 文字、用語、記号などの表記が適切であり、また使用されている資料が学習の内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう工夫されているか。

### 3 調査研究の基本的な考え方

- (1) 各教科用図書について、偏りのない公正な立場で調査研究を行った。
- (2) 調査員の主観に陥らないように、教科用図書の記述に即して調査研究した内容を簡略かつ具体的に記述した。
- (3) 調査研究資料の作成に当たっては、学習指導要領の英語科改訂の趣旨や要点を踏まえ、調査研究の観点を焦点化した項目を設定して調査研究を行い、教科用図書の特徴が対比できるように配慮した。

## II 調査研究資料の見方について

1 各教科用図書の会社名の記載順序は、発行者の番号順とした。

2 調査研究資料は、調査票Ⅰ、調査票Ⅱに記載順序に従って配列してある。

3 調査票Ⅰの調査研究項目は、調査研究の観点(2)、(3)、(4)、(5)についてまとめている。

### (1) 概括的な調査研究

- ① 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の活動が設定されているページ数と総ページ数の中での割合。
- ② 「言語の使用場面」の種類の数(単元単位で調査)
- ③ 「言語の働き」の種類の数(単元単位で調査)
- ④ 伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数
- ⑤ 文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数

### (2) 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- (3) 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について
- (4) 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について
- (5) 文法事項と言語活動の効果的な関連について

4 調査票Ⅱの調査項目は、調査研究の観点(2)、(3)、(4)について検討する際の参考とするためのものである。



概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	51	46	59	54	42	38	53	48
第2学年	33	30	50	45	68	62	44	40
第3学年	29	29	42	42	66	65	37	37

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
 複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて数えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	10	15	11	29
第2学年	7	21	17	11
第3学年	5	22	29	10

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 単元が3部構成になっており、繰り返して学習することで、コミュニケーション能力の基礎を身に付けることができるようになってきている。
- Hi, English!は小学校外国語活動、Unit0は中学校1, 2年の既習言語材料を復習しながらスピーチなどの活動を中心に新学年をスタートできるように配慮がされており、各学年の接続をしている。
- 学習のまとめとして、セクションの最後に「書く」課題が設定されていて、身に付いた力を生徒自身が確かめることができるようになってきている。
- 基本文に対応する練習問題を、同じ見開きの基本練習と技能別練習で必ず取り扱い、「まとめと練習」で文法事項を視覚的に整理して復習することができるようになってきている。
- 重要単語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示している。チェックボックスには、意味を覚えたら上半分を、発音ができるようになったら下半分を塗りつぶすようになってきている。
- 練習問題は原則として既習語で作成し、応用的な課題にはTool Box, Bonus Word Box, Word Roomなどで補充語彙・表現が示されている。
- Sound Boxでは音声に関することを提示している。
- 辞書の使い方、発音記号が扱われていて、家庭学習や自学自習への配慮がされている。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- Unit (文法と語彙の習得) →Daily Scene (コミュニケーション活動による活用) →Presentation (自己表現活動による発信) の3部構成によって、4技能を統合的に育成できる学習の流れになっている。
- Presentationでは、既習の言語材料を使って、身近なテーマでスピーチを行うといった4技能を統合的に活用させる言語活動が配されている。
- 2・3年生において、UnitのStarting OutとDialogでは、文法と「聞く」「話す」中心のコミュニケーション活動に、Read and Think①②では「読む」「書く」のコミュニケーション活動に重点が置かれており、最後のActivityで技能統合型のUnitのまとめ学習ができるようになってきている。
- Daily Sceneでは、学習指導要領に例記された「電話」「道案内」を、学年ごとに難易度を上げながら繰り返して扱えるように構成されている。
- 各Unitの冒頭に目標が明示され、その目標に至るまでの授業における活動が段階的に展開されている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- 国際平和に貢献した人物に関する題材が扱われている。
- 落語などの伝統文化からHello Kittyなど人気のあるキャラクターまで、様々な日本のものを取り上げている。
- 太陽光エネルギーやアマゾン川や熱帯雨林の恩恵と環境問題や科学技術に関する題材を取り入れている。
- 職場体験や修学旅行など学校生活に身近で、自らの体験と重ねることができるよう工夫されている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- 実際の使用場面を設定して、基本文が導入され、それを日本語で説明し、さらにいくつかの単元ごとに文法事項がまとめられている。
- 文法指導が中心のところは本文量が少なく、生徒の負担に配慮をしている。

概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	50	50	43	43	36	36	35	35
第2学年	31	35	33	37	43	48	33	37
第3学年	26	34	24	31	42	55	33	43

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
 複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて数えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	8	16	10	22
第2学年	8	20	12	12
第3学年	7	16	6	13

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 中学卒業時までに習得すべき到達目標を My Project として設定し、各学期に実施できるように配置されている。これにより、各課、各セクションで学習する目的と見通しを把握できるようになっている。
- 各セクションで、見開き2ページの中に「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を育成するための教材が配置されている。左ページには新出事項と基礎的な練習が、右ページにはそれらを本文の中で示し、理解定着が図れるように構成されている。
- 各セクションの冒頭に Basic Dialog として対話形式で基本的な文型、文法事項が到達目標として提示されている。
- 「英語のしくみ」では、それまでの学習事項がわかりやすくまとまっており、どのくらい理解できているかを確かめることができるようになっている。各セクションの Basic Dialog には必ず「英語のしくみ」の参照ページが記載されている。
- 「音声クリニック」では音声の特徴が提示されている。
- 小学校外国語活動との円滑な接続ができるように、1年生の導入部に Let's Start を配し、復習だけでなく語学としての中学校英語科の学習にどのようにつなげていくかを計画することができるようになっている。
- 新出語句については、重要単語は太字で書かれている。チェックボックスには、意味を覚えたら上半分を、発音ができるようになったら下半分を塗りつぶすようになっている。
- 辞書の使い方、発音記号が扱われていて、家庭学習や自学自習への配慮がされている。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- 「聞く」「話す」「読む」「書く」ことの4技能をさらに伸ばすことに重点を置いた Power-up が設けられており、複数の技能が統合的に育成できるようになっている。
- スピーチを中心にした4技能の統合的活用が図られる My Project が配置されている。
- 学習指導要領に例記された「買い物」「電話」「道案内」「旅行」などの言語の使用場面が各学年に設定されており、実際の使用場面を想定した言語活動ができるように工夫されている。
- Program の各セクションには、到達目標が明示され、生徒が見通しを持って学習できるようになっている。
- 付録として、「できるようになったリスト」が付いており、生徒自身が3年間の到達目標についてチェックできるようになっている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- 読み物の題材がエルトールル号や Mother Teresa の話など感動的な物語を扱っている。
- 日本文化について、マンガや寿司を取り上げるだけでなく、鳥獣戯画や回転ずしの話題を取り入れるなど、生徒に飽きさせない工夫をしている。
- 環境問題や世界で活躍する日本人の活動を取り上げ、世界のさまざまな状況について知ることのできる題材を提供している。
- 国際社会の平和と発展に貢献した人物に関する題材を扱っている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- いくつかの単元の間に文法事項がまとめてある。
- 本文構想にマッピングを用いるなど、まとまった文を作成する力を付けようと意識されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	68	61	62	55	39	35	48	43
第2学年	52	47	50	45	54	49	60	55
第3学年	46	44	49	47	54	51	53	50

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
 複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて数えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	10	12	10	17
第2学年	9	17	18	12
第3学年	7	17	13	13

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 1年生には小学校外国語活動で慣れ親しんできた表現を確認するための、2, 3年生には前学年の目標文を中心とした言語材料を復習、確認するための Pre-lesson が設けられており、学年間の連携ができるようになっている。
- アルファベットの名前とアルファベットが表す音の違いを認識させ、「文字の表す音」「音の足し算」「単語が表す音」など綴りと発音の関係に触れている。
- 小学校外国語活動との連携を意識し、be 動詞よりも一般動詞の導入が先行されている。
- 各セクションは見開き2ページ構成となっていて、左ページには目標文が入った本文と新出語句、右ページには目標文と Listening, Speaking, Writing の練習問題が配されている。Speaking の練習問題は、ペアでの会話練習が行えるように設定されている。
- 各セクションの目標文にはその文の機能が併記されており、学習事項や文法用語などの説明などは各 Chapter 末の Check It Out で系統的に整理して掲載されている。
- 各セクションの終わりには文の強勢や音の変化に焦点をあてた活動を設けている。
- 辞書の使い方、発音記号が扱われていて、家庭学習や自学自習への配慮がされている。
- 重要単語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示している。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- 各セクションは、「本文 (Reading)」, Activities (Listening→Speaking→Writing) の一連の活動で構成されており、4技能の統合的な育成ができるようになっている。
- 各 Lesson 末には Review が配置され、学習した言語材料を4技能別に復習・確認できるようになっている。
- Chapter 末にその Chapter で学習し習得した表現を、実際に活用して書いたり話したりする表現活動、Chapter Project が設けられている。
- 各学年の Talking Time では、学習指導要領に例記された「電話」「道案内」「買い物」などの言語の使用場面が設定されており、実際の使用場面を想定した言語活動が行えるように工夫されている。
- Chapter 扉に Lesson や各コーナーのトピック、学習内容が明記されている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- Stevie Wonder や Mother Teresa などを取り上げ、感動的な内容の物語を扱い生徒の興味を引き付けるよう工夫している。
- アメリカ英語とイギリス英語、日本と外国の学校などを比較できるように取り上げ、題材の提示の仕方を工夫している。
- 正月のおせちや書き初めなど伝統文化に関する題材を取り上げている。
- エネルギー問題や環境保全に関することなど、科学技術や環境問題に関する題材を取り上げている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- Target の説明が場面を重要視した表現となっている。
- 日本語と英語を対比した文法説明を多く用いるなど、生徒の理解を容易にするよう工夫されている。

概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	70	71	50	51	34	35	33	34
第2学年	39	40	32	33	53	54	27	28
第3学年	36	38	28	30	57	61	23	24

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
 複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて数えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	9	14	16	28
第2学年	7	14	17	15
第3学年	8	18	20	12

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 各 Lesson は、基礎基本を習得する GET, 基礎的な力を活用する USE, 学習内容を振り返る「まとめ」の順に構成されていて、学習プロセスを意識したものとなっている。
- 1年生の巻頭には Get Ready というページをいくつか設けて、小学校外国語活動の内容を踏まえ、円滑な小中の接続に配慮がされている。
- 各 Lesson の冒頭には、言語材料や学習内容が具体的に示されている。
- GET は見開き2ページで扱われていて、「聞く」「話す」「書く」ことを繰り返し練習して基礎を習得させることを意識している。また、Word Bank を設けて、発展的な表現もできるように配慮がされている。
- 辞書の使い方、発音記号が扱われていて、家庭学習や自学自習への配慮がされている。
- 重要単語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示している。チェックボックスには、意味を覚えたら上半分を、発音ができるようになったら下半分を塗りつぶすようになっている。
- Sounds で音と綴りの関係や発音について触れている。
- Tips for Speaking , Tips for Communication , Tips for Writing , Tips for Reading というコーナーを設け、効果的な発表・会話の仕方、書き方のヒント、読み方のヒントを提示している。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- GET は、「本文」、Listen, Speak, Write の一連の活動で構成されており、学習指導要領に示された、4技能の統合的な育成ができるようになっている。
- USE では、複数の技能を活用する言語活動が設定されている。
- いくつかの Lesson で学んだ言語材料や言語活動を生かして展開する、統合的な活動としての Project が各学年3カ所配置されている。
- Let's Talk では、学習指導要領に例記された「買い物」「電話」「道案内」などの言語の使用場面が各学年に設定されており、実際の使用場面を想定した言語活動ができるように工夫されている。
- 巻末にある What Can I Do? を CAN-DO リストとして扱い、生徒が自分の学びをセルフチェックできるようになっている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- Alice and Humpty Dumpty や Peter Rabbit など日本人にもなじみの深い英語圏の題材を取り入れている。
- 小噺や落語など日本の伝統文化を積極的に取り入れている。
- 佐々木禎子の話やハゲワシと少女、地雷の話題等、戦争や平和にかかわる題材を扱っている。
- 野外観察や小笠原諸島のウミガメなど自然環境にかかわる題材を扱っている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- ピザの注文や飛行機内など、新出事項が具体的な場面で使用できるよう工夫されている。
- Lesson を越えた既習の文法事項を整理する Review のコーナーを設け、言語材料の振り返りを促している。その中では、1年時から品詞や文の成分についての用語を使用しており、早くからそうした用語を理解させようとしている。

概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	55	47	69	60	63	54	47	41
第2学年	43	44	47	48	65	66	42	43
第3学年	29	36	33	41	61	75	27	33

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて数えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	8	18	4	15
第2学年	4	21	23	7
第3学年	7	19	30	3

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 各 Lesson は、基本文を短い本文と「聞く」「話す」「書く」Activity を通して定着させる Hop, 基本文を長めの本文と「読む」Activity を通して定着させる Step, Lesson で学んだことを振り返る Jump というそれぞれの Part で構成されている。
- 1年生の巻頭には Spring Board が配され、小学校外国語活動から中学校英語への接続が円滑に行われるように配慮がされている。
- Hop の Activity には語彙を増やすための応用表現や語句が記載されている。
- 基本文は簡素な短文で提示されており、機能や場面についての説明が書かれている。
- 「英語のしくみ」として文法事項を随所でまとめ、学習した内容を確認できるようにしている。
- 辞書の使い方、発音記号が扱われていて、家庭学習や自学自習への配慮がされている。
- 重要単語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示している。
- 音声に関しては、欄外で、イントネーション・強勢・音のつながり・文の区切り等を示している。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- Tips 活動 (Writing Tips, Reading Tips, Listening Tips, Conversation Tips) で、4技能を高めるポイントを学べるようになっている。
- 3つの Lesson で学んだ言語材料や言語活動を生かして、生徒自身が考えたことを文章にまとめたり発表したりするといった4技能の統合的な活動が Project では行われるように工夫されている。
- Time for a Skit では、学習指導要領に例記された「電話」「道案内」「買い物」などの言語の使用場面が各学年に設定されており、実際の使用場面を想定した言語活動ができるように工夫されている。
- 各 Part, 各種 Tips 活動, Project 活動, Reading Lesson に「目標 (Can-Do)」が明示されている。
- 各学年の巻末に掲載されている「Can-Do 自己チェックリスト」は、4技能ごとに学習到達目標がまとめられており、自己評価が可能となっている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- 東京オリンピックやダイオウイカ、大震災といった最近の話題を取り上げ、興味・関心を高めるように工夫がされている。
- 英語圏に限らず、アフリカや北欧といった世界のさまざまな地域、さまざまな国の話題を取り上げている。
- 俳句、だし、落語など日本の伝統文化に関する題材や世界で活躍している日本人に関する題材を扱っている。
- 世界の水の問題やオーストラリアの自然など自然環境や科学技術に関する題材を扱っている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- 本文の使用場面から基本文が理解できるよう工夫されている。
- 別冊(Essentials)を設けて、語句や文法事項の活用ができるようになっている。

概 要

1 概括的な調査研究

	聞くこと		話すこと		読むこと		書くこと	
	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)	ページ	割合(%)
第1学年	62	50	55	44	45	36	33	26
第2学年	40	38	38	36	52	50	40	38
第3学年	31	36	32	37	47	55	31	36

※各技能の活動が設定されているページを調査した。  
 複数の技能の活動が取り上げられているページは重ねて教えた。

	「言語の使用場面」の種類の数	「言語の働き」の種類の数	伝統文化や自然科学を題材に取り上げているページ数	文字や音声、文法について独立して取り上げているページ数
第1学年	10	16	17	28
第2学年	6	18	25	14
第3学年	5	15	16	11

※「言語の使用場面」「言語の働き」については、学習指導要領に例として挙げられているものについて調査した。

2 基礎的・基本的な事柄や基本文の扱いについて

- 各 Unit は、「扉」、「本文」、Try It!, You Can Do It!で構成されている。
- CLILでは、既習の文法事項や文構造を復習しながら、他教科の学習内容を英語で学び、学習の幅を広げることができるように工夫されている。
- 1年生の巻頭には、Let's Enjoy English!が配され、小学校外国語活動から中学校英語への接続が円滑に行われるように配慮がされている。
- Your Coach では、辞書の使い方や英文の書き方、読み方、英語学習の方法など家庭学習や自学自習への配慮がされている。
- 重要単語は語句欄に太字で示し、覚えるべき優先度を示している。チェックボックスには、意味を覚えたら上半分を、発音ができるようになったら下半分を塗りつぶすようになっている。
- 1, 2年生の Sound Focus では綴りと文字の関連や音声に関することを提示している。
- Word Square として自己表現に役立つ単語がまとめられている。
- Language Focus では Grammar Hunt として文法事項を中心に教科書の本文の中で復習することができるように工夫がされている。

3 言語の使用場面や言語の働きに配慮した、4技能を統合的に活用させる言語活動の充実について

- 「扉」では、その Unit で学習する目標と本文内容の概要が明記されていて、見通しをもって学ぶことができるようになっている。
- Try It!の中では、4技能をバランスよく練習することができるように工夫されている。
- You Can Do It!では、Unit で学んだ学習内容をまとめ、到達目標を明確にした統合的な言語活動を行えるようになっている。
- 到達目標が設定、明示された Go for It!が各学期のまとめを目安に配置され、4技能の力を統合的に活用して表現活動を行えるようになっている。
- Skit Time では、学習指導要領に例記されている、「電話」「買い物」「道案内」などの言語の使用場面が各学年に設定されており、実際の使用場面を想定した言語活動ができるように工夫されている。

4 生徒の発達段階及び興味・関心に配慮した適切な題材の取り上げ方について

- 杉原千畝やジョン万次郎といった、世の中に功績を残した人物を題材にした読み物を取り上げている。
- 教科書全体にわたって、生徒と同年代の登場人物を中心にした物語構成になっており、生徒の共感を得やすいよう工夫されている。
- 世界の気候や温暖化、地球環境サミットなど、環境問題に関連した題材を積極的に取り入れている。
- 各学年で日本の伝統文化に関する題材を取り入れている。

5 文法事項と言語活動の効果的な関連について

- 最初にまとまった量の本文の中で基本文があらわれ、より具体的な使用場面の中で基本文の理解ができるよう工夫されている。
- Language Focus や「英語のしくみ」では、イラストや図を用いて既習の文法事項を横断的に解説しており、整理、練習することができるように工夫されている。

【調査票Ⅱ】 【2 東書】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット</li> <li>・be 動詞</li> <li>・一般動詞</li> <li>・疑問詞を使った疑問文</li> <li>・複数形</li> <li>・命令文</li> <li>・三人称単数現在形</li> <li>・現在進行形</li> <li>・助動詞 (can)</li> <li>・一般動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be 動詞の過去形</li> <li>・過去進行形</li> <li>・未来形</li> <li>・助動詞</li> <li>・不定詞</li> <li>・接続詞</li> <li>・動名詞</li> <li>・比較表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・現在完了形</li> <li>・様々な不定詞</li> <li>・現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・間接疑問文</li> <li>・関係代名詞</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介</li> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・学校での学習や活動</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・描写する</li> <li>・約束する</li> <li>・承諾する</li> <li>・断る</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・苦情を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・報告する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・申し出る</li> <li>・意見を言う</li> <li>・賛成する</li> <li>・反対する</li> <li>・承諾する</li> <li>・断る</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・苦情を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・報告する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・申し出る</li> <li>・約束する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・賛成する</li> <li>・反対する</li> <li>・承諾する</li> <li>・断る</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> <li>・自然現象</li> </ul>

【調査票Ⅱ】 【9 開隆堂】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット ・ be 動詞 ・ 一般動詞</li> <li>・ 命令文 ・ 疑問詞を使った疑問文 ・ 複数形</li> <li>・ 三人称単数現在形 ・ 助動詞(can)</li> <li>・ 現在進行形 ・ 一般動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般動詞の過去形 ・ be 動詞の過去形</li> <li>・ 過去進行形 ・ 未来形 ・ 助動詞 ・ 接続詞</li> <li>・ 不定詞 ・ 動名詞 ・ 比較表現 ・ 受動態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受動態 ・ 現在完了形 ・ 様々な不定詞</li> <li>・ 間接疑問文 ・ 現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・ 関係代名詞</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ ・ 自己紹介 ・ 買い物</li> <li>・ 旅行 ・ 食事 ・ 家庭での生活</li> <li>・ 学校での学習や活動 ・ 地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話での対応 ・ 買い物 ・ 道案内</li> <li>・ 旅行 ・ 食事 ・ 家庭での生活</li> <li>・ 学校での学習や活動 ・ 地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話での対応 ・ 道案内 ・ 旅行</li> <li>・ 食事 ・ 家庭での生活</li> <li>・ 学校での学習や活動 ・ 地域の行事</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 褒める</li> <li>・ 謝る ・ 説明する ・ 報告する</li> <li>・ 発表する ・ 描写する ・ 申し出る</li> <li>・ 承諾する ・ 断る ・ 質問する</li> <li>・ 依頼する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 苦情を言う</li> <li>・ 褒める ・ 謝る ・ 説明する</li> <li>・ 発表する ・ 描写する ・ 申し出る</li> <li>・ 約束する ・ 意見を言う ・ 賛成する</li> <li>・ 反対する ・ 承諾する ・ 質問する</li> <li>・ 依頼する ・ 招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 褒める</li> <li>・ 謝る ・ 説明する ・ 報告する</li> <li>・ 発表する ・ 描写する ・ 約束する</li> <li>・ 意見を言う ・ 承諾する ・ 断る</li> <li>・ 質問する ・ 依頼する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活 ・ 社会生活 ・ 物語</li> <li>・ 伝統文化 ・ 自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活 ・ 家庭生活 ・ 社会生活</li> <li>・ 物語 ・ 地理 ・ 伝統文化 ・ 自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭生活 ・ 社会生活 ・ 物語</li> <li>・ 伝統文化 ・ 科学技術 ・ 自然現象</li> </ul>



【調査票Ⅱ】 【11 学図】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット</li> <li>・一般動詞</li> <li>・複数形</li> <li>・疑問詞を使った疑問文</li> <li>・命令文</li> <li>・be 動詞</li> <li>・三人称単数現在形</li> <li>・助動詞(can)</li> <li>・現在進行形</li> <li>・一般動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・be 動詞の過去形</li> <li>・過去進行形</li> <li>・接続詞</li> <li>・未来形</li> <li>・助動詞</li> <li>・不定詞</li> <li>・動名詞</li> <li>・比較表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・現在完了形</li> <li>・様々な不定詞</li> <li>・現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・関係代名詞</li> <li>・間接疑問文</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介</li> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> <li>・自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> <li>・自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> <li>・自然現象</li> </ul>

【調査票Ⅱ】 【15 三省堂】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット</li> <li>・be 動詞</li> <li>・疑問詞を使った疑問文</li> <li>・一般動詞</li> <li>・複数形</li> <li>・命令文</li> <li>・三人称単数現在形</li> <li>・助動詞(can)</li> <li>・現在進行形</li> <li>・一般動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞の過去形</li> <li>・be 動詞の過去形</li> <li>・過去進行形</li> <li>・接続詞</li> <li>・未来形</li> <li>・助動詞</li> <li>・動名詞</li> <li>・不定詞</li> <li>・比較表現</li> <li>・受動態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・現在完了形</li> <li>・様々な不定詞</li> <li>・関係代名詞</li> <li>・現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・間接疑問文</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介</li> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域行事</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・賛成する</li> <li>・承諾する</li> <li>・断る</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・苦情を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・約束する</li> <li>・反対する</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・説明する</li> <li>・報告する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・申し出る</li> <li>・約束する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・賛成する</li> <li>・反対する</li> <li>・承諾する</li> <li>・断る</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> <li>・自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> <li>・自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> <li>・自然現象</li> </ul>

【調査票Ⅱ】 【17 教出】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット ・ be 動詞 ・ 一般動詞</li> <li>・ 複数形 ・ 疑問詞を使った疑問文</li> <li>・ 三人称単数現在形 ・ 命令文 ・ 助動詞(can)</li> <li>・ 現在進行形 ・ 一般動詞の過去形</li> <li>・ be 動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般動詞の過去形 ・ be 動詞の過去形</li> <li>・ 未来形 ・ 助動詞 ・ 接続詞 ・ 過去進行形</li> <li>・ 動名詞 ・ 不定詞 ・ 比較表現 ・ 受動態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受動態 ・ 現在完了形 ・ 様々な不定詞</li> <li>・ 間接疑問文 ・ 現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・ 関係代名詞</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ ・ 自己紹介 ・ 電話での対応</li> <li>・ 買い物 ・ 食事 ・ 家庭での生活</li> <li>・ 学校での学習や活動 ・ 地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内 ・ 旅行 ・ 家庭での生活</li> <li>・ 学校での学習や活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話での対応 ・ 買い物 ・ 道案内</li> <li>・ 旅行 ・ 食事 ・ 学校での学習や活動</li> <li>・ 地域の活動</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 苦情を言う</li> <li>・ 褒める ・ 謝る ・ 説明する</li> <li>・ 報告する ・ 発表する ・ 描写する</li> <li>・ 申し出る ・ 賛成する ・ 反対する</li> <li>・ 承諾する ・ 断る ・ 質問する</li> <li>・ 依頼する ・ 招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 苦情を言う</li> <li>・ 褒める ・ 謝る ・ 説明する</li> <li>・ 報告する ・ 発表する ・ 描写する</li> <li>・ 申し出る ・ 意見を言う ・ 賛成する</li> <li>・ 反対する ・ 承諾する ・ 断る</li> <li>・ 質問する ・ 依頼する ・ 招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼び掛ける ・ 相づちをうつ ・ 聞き直す</li> <li>・ 繰り返す ・ 礼を言う ・ 苦情を言う</li> <li>・ 褒める ・ 謝る ・ 説明する</li> <li>・ 報告する ・ 発表する ・ 描写する</li> <li>・ 申し出る ・ 意見を言う ・ 賛成する</li> <li>・ 反対する ・ 承諾する ・ 質問する</li> <li>・ 依頼する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活 ・ 家庭生活</li> <li>・ 物語 ・ 伝統文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活 ・ 社会生活 ・ 物語</li> <li>・ 伝統文化 ・ 科学技術</li> <li>・ 自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活 ・ 物語 ・ 地理</li> <li>・ 伝統文化 ・ 科学技術 ・ 自然現象</li> </ul>

【調査票Ⅱ】 【38 光村】 (中学校 英語)

	第1学年	第2学年	第3学年
主な言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット</li> <li>・be動詞</li> <li>・一般動詞</li> <li>・命令文</li> <li>・複数形</li> <li>・疑問詞を使った疑問文</li> <li>・三人称単数現在形</li> <li>・助動詞(can)</li> <li>・現在進行形</li> <li>・一般動詞の過去形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般動詞の過去形</li> <li>・be動詞の過去形</li> <li>・過去進行形</li> <li>・接続詞</li> <li>・未来形</li> <li>・助動詞</li> <li>・動名詞</li> <li>・不定詞</li> <li>・比較表現</li> <li>・受動態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・現在完了形</li> <li>・様々な不定詞</li> <li>・現在分詞, 過去分詞の後置修飾</li> <li>・関係代名詞</li> <li>・間接疑問文</li> <li>・接続詞</li> </ul>
主な言語の使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介</li> <li>・電話での対応</li> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・家庭での生活</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での対応</li> <li>・道案内</li> <li>・旅行</li> <li>・食事</li> <li>・学校での学習や活動</li> <li>・地域の行事</li> </ul>
主な言語の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・苦情を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・意見を言う</li> <li>・賛成する</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼び掛ける</li> <li>・相づちをうつ</li> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・苦情を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・謝る</li> <li>・説明する</li> <li>・描写する</li> <li>・報告する</li> <li>・申し出る</li> <li>・意見を言う</li> <li>・反対する</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> <li>・招待する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き直す</li> <li>・繰り返す</li> <li>・礼を言う</li> <li>・褒める</li> <li>・説明する</li> <li>・報告する</li> <li>・発表する</li> <li>・描写する</li> <li>・申し出る</li> <li>・意見を言う</li> <li>・賛成する</li> <li>・反対する</li> <li>・承諾する</li> <li>・質問する</li> <li>・依頼する</li> </ul>
主な題材の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・地理</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> <li>・自然現象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活</li> <li>・家庭生活</li> <li>・社会生活</li> <li>・物語</li> <li>・伝統文化</li> <li>・科学技術</li> <li>・自然現象</li> </ul>

